I-O DATA

WN-B11/CFL 取扱説明書

141950-01

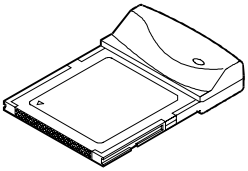
箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意！

・箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

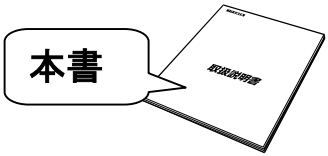
☐ 本製品（1枚）



☐ ハードウェア保証書（1枚）

☐ サポートソフトディスク（1枚）
［CD-ROM］

☑ 取扱説明書（1冊）



☐ 「2.4GHz帯使用の無線機器について」シール（1枚）

ユーザー登録とサポートソフトウェアのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトウェアをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒　http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトウェアのダウンロード　⇒　http://www.iodata.jp/lib/

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください····· 3
使用上の注意····· 6

使う前に ····· 9
各部のなまえとはたらき····· 10
無線LANで使用するモード ····· 11
本製品を取り付けるPDA・パソコン ····· 12

Windows CEで使う ····· 15

Windows CE機でお使いになる場合は、以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

本製品の設定手順 ····· 16
ステップ1 **Windows CE機へインストールする** ····· 18
ステップ2 **Windows CE機に取り付ける** ····· 22
ここまでの確認（インストール～取り付け） ····· 24
ステップ3 **アクセスポイントの設定を確認する** ····· 27
ステップ4 **アクセスポイントと通信するための設定** ····· 28
ここまでの確認（～アクセスポイントと通信するための設定） 34
ステップ5 **インターネットや有線LANに接続する** ····· 37

その他の設定 （Windows CE） ····· 40
その他の設定① **通信を暗号化する設定** ····· 41
その他の設定② **無線LANアダプタのみで通信する** ····· 46
その他の設定③ **ファイルの共有を設定する** ····· 55
その他の設定④ **アンインストール**（インストールしたソフトの削除） 65
その他の設定⑤ **WN-B11CFL設定ツールの詳細** ····· 66

困ったときには （Windows CE） ····· 69

Windows XP/2000/Me/98 SEで使う　73

Windows XP/2000/Me/98 SEパソコンでお使いになる場合は、以下の流れにしたがって、本製品を使う環境をつくりましょう。

本製品の設定手順……74

ステップ1　**取り付けるパソコンを準備する**……76

①ドライバソフトのインストール……77

②パソコンに取り付ける……81

③ユーティリティのインストール……85

ここまでの確認（インストール～取り付け）……87

ステップ2　**アクセスポイントと通信する**……91

①アクセスポイントの設定を確認する……92

②アクセスポイントと通信するための設定……93

ここまでの確認（～アクセスポイントと通信するための設定）101

ステップ3　**インターネットや有線LANに接続する**……103

インターネットや有線LANへの接続……104

その他の設定　（Windows XP/2000/Me/98 SE）・107

その他の設定①　**通信を暗号化する設定**……108

その他の設定②　**無線LANアダプタのみで通信する**……113

その他の設定③　**Windows使用中に取り出す**……121

その他の設定④　**アンインストール**（インストールしたソフトの削除）122

その他の設定⑤　**クイックコネクトの詳細**……129

困ったときには　（Windows XP/2000/Me/98 SE）・141

ふろく……157

用語解説……158

仕様……161

アフターサービス……162

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

必ずお守りください

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

ご使用のパソコンや周辺機器の電源を切って、本製品を取り出してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り出し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、正しい手順で行ってください。

感電および故障の原因となります。

水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中（屋外）、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り出してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止

本製品を病院や飛行機内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。
また、飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータのカードスロットから本製品を取り出してください。

厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

禁止

日本国外で使用できません。

⚠ 注意

注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。

また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）
  場所（保管は問題ありません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り出しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

禁止

本製品でデータ通信中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

使用上の注意

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下および次ページの注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線LANと同じ電波の周波数帯を使用しています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話/PHS/テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話/PHS/テレビ/ラジオなどは、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：サポートセンター　電話：　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

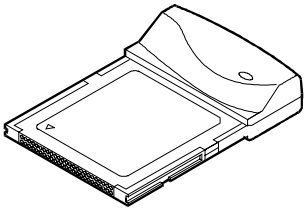
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ･オー･データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使う前に



本製品が無線LAN通信できる機器

IEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。

弊社製品例：WN-B11シリーズ、WN-G54シリーズ、WN-AGシリーズ、WN-ABシリーズ

※有線LAN（LANケーブルで接続されたネットワーク）と接続するには、アクセスポイント（弊社製WN-B11/AXPHなど）が必要です。

注意！

●WN-G54 シリーズ、WN-AG シリーズ、WN-AB シリーズと通信する場合、リンク速度は 11Mbps となります。（54Mbps でのリンクはできません。）

●本製品は、以下とは通信できません。

- **弊社製 無線 LAN WN-A54 シリーズ**
- **弊社製 無線 LAN PC カード PCWN-W10**
- **弊社製 コードレスネットワークシンフォニーシリーズ（WN-S/560,、WN-S/PCI,PCWN-S）**
- **弊社製 無線スイッチングハブ WNA-FSWH4**

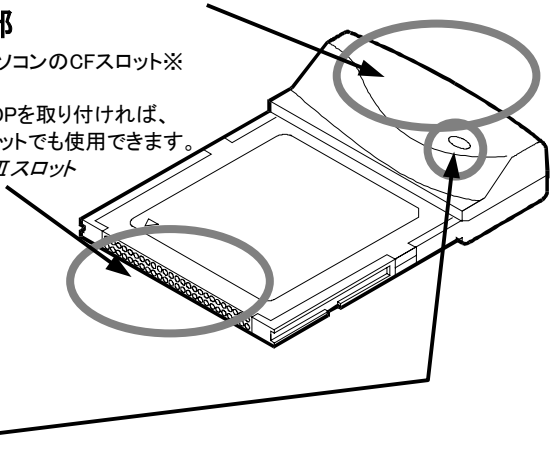
各部のなまえとはたらき

電波発信部

2.4GHz帯域の電波を発信し、他の無線LAN製品（802.11b規格準拠製品）と無線で通信を行う部分です。

CFスロット挿入部

Windows CE機およびパソコンのCFスロット※に挿入する部分です。
別売の弊社製PCCF-ADPを取り付ければ、パソコンのPCカードスロットでも使用できます。
※CF+ Type Ⅰもしくは Ⅱスロット



LINKランプ

色（ランプ状態）	通信状態
緑（点灯）	・インフラストラクチャ（Infrastructure）時 アクセスポイントと通信が行われている状態 ・アドホック（Ad hoc）時 通信できる他の無線LAN製品を探している状態、または、他の無線LAN機器と通信できる状態
緑（点滅）	ネットワーク上にアクセスポイントや他の無線LAN機器が見つからない状態、または機能が停止している状態

参考

●本製品が動作中は、通信が確立していない場合でも、アクセスポイントの検出などで、通信パケットは送受信されています。
●インフラストラクチャ(Infrastructure)モード
無線LANアクセスポイント（無線LANブロードバンドルータ）と通信するモードです。
●アドホック(Ad hoc)モード
無線LANアダプタ同士で通信するモードです。

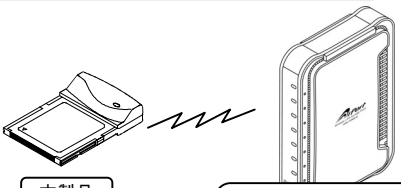
無線LANで使用するモード

本製品を含む無線LANアダプタ製品は通常以下の2つのいずれかのモードで使用できます。

注意！

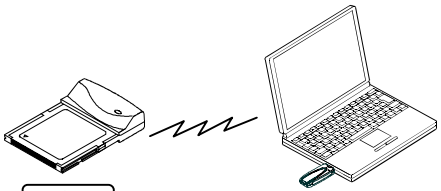
いずれか一方のモードのみ使用できます。
（同時に2つのモードを使用することはできません。）

インフラストラクチャ　モード



無線LANアクセスポイントなどを経由してインターネットや有線LANに接続する場合に使用するモードです。
無線LANアクセスポイントと無線LANで通信する場合、このモードにする必要があります。

アドホック　モード



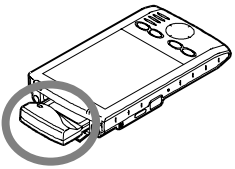
他の無線LANを搭載したパソコンと直接無線LAN通信する場合に使用するモードです。
※無線LANパソコンのみで通信する場合は、別途アクセスポイントを用意する必要はありません。

本製品を取り付けるPDA・パソコン

・Windows CE機で使用する場合

※以下のWindows CE機のイラストは一例です。ご使用のWindows CE機により異なります。

本製品は以下のWindows CE機で使用できます。

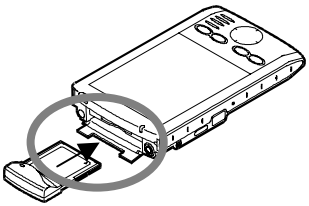


機種	CF+ Type Ⅰ もしくは Ⅱ スロットをもつ Windows CE搭載機
OS	・Windows CE 3.0（PocketPC 2002、PocketPC 2000、HandheldPC 2000）※1 ・Windows CE .NET 4.1
ActiveSync	Windows CE機添付の「Microsoft ActiveSync」をインストールし、ご使用のパソコンと、Windows CE機の間でデータ転送が正しく行える状態にしておいてください。

※1　以降で、「Windows CE」と表記されている場合は、「PocketPC 2002」、「PocketPC 2000」、「HandheldPC 2000」、「Windows CE .NET 4.1」のすべてを含みます。

CFスロット

本製品はCFスロットに挿入して使用します。



注意！
本製品のインストール作業が終了するまでは、まだ取り付けないでください。

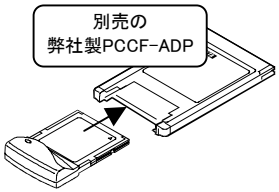
Windows CEでの設定を行います

15ページへ

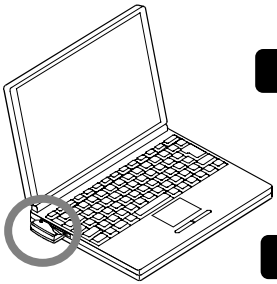
・パソコンで使用する場合

本製品をパソコンのPCカードスロットで使用するには、弊社製PCCF-ADPを取り付けて使用します。

※パソコンにCFカードスロットがある場合は
そのまま取り付けて使用します。
（PCCF-ADPは取り付ける必要はありません。）



本製品は以下のパソコンで使用できます。

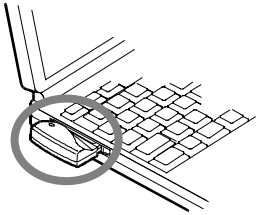


機種	CardBus規格に準拠したPCカードスロット（PCMCIA TypeⅡ）、あるいはCF+ TypeⅠもしくはⅡスロットをもつ以下の機種※1※2 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしております。）
OS	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98 Second Edition

※1　CD-ROMドライブが無い場合は、144ページをご覧ください。
※2　PCカード接続のCD-ROMドライブを使用している場合は、144ページをご覧ください。

PCカードスロット

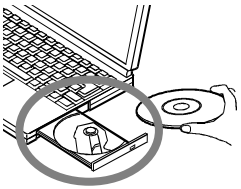
PCCF-ADPを取り付けて、PCカードスロットに挿入して使用します。



注意！
本製品のインストール作業が終了するまでは、まだ取り付けないでください。

CD-ROMドライブ

サポートソフトCD-ROMをインストールするために使用します。 → 77、85ページ参照
（サポートソフトCD-ROMには、本製品を使用する上で必要なドライバソフトとユーティリティソフトが入っています。）



Windows XP/2000/Me/98 SEでの設定を行います

73ページへ

MEMO

Windows CE で使う

本製品の設定手順 …… 16
ステップ1　Windows CE機へインストールする …… 18
ステップ2　Windows CE機に取り付ける …… 22
ここまでの確認（インストール～取り付け） …… 24
ステップ3　アクセスポイントの設定を確認する …… 27
ステップ4　アクセスポイントと通信するための設定 …… 28
ここまでの確認 …… 34
（～アクセスポイントと通信するための設定）
ステップ5　インターネットや有線LANに接続する …… 37

Windows CE

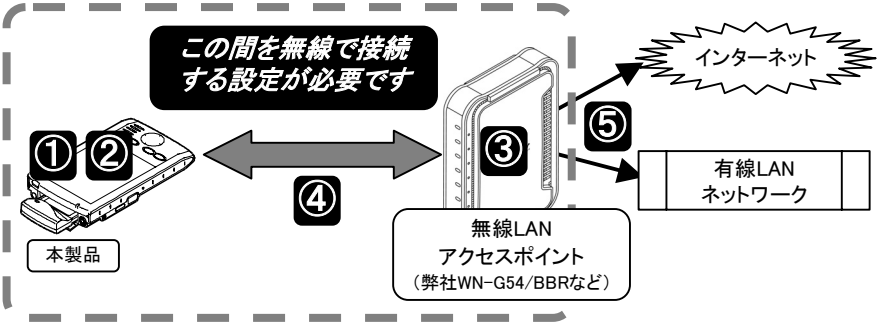
本製品の設定手順

本製品でインターネットや他の無線LANアダプタと通信するには、サポートソフトのインストールや無線LANの設定が必要です。
ただし、使用目的に応じて設定手順が異なります。

・本製品からインターネットや有線LANに接続したい場合

（インフラストラクチャ モードでの無線LAN）

本製品を取り付けたWindows CE機からインターネットをご利用になりたい場合、あるいは有線LANのパソコンに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントと無線で接続する必要があります。（無線LANアクセスポイント経由でインターネットや有線LANと接続します。）



設定手順

①：Windows CE機にサポートソフトをインストールします　→ 【ステップ1】（18ページ）
②：本製品を取り付けます。　→ 【ステップ2】（22ページ）
③：無線LANアクセスポイントの設定を確認します。　→ 【ステップ3】（27ページ）
④：無線LANアクセスポイントと無線LAN通信します。　→ 【ステップ4】（28ページ）
⑤：本製品からインターネットや有線LANと接続します。　→ 【ステップ5】（37ページ）

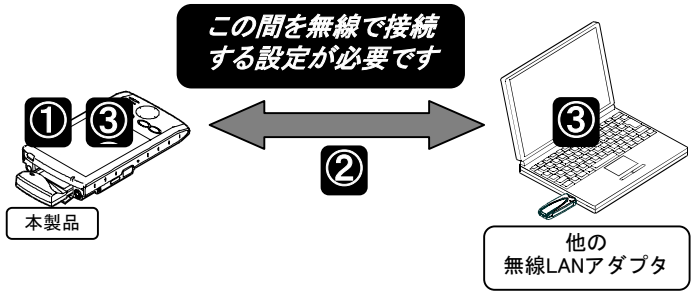
Windows CE機へのインストールへ　18ページ

・本製品から他の無線LANアダプタと通信したい場合

（アドホック モードでの無線LAN）

無線LANアクセスポイントが無い環境では、本製品を取り付けたWindows CE機から他の無線LANアダプタを取り付けたパソコン間で通信を行い、パソコン内のファイルやデータを共有※することができます。

※Windows CE機内のファイルの共有はできません。（パソコン内のファイルのみ）
※Windows CEの「PocketPC 2002」以降の機種のみファイルを参照できます。



注意！

・Windows CE機（「PocketPC 2002」以降の機種のみ）から他のパソコンのフォルダ/ファイルを参照することができますが、Windows CE機のフォルダ/ファイルを、他のパソコンと共有することはできません。
・アドホックモード時には、他の無線LANアダプタもアドホックモードにする必要があります。（アドホックモード同士のみ通信できます。）
ただし、アドホックモードの場合、無線LANアクセスポイントとの通信はできなくなります。（モードが異なるため）

設定手順

①：Windows CE機にサポートソフトをインストールします　→ 【ステップ1】（18ページ）

②：他の無線LANアダプタの設定を確認し、無線LAN通信します。
→ 【無線LANアダプタのみで通信する】（46ページ）

③：ファイル共有を設定し、パソコンのファイルやデータを共有します。
→ 【ファイルの共有を設定する】（55ページ）

Windows CE機へのインストールへ　**次ページ**

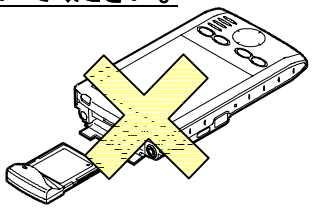
ステップ 1 Windows CE機へインストールする

本製品を使うには、はじめにWindows CE機に添付のサポートソフトをインストールする必要があります。

注意！

ここではまだ本製品を取り付けないでください。

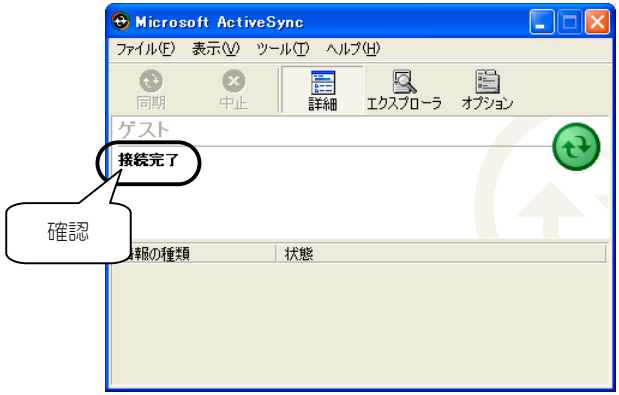
次ページの作業は、本製品を Windows CE 機に取り付けない状態で行います。
本製品の取り付けは、次ページの作業の後、【ステップ2】にて行います。



注意！

・インストールする前に、下記をご確認ください。
（詳しくは、Windows CE機の取扱説明書をご覧ください。）

ご使用のWindows CE機に付属の「Microsoft ActiveSync」を、パソコンにインストールし、パソコンと、Windows CE機の間でデータ転送が正しく行える状態にしておいてください。（Microsoft ActiveSync」の画面で[接続完了]となっていることを確認してください。）



1　Windows CE機の電源が入っていることを確認します。

2　パソコンに「Microsoft ActiveSync」が常駐していることを確認します。

（Windows CE機と通信するパソコン側の確認です。）

3　サポートソフトディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

（Windows CE機と通信するパソコン側の操作です。）

4　サポートソフト内のインストーラを起動します。

（Windows CE機と通信するパソコン側の操作です。）

*Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では、*実行ファイルが異なります。以下の個所へお進みください。

Windows CE 3.0の場合　次ページへ

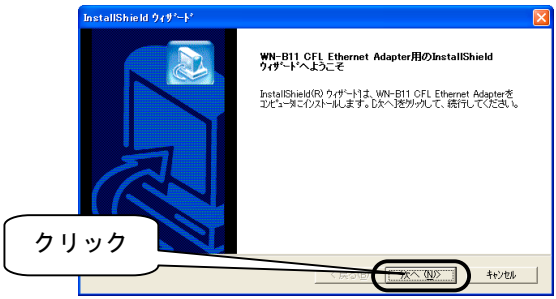
Windows CE .NET 4.1の場合　21ページへ

Windows CE 3.0へのインストール

Windows CE 3.0の場合は以下の手順を行ってインストールします。

1　サポートソフトCD-ROM内の[WinCE]→[Setup]を順にダブルクリックします。（Windows CE機と通信するパソコン側の操作です。）

2　［次へ］ボタンをクリックします。



後は画面の指示に従ってインストールします。

本製品の取り付けへ　22ページ

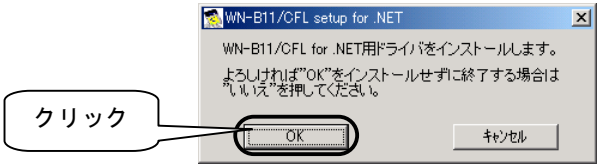
Windows CE .NET 4.1へのインストール

Windows CE .NET 4.1の場合は以下の手順を行ってインストールします。

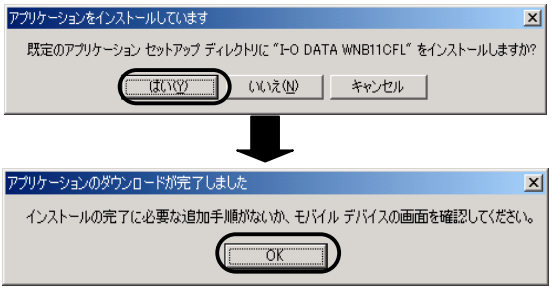
1　サポートソフトCD-ROM内の［WinCE］→［NET41］→［SETUP］を順にダブルクリックします。

（Windows CE機と通信するパソコン側の操作です。）

2　［OK］ボタンをクリックします。



後は画面の指示に従ってインストールします。



本製品の取り付けへ

次ページ

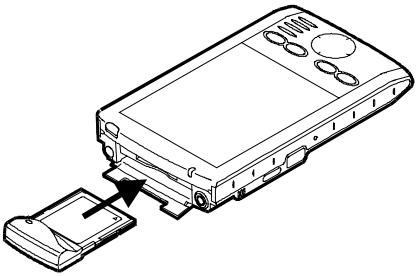
ステップ2 Windows CE機に取り付ける

本製品をWindows CE機に取り付けます。

1 Windows CE機の電源が入っていることを確認します。

2 Windows CE機に本製品を取り付けます。

本製品のラベル面を上にして、スロットの奥まで挿入します。

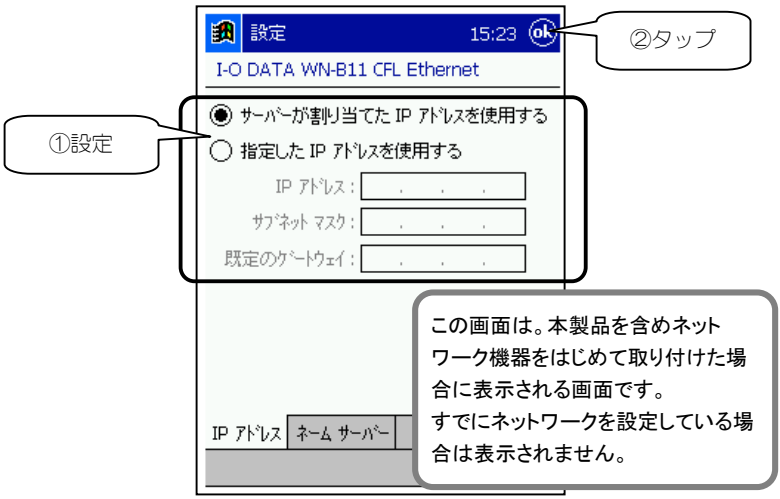


3 取り付け後、Windows CE機に以下および次ページの画面が表示される場合があります。*※表示されない場合は24ページへお進みください。*

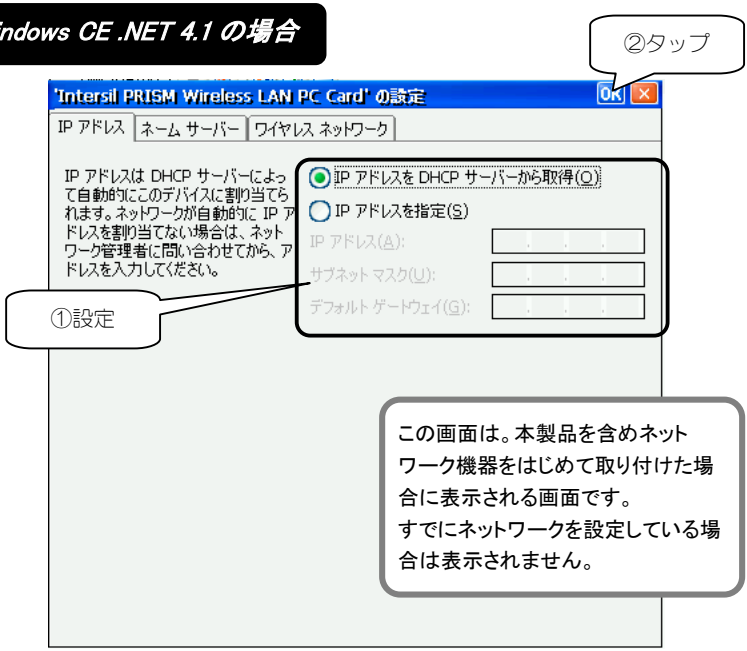
お使いのネットワーク環境に応じて設定してください。

設定後、［OK］をタップします。

Windows CE 3.0 の場合



Windows CE .NET 4.1 の場合



4　本製品を一度CFカードスロットから取り出し、再度CFスロットに取り付けます。

以上で本製品の取り付けは終了です。

ここまでの設定を確認しましょう

次ページへ

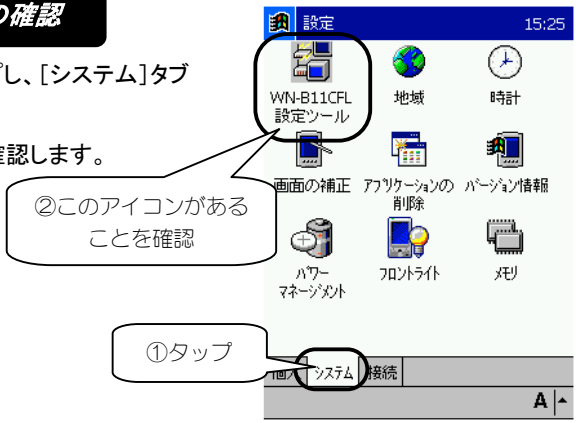
ここまでの確認
（インストール～取り付け）

ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品がWindows CE機に認識されます。
正しくインストールされ、Windows CE機に認識されているか、以下の手順で確認してください。確認後、次のステップにお進みください。

確認①：インストールが正しく終了しているかの確認

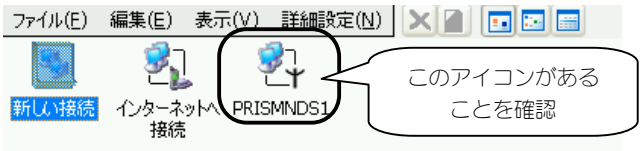
Windows CE 3.0 での確認

[スタート]→[設定]をタップし、[システム]タブをタップします。
右のアイコンがあることを確認します。



Windows CE .NET 4.1 での確認

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にタップし、
[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルタップします。
[PRISMNDS1]アイコンがあることを確認します。

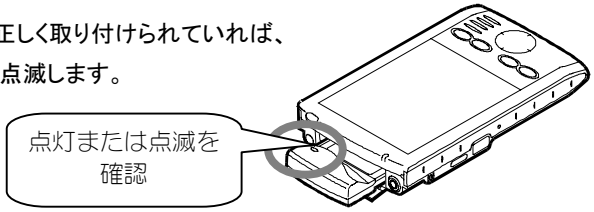


[WN-B11CFL 設定ツール]や[PRISMNDS1]が
無い場合は…

原因1	表示されていないだけである。
対処	一度本製品をWindows CE機から取り出し、Windows CE機のリセットを行った後、再度取り付けてから確認してみてください。
原因2	正しくインストールされていない。
対処	再度、【ステップ1】(18ページ)の手順を行ってください。

確認②:ランプが正しく表示しているかの確認

本製品がWindows CE機に正しく取り付けられていれば、
ランプが緑色に点灯または点滅します。
(次ページ【参考】参照)



[LINK]ランプが
消灯している場合は…

原因1	パワーマネジメント機能がONになっている。
対処	本製品を取り出してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。(詳細についてはWindows CE機の取扱説明書参照) 再度、本製品を取り付けてください。
原因2	ドライバが正しくインストールされていない。
対処	再度、【ステップ1】(18ページ)の手順を行ってください。
原因3	正しく取り付けられていない。
対処	Windows CE機に正しく取り付けられているかご確認ください。

ここまでの確認（つづき）

参考

本製品のランプは状態に応じて以下のようになります。

ランプ色（状態）	状態
緑（点灯）	無線LANアクセスポイントや他の無線LANアダプタと通信が行われている状態
緑（点滅）	無線LANアクセスポイントや他の無線LANアダプタが見つからない状態 ※この時点ではまだ、本製品と無線LANアクセスポイントや他の無線LANアダプタとの無線LAN設定が異なっているため点滅します。 次ページ以降の無線LANの設定を終了すれば、点灯しますので、この時点で点滅していても問題ありません。
消灯	本製品がWindows CE機に認識されていない状態

以上でインストールおよび取り付けの確認は終了です。

アクセスポイントの設定の確認へ 次ページ

ステップ3 アクセスポイントの設定を確認する

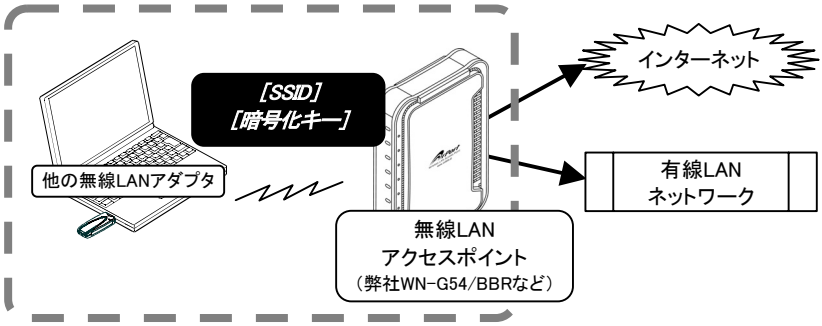
本製品と無線LANで通信するアクセスポイントの設定を確認します。

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。

この後のステップで設定します。

※これからはじめて無線LANを導入する場合は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照して設定を以下にメモしてください。

すでに使用している無線LAN環境例



※ここで使用しているSSIDと暗号化設定を以下にメモ

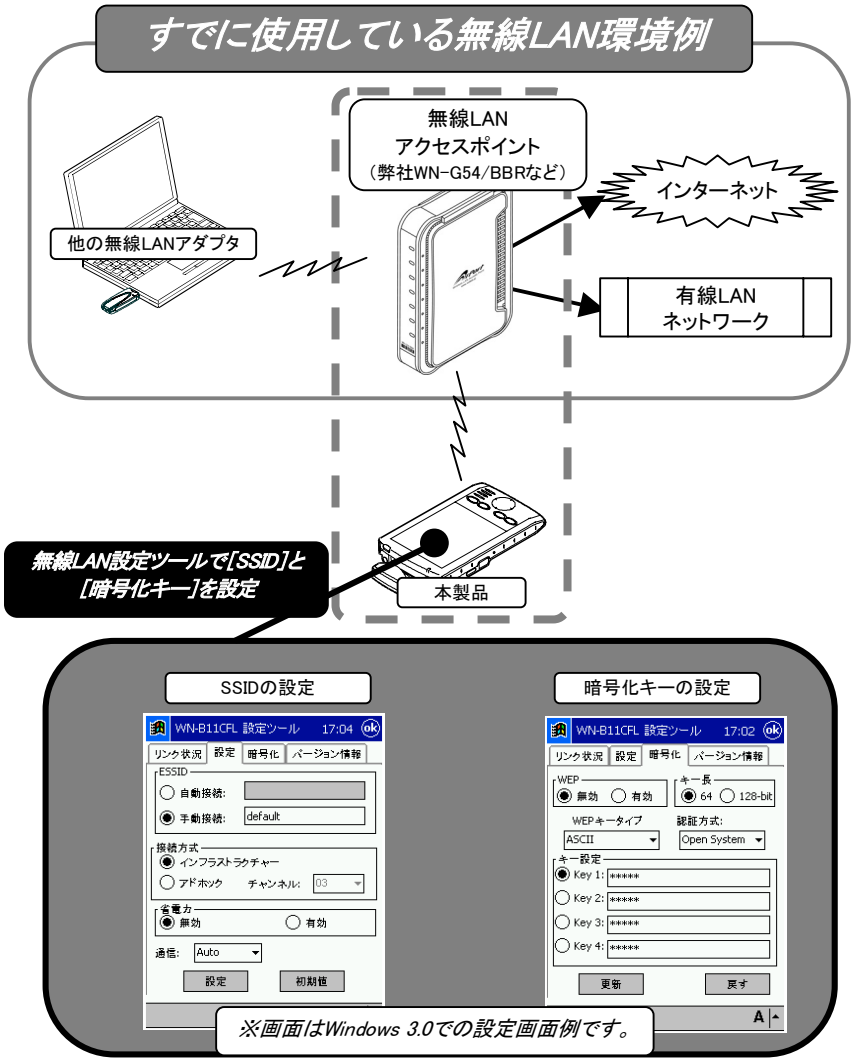
▼確認したSSID(ESSID)や暗号化キーを記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】 例）**弊社製無線LANアクセスポイントの場合、初期状態では以下の設定です。** **SSID:　default**
暗号化キー	【　　】 ※暗号化を設定していない場合は記入する必要はありません。

アクセスポイントとの無線LAN通信へ　次ページ

ステップ4 アクセスポイントと通信するための設定

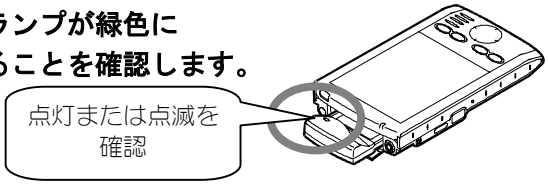
前ページで確認した[SSID]と[暗号化キー]を【ステップ1】でインストールした設定ツールで設定します。
設定後、アクセスポイントと通信できるようになります。



1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

※以下の手順以降で実際に本製品とアクセスポイントの通信を行いますので電源を入れておいてください。

2 本製品の［LINK］ランプが緑色に点灯(点滅)していることを確認します。



ランプが
消灯している場合は…

25 ページをご覧ください。

この後、Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows CE 3.0の場合 **次ページへ**

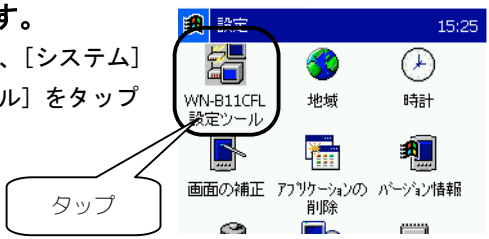
Windows CE .NET 4.1の場合 **32ページへ**

Windows CE 3.0でのアクセスポイント接続設定

Windows CE 3.0の場合は以下の手順を行ってアクセスポイントと通信します。

1　設定ツールを起動します。

[スタート]→[設定]を開き、[システム]タブで［WN-B11CFL設定ツール］をタップします。



2　［設定］タブで以下を設定します。

①[設定]タブをタップします。

②[手動接続]をタップし、接続先アクセスポイントの[ESSID]*(27ページで確認したSSID)*を入力します。

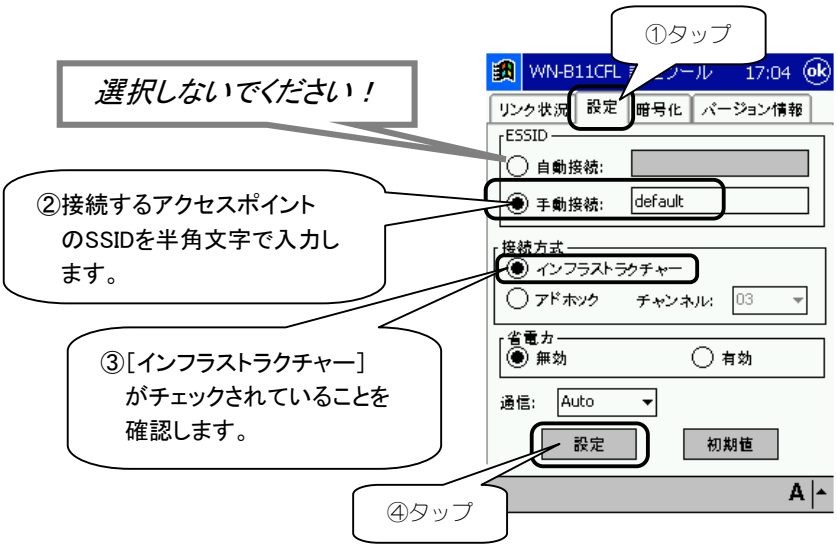
※[自動接続]は選択しないでください。

※半角文字で入力します。また、大文字、小文字の区別がありますのでご注意ください。

③[接続方式]は[インフラストラクチャー]を選択します。

④[設定]をタップします。

※他の項目は特に変更する必要はありません。



Windows CE 3.0でのアクセスポイント接続設定（つづき）

3　［暗号化］タブをタップし、
通信するアクセスポイントと同じ
暗号化キー*（27ページで確認した暗号化キー）*を設定します。
設定後、［更新］をタップします。

参考

暗号化キー設定（この画面）の詳細については 43 ページを参照してください。
暗号化キーの設定は後で行うこともできます。

4　［OK］をタップします。

以上でアクセスポイントと通信するための設定は終了です。

ここまでの設定を確認しましょう

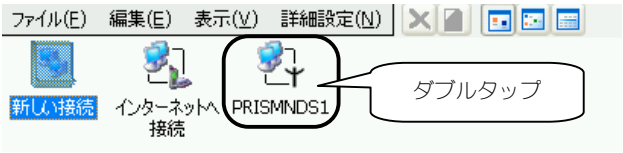
35ページへ

Windows CE .NET 4.1でのアクセスポイント接続設定

Windows CE .NET 4.1の場合は以下の手順を行ってアクセスポイントと通信します。

1　**［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にタップし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルタップします。**

2　**［PRISMNDS1］アイコンをダブルタップします。**

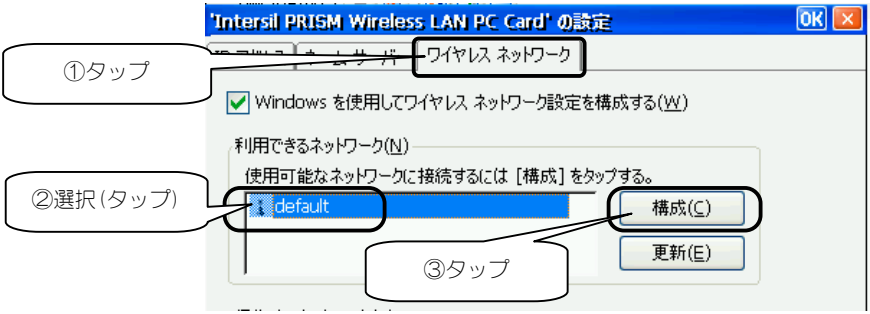


3　**通信するネットワークを選択します。**

①[ワイヤレスネットワーク]タブをタップします。

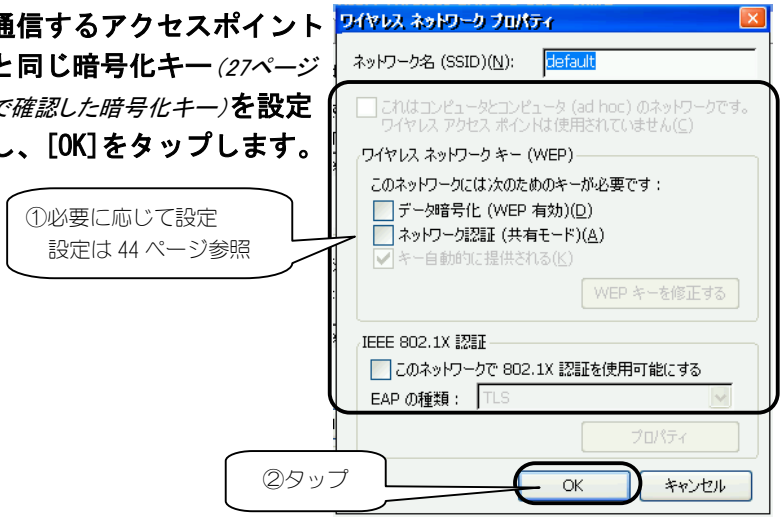
②[利用できるネットワーク]で27ページで確認したSSIDを選択します。

③[構成]ボタンをタップします。



Windows CE .NET 4.1でのアクセスポイント接続設定（つづき）

4 通信するアクセスポイントと同じ暗号化キー*（27ページで確認した暗号化キー）*を設定し、[OK]をタップします。



5 [優先するネットワーク]に追加したSSIDが表示されていることを確認し、[OK]をタップします。

以上でアクセスポイントと通信するための設定は終了です。

ここまでの設定を確認しましょう

36ページへ

ここまでの確認
（～アクセスポイントと通信するための設定）

ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品とアクセスポイントが無線LANで通信できているはずです。
確認後、次のステップにお進みください。

確認は、Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

次ページへ

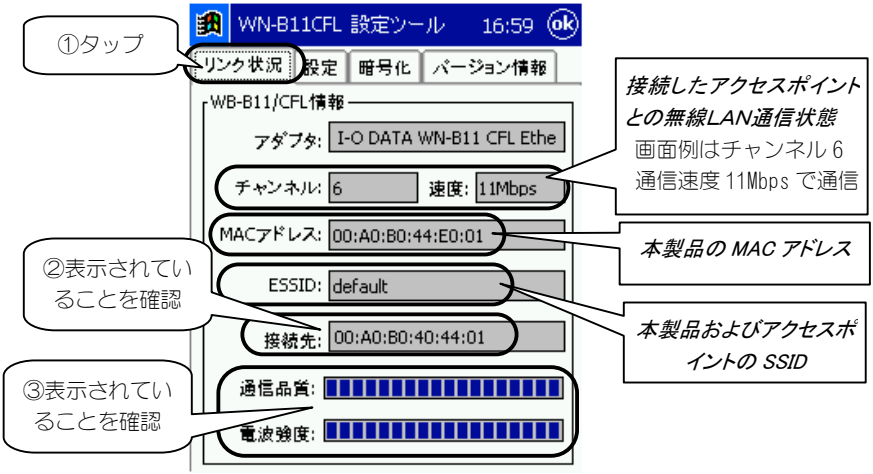
36ページへ

Windows CE 3.0での無線LAN接続状態の確認

Windows CE 3.0では［WN-B11CFL設定ツール］の［リンク状況］タブで確認します。（画面の開き方については、30ページ参照）

［接続先］欄に接続先の無線LANアクセスポイントのMACアドレスが表示され、

［通信品質］［電波強度］欄にレベル表示されていることをことを確認します。



［接続先］［通信品質］［電波強度］欄に表示がない場合は…

原因1	アクセスポイントの電源が入っていない。
対処	アクセスポイントの電源を入れてください。

原因2	本製品の無線LANの設定がアクセスポイントの設定と違っている。
対処	本製品の無線LANの設定（【ステップ４】28ページ参照）とアクセスポイントの設定を再度ご確認ください。

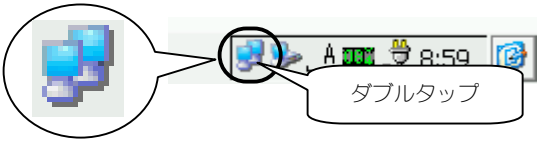
以上で確認は終了です。

インターネットや有線LANへの接続へ　37ページ

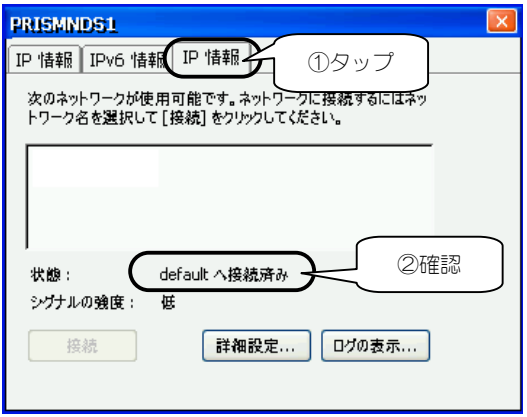
Windows CE .NET 4.1での無線LAN接続状態確認

Windows CE .NET 4.1では、以下を確認します。

1 画面右下の アイコンをダブルタップします。



2 右側の［IP情報］タブをタップし、［状態：］にアクセスポイントのSSIDへ接続済みの表示があることを確認します。



［接続済み］の表示がない場合は…

原因1	アクセスポイントの電源が入っていない。
対処	アクセスポイントの電源を入れてください。

原因2	本製品の無線LANの設定がアクセスポイントの設定と違っている。
対処	本製品の無線LANの設定（【ステップ４】28ページ参照）とアクセスポイントの設定を再度ご確認ください。

以上で確認は終了です。

インターネットや有線LANへの接続へ　次ページ

ステップ5 インターネットや有線LANに接続する

ここでは、本製品から無線LANで接続したアクセスポイント経由でインターネットや有線LANへ接続する手順について説明します。

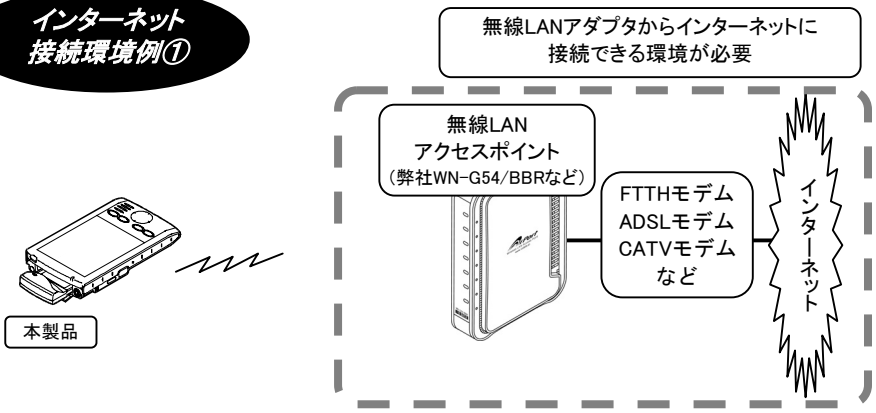
・本製品でインターネットをご利用時に必要な環境

本製品を取り付けたWindows CE機からインターネットをご利用になりたい場合は、別途インターネットに接続できる環境※が必要です。

※*ADSLおよびケーブル（CATV）モデムなどの機器が別途必要です。*
また、プロバイダとインターネットに接続する契約も必要です。

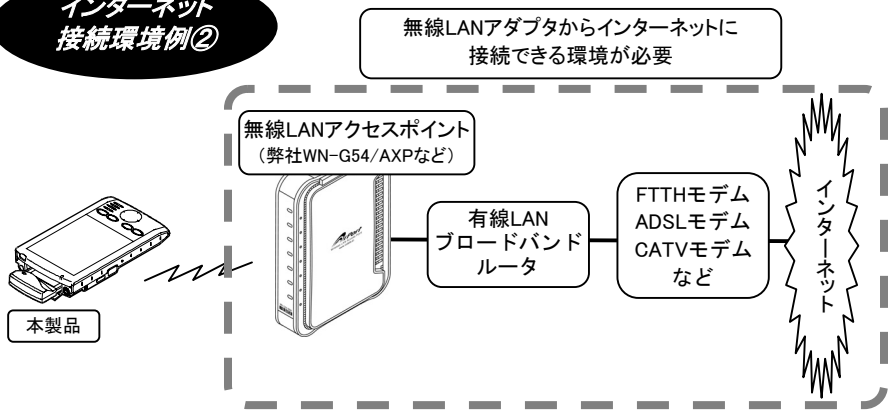
本製品は、その無線LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続できます。

インターネット接続環境例①



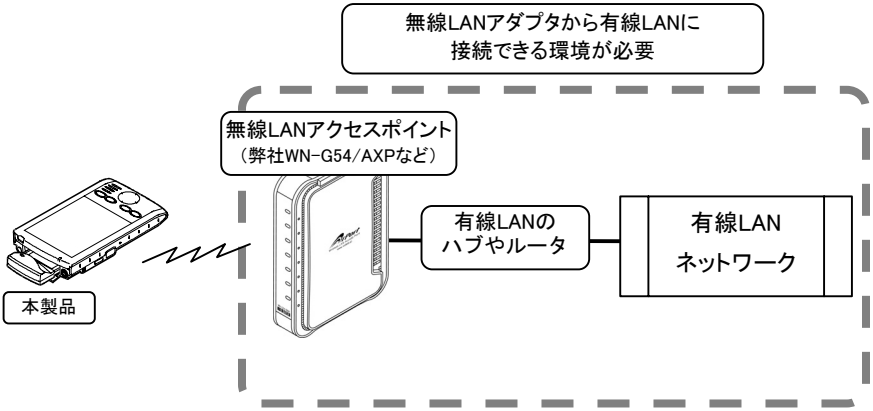
インターネットや有線LANに接続する（つづき）

インターネット接続環境例②



・本製品から有線LANネットワーク接続時に必要な環境

本製品を取り付けたWindows CE機からすでにご利用の有線LANネットワークに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントが必要です。



すでに導入済みの無線LAN環境がある場合の手順

本製品を導入する前に、他の無線LANアダプタからアクセスポイント経由ですでにインターネットや有線LANに接続していた場合は、本製品からそのアクセスポイントに正常に無線LAN通信できればインターネットや有線LANに接続できます。

インターネットや有線 LAN に接続できない場合は…

原因1	本製品の無線LANの設定が間違っている。
対処	他の無線LANアダプタの設定を確認し、【ステップ4】(28ページ)を参照して設定が間違っていないか確認してください。

原因2	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	既設の環境がDHCPサーバーを使用している場合、本製品のIPアドレスの設定を[サーバーが割り当てたIPアドレスを使用する]※に設定してください。 *※Windows CE .NET 4.1の場合は[IPアドレスをDHCPサーバーから取得]*

原因3	接続制限がかかっている。
対処	MACアドレス制限など、既設LANのセキュリティをご確認ください。

はじめて無線LANから接続する場合の手順

はじめてインターネットや有線LANに接続する場合、アクセスポイントの設定が必要です。アクセスポイントの設定後、インターネットや有線LANに接続できるようになります。

①アクセスポイントを設定します。(アクセスポイントの取扱説明書参照)
　※ADSL、ケーブル、FTTHモデムなどとの接続も行います。
　※有線LAN環境がある場合は、有線LANにアクセスポイントを接続して設定することをおすすめします。
②アクセスポイントの無線LAN設定([SSID][暗号化キー])を変更した場合は、本製品の無線LANの設定も再度同じ値に変更してください。
③インターネットや有線LANに接続します。

Windows CE

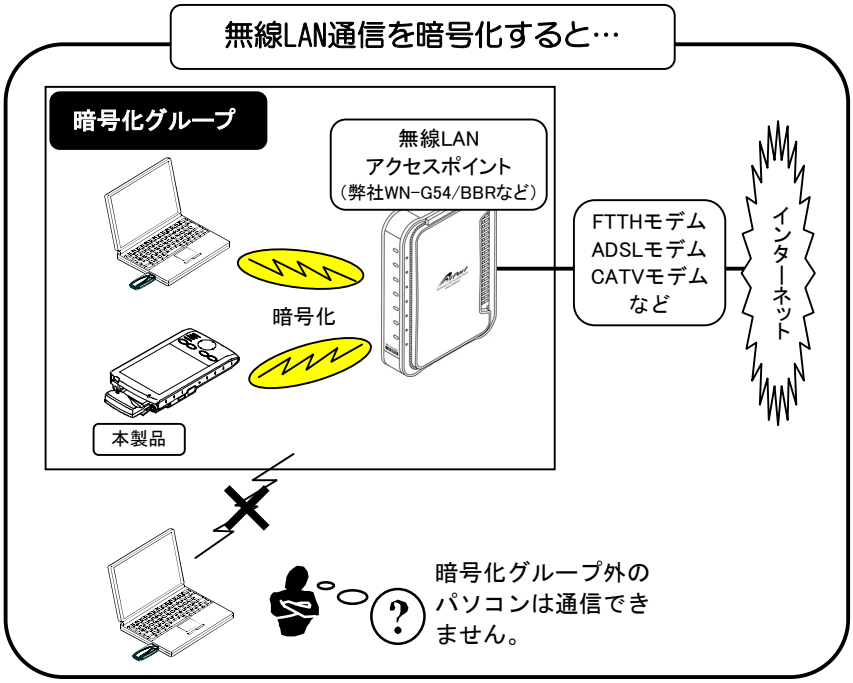
その他の設定

その他の設定① **通信を暗号化する設定**・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
その他の設定② **無線LANアダプタのみで通信する** ・・・・・・・・46
その他の設定③ **ファイルの共有を設定する**・・・・・・・・・・・・・・55
その他の設定④ **アンインストール**（インストールしたソフトの削除） 65
その他の設定⑤ **WN-B11CFL設定ツールの詳細** ・・・・・・・・・・66

その他の設定①

通信を暗号化する設定

無線LAN通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。



注意！

暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべての無線LAN機器（アクセスポイントや無線LANアダプタ）に同じ暗号化キーを設定する必要があります。
他の無線LAN機器に暗号化が設定されていない場合は、暗号化を設定する必要はありません。

通信を暗号化する

暗号化キーの設定は、Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows CE 3.0の場合　次ページへ

Windows CE .NET 4.1の場合　44ページへ

注意！

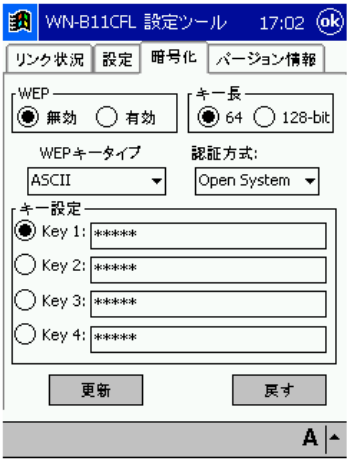
本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。

参考

暗号キー入力方式の異なる他社製品については、【入力方式の異なる他社製品との暗号化について】（45ページ）を参照してください。

Windows CE 3.0での暗号化

Windows CE 3.0では、［WN-B11CFL設定ツール］の［暗号化］タブで暗号化を設定します。（画面の開き方については、30ページ参照）



キー設定後、再度本画面を開いたときには、[キー設定]の暗号キーは[＊]で表示されます。

本製品の暗号化キーは、WN-B11/PCMなどで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16進コードまたはASCIIコードのみ互換性があります。

WEP	無効…暗号化は行いません。 有効…暗号化を行います。
キー長※	入力するキーの長さ(文字数)を設定します。
WEPキータイプ	入力方法を設定します。(ASCIIコード、16進コード) ・*ASCIIコードの場合* → 半角英数字 ・*16進コードの場合* → 0～9またはA～Fの文字列
認証方式	Open System…開放型認証方式 Shared Key…共有型認証方式
キー設定※	「キー長」で指定した文字数分、「WEPキータイプ」に合わせた形式で暗号キーを入力します。 (他社製品との暗号化については、次ページも参照してください。) キー先頭のラジオボタンで、使用する暗号キーの番号(Key1～4)を選択します。通信相手と番号を合わせてください。(通常はKey1)

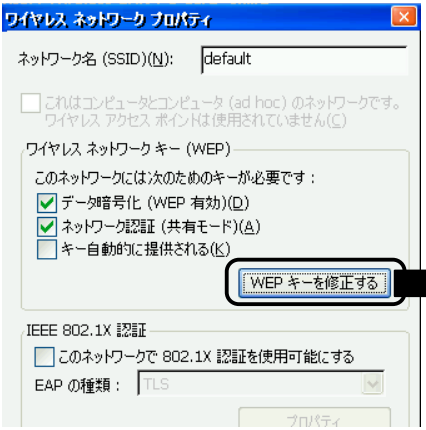
	[WEPキータイプ]での指定	
	ASCIIコード	16進コード
64bit	5文字	10文字
128bit	13文字	26文字

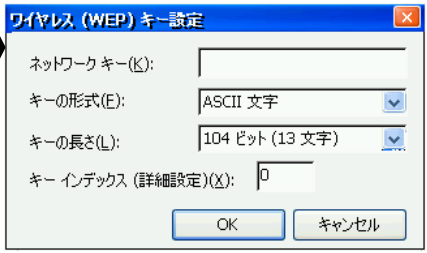
※アクセスポイントや他の無線LANアダプタによっては暗号化キー設定の標記が以下のように異なる場合があります。それぞれ読み替えてください。

	キー長		キー番号			
本製品	64 bit	128 bit	Key1	Key2	Key3	Key4
本製品以外	40 bit	104 bit	KEY0	KEY1	KEY2	KEY3

Windows CE .NET 4.1での暗号化

Windows CE .NET 4.1では、[ワイヤレスネットワークのプロパティ]画面で暗号化を設定します。（画面の開き方については、32ページ参照）





キー設定後、再度本画面を開いたときには、[ネットワークキー]は[＊]で表示されます。

本製品の暗号化キーは、WN-B11/PCMなどで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16進コードまたはASCIIコードのみ互換性があります。

データ暗号化（WEP有効）	暗号化(WEP)を有効にする場合にチェックします。
ネットワーク認証（共有モード）	共有キー(シェアードキー)を使用する場合にチェックします。
キー自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイント側から、自動で提供される環境の場合はチェックを入れてください。

【WEPキーを修正する】

ネットワークキー	「キーの長さ」で指定した文字数（桁数）分、「キーの形式」に合わせた形式で暗号キーを入力します。 （他社製品との暗号化については、次ページも参照してください。）
キーの形式	暗号キーの形式を「ASCII文字」「16進数」から選択します。 ・「ASCII文字」の場合は、半角英数字 ・「16進数」の場合は、0～9またはA～Fの文字列
キーの長さ※	暗号キーを入力する長さ（文字数）を以下から選択します。 ASCII文字の場合：「40ビット(5文字)」「104ビット(13文字)」 16進数の場合　：「40ビット(10桁)」「104ビット(26桁)」
キーインデックス※（詳細設定）	インデックスを0～3の範囲で指定します。 通常は0を指定します。

※アクセスポイントや他の無線LANアダプタによっては暗号化キー設定の標記が以下のように異なる場合があります。それぞれ読み替えてください。

	キーの長さ		キーのインデックス			
本製品	40ビット	104ビット	キー0	キー1	キー2	キー3
本製品以外	64ビット	128ビット	キー1	キー2	キー3	キー4

入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN シリーズでは、暗号キーとして 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。
これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの文字列を入力します。
WN シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの5文字の文字列を以下対応表に基づき、16 進コードに変換し、入力することで通信可能となります。
各文字と 16 進コードの対応については以下の表を参照してください。

〈例〉 文字で ″WNB11″ と設定している場合、
16進コードでは［57 4e 42 31 31］となります。

パソコンで使用される文字と 16 進数の対応表

パソコンの画面に表示される文字など、パソコンで使用される文字は本来16進数で構成されています。（パソコンは16進数で文字を認識します。）
例えば画面上に半角文字で 1 と表示されている文字は、パソコン内部では 31 という16進数のコードで認識され、表示しています。
※漢字の場合は異なります。
本製品の暗号化設定時など、この16進数のコードで設定します。

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
		0	30	@	40	P	50	`	60	p	70
!	21	1	31	A	41	Q	51	a	61	q	71
″	22	2	32	B	42	R	52	b	62	r	72
#	23	3	33	C	43	S	53	c	63	s	73
$	24	4	34	D	44	T	54	d	64	t	74
%	25	5	35	E	45	U	55	e	65	u	75
&	26	6	36	F	46	V	56	f	66	v	76
'	27	7	37	G	47	W	57	g	67	w	77
(	28	8	38	H	48	X	58	h	68	x	78
)	29	9	39	I	49	Y	59	i	69	y	79
*	2a	:	3a	J	4a	Z	5a	j	6a	z	7a
+	2b	;	3b	K	4b	[	5b	k	6b	{	7b
,	2c	<	3c	L	4c	¥	5c	l	6c	|	7c
−	2d	=	3d	M	4d	]	5d	m	6d	}	7d
.	2e	>	3e	N	4e	^	5e	n	6e	~	7e
/	2f	?	3f	O	4f	_	5f	o	6f		

その他の設定②

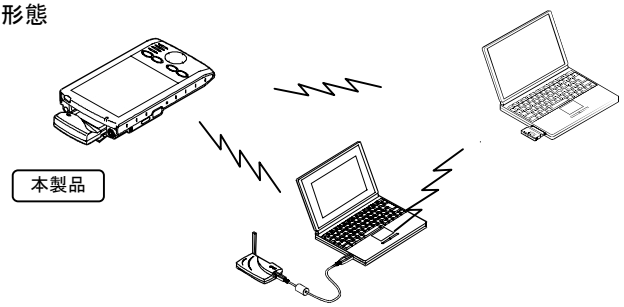
無線LANアダプタのみで通信する

本製品以外に無線LANアダプタのみしか無い場合（無線LANアクセスポイントが無い場合）は、本製品と他の無線LANアダプタは*アドホック モード*で通信できます。
本製品を取り付けたWindows CE機から無線LAN通信したパソコンのファイルを共有することもできるようになります。

※ここでは、他の無線LANアダプタと通信するまでを説明しています。ファイルの共有については本設定後、【ファイルの共有を設定する】(55ページ)を参照してください。

アドホックモードとは？

図のようにアクセスポイントを介さずに、本製品と無線LANパソコン同士で直接通信し合う形態



注意！

- **Windows CE 機（PocketPC 2002 以降のみ）から他のパソコンのフォルダ/ファイルを参照することができますが、Windows CE 機のフォルダ/ファイルを、他のパソコンと共有することはできません。**
- **アドホックモードにした場合、アクセスポイントとの通信はできなくなります。（アクセスポイントと通信する場合はインフラストラクチャモードのみ）**
- **弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。**
- **有線 LAN のパソコンとファイル共有を行いたい場合は、アクセスポイントと通信する必要があります。**

①無線LANの設定を確認する

本製品と無線LANで接続する他の無線LANアダプタの設定を確認します。(モードは[アドホック]を設定します。)

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。

この後のステップで設定します。

※これからはじめて無線LANを導入する場合は、他の無線LANアダプタを設定してから本製品を設定してください。

その際、設定したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを以下にメモしてください。

※ここで使用しているSSID、チャンネル、暗号化設定を以下にメモ

▼確認したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】 *※はじめて設定する場合は、任意の文字列を設定できます。ただし、半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。*
チャンネル	【　　】 *※はじめて設定する場合は、他の無線LANアダプタの初期値のチャンネルを設定します。次ページの参考も参照してください。*
暗号化キー	【　　】 *※はじめて設定する場合は、無線LAN通信が正常に終了した後に設定することをおすすめします。*

他アダプタとの無線LAN通信へ　49ページ

参考

●2.4GHz 帯の無線で選択するチャンネル

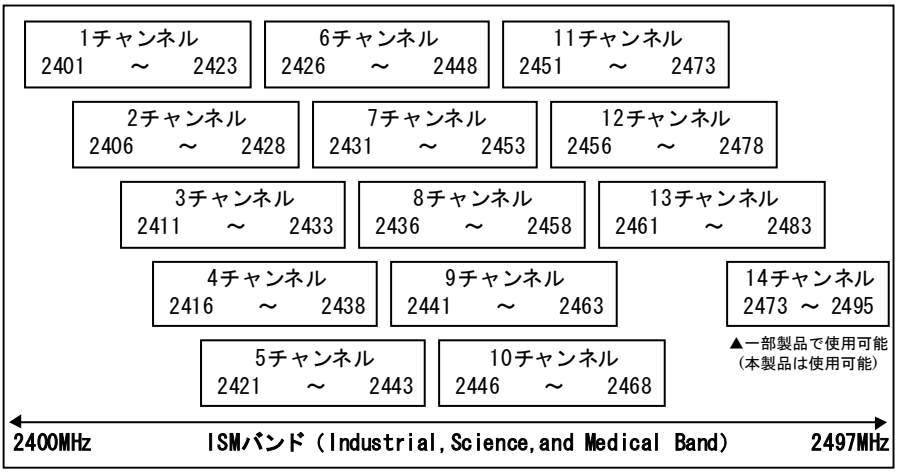
2.4GHz 帯の無線では 1～13 ch まで選択できます。(本製品を含む一部製品では、1～14 ch まで)

複数の無線ネットワークを使用する場合、隣り合ったチャンネルは、電波の帯域が重なるため通信にロスを生じます。

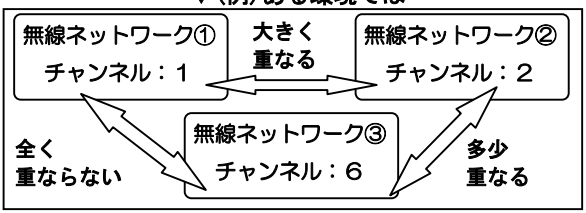
電波到達範囲内で複数の無線ネットワークが存在する場合は、下の表をご覧になり、帯域が重ならないように設定することをおすすめします。

例) 無線ネットワークが 3 つある場合は、それぞれ 1,6,11 チャンネルに設定

▼無線LANチャンネル一覧 (2.4GHz帯の場合)
(例：１チャンネルの場合、2401～2423MHzの帯域を使用します。)



▼(例)ある環境では



②他の無線LANアダプタと通信する

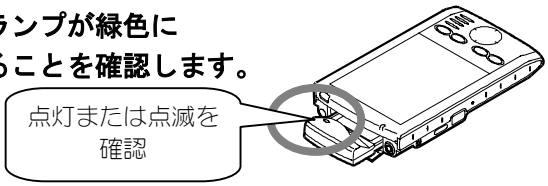
47ページで確認した[SSID]、[チャンネル]、[暗号化キー]を【ステップ1】でインストールした設定ツールで設定します。
設定後、他の無線LANアダプタと通信できるようになります。

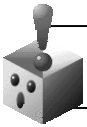
1 他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源が入っていることを確認します。

※本書では、本製品と通信する他の無線LANアダプタの設定がすべて終了していることを前提としています。

※以下の手順以降で実際に本製品と他の無線LANアダプタとの通信を行いますので、パソコンの電源を入れておいてください。

2 本製品の［LINK］ランプが緑色に点灯(点滅)していることを確認します。





ランプが
消灯している場合は…

25 ページをご覧ください。

この後、Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows CE 3.0の場合 次ページへ

Windows CE .NET 4.1の場合 53ページへ

Windows CE 3.0で他の無線LANアダプタと通信する

Windows CE 3.0の場合は以下の手順を行って他の無線LANアダプタ(パソコン)と通信します。

1 設定ツールを起動します。

[スタート]→[設定]を開き、[システム]タブで［WN-B11CFL設定ツール］をタップします。

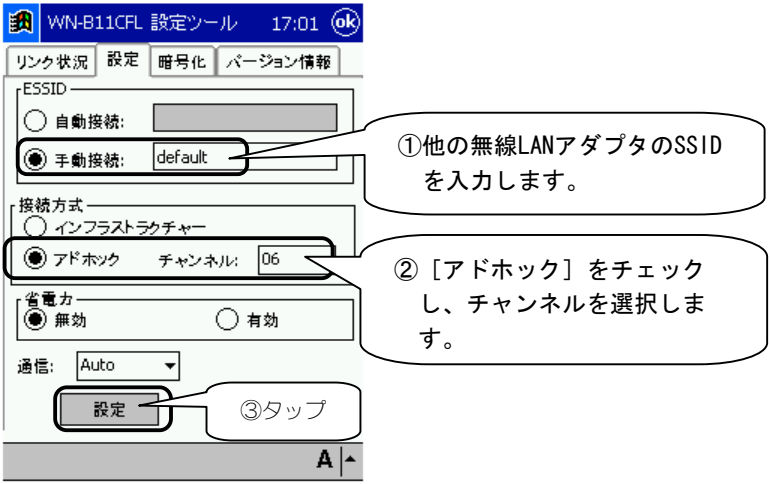
2 ［設定］タブで以下を設定します。

①[ESSID]には、[手動接続]で他の無線LANアダプタと同じ[ESSID]*(47ページで確認したSSID)*を入力します。

②[接続方式]には[アドホック]をチェックし、他の無線LANアダプタと同じチャンネル*(47ページで確認したチャンネル)*を選択します。

③[設定]をタップします。

※他の項目は特に変更する必要はありません。



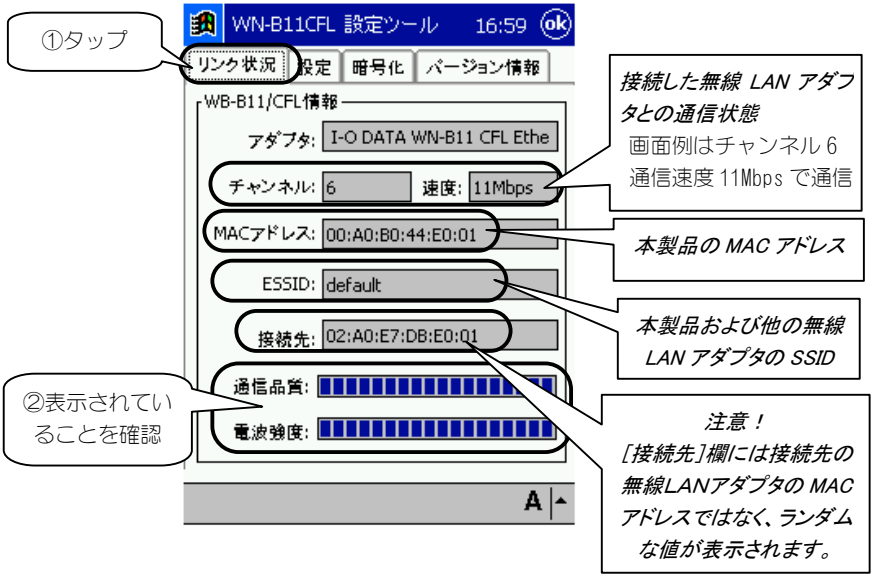
Windows CE 3.0での他の無線LANアダプタ通信（つづき）

3 ［暗号化］タブをタップし、
接続する他の無線LANアダプタと
同じ暗号化キー*（47ページで確認した暗号化キー）*を設定します。
設定後、［更新］をタップします。

参考

暗号化キー設定（この画面）の詳細については 43 ページを参照してください。
暗号化キーの設定は後で行うこともできます。（41 ページ）

4 実際に通信できているか確認します。
［リンク状況］タブをタップし、［通信品質］［電波強度］欄にレベル表示されていることをことを確認します。

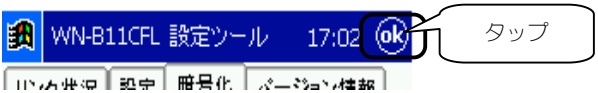


Windows CE 3.0での他の無線LANアダプタ通信（つづき）

［通信品質］［電波強度］欄に
表示がない場合は…

原因1	他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源が入っていない。
対処	パソコンの電源を入れてください。
原因2	本製品の無線LANの設定が他の無線LANアダプタの設定と違っている。
対処	本製品の無線LANの設定（46ページ～参照）と他の無線LANアダプタの設定を再度ご確認ください。

5 ［OK］をタップします。



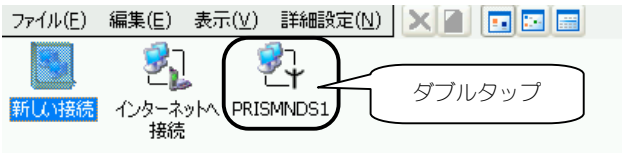
ファイル共有を行いたい場合は…　55ページへ

Windows CE .NET 4.1で他の無線LANアダプタと通信する

Windows CE .NET 4.1の場合は以下の手順を行って他の無線LANアダプタ（パソコン）と通信します。

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にタップし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルタップします。**

2 **［PRISMNDS1］アイコンをダブルタップします。**



3 **通信するネットワークを選択します。**

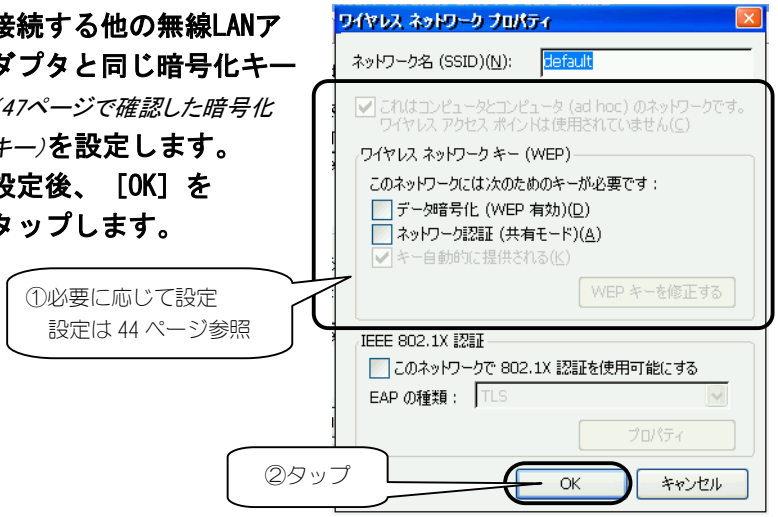
①［ワイヤレスネットワーク］タブをタップします。

②［利用できるネットワーク］で47ページで確認したSSIDを選択します。

③［構成］ボタンをタップします。

Windows CE .NET 4.1での他の無線LANアダプタ通信（つづき）

4 接続する他の無線LANアダプタと同じ暗号化キー*（47ページで確認した暗号化キー）*を設定します。設定後、［OK］をタップします。



5 ［優先するネットワーク］に追加したSSIDが表示されていることを確認し、［OK］をタップします。

以上で他の無線LANアダプタと通信するための設定は終了です。

ファイル共有を行いたい場合は…　次ページへ

その他の設定③

ファイルの共有を設定する

本製品を取り付けたWindows CE機から、他の無線LANアダプタを搭載したパソコンのファイルを共有することができます。(「Pocket PC 2002」以降のみ)

注意！

- **以下は、「Pocket PC 2002」以降でのみ操作可能です。「Pocket PC 2002」以前の OS では Windows CE 機からファイルを参照することはできません。**
- **Windows CE 機から他のパソコンのフォルダ/ファイルを参照することはできますが、Windows CE 機のフォルダ/ファイルを、他のパソコンと共有することはできません。**
- **弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。**
- **有線 LAN のパソコンとファイル共有を行いたい場合は、アクセスポイントと通信する必要があります。**

①ファイル共有時のIPアドレス例

ファイル共有を行う場合、自分のIPアドレスの指定とともに、相手先のパソコンのIPアドレスを指定する必要があります。

ここでは、次ページ例での設定例について説明します。

次ページでは、以下のIPアドレスを設定しています。

・アドホック　モード環境での例

本製品(を取り付けたWindows CE機)のIPアドレス:	192.168.0.2
パソコン1台目のIPアドレス(共有するPC):	192.168.0.3
パソコン2台目のIPアドレス:	192.168.0.4

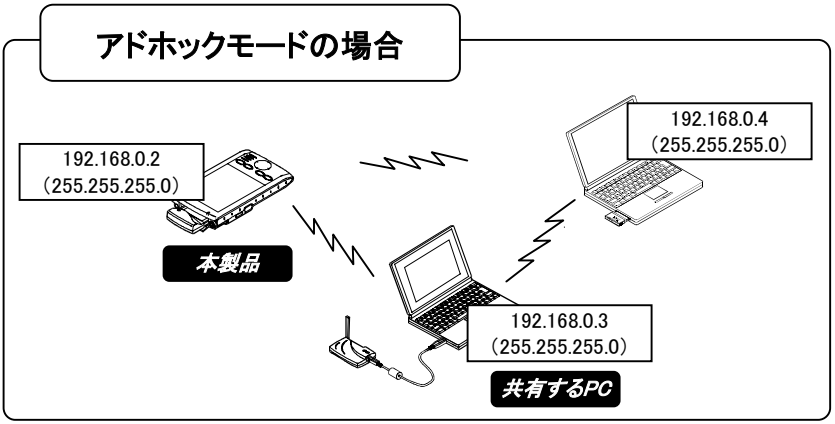
・インフラストラクチャ　モード環境での例

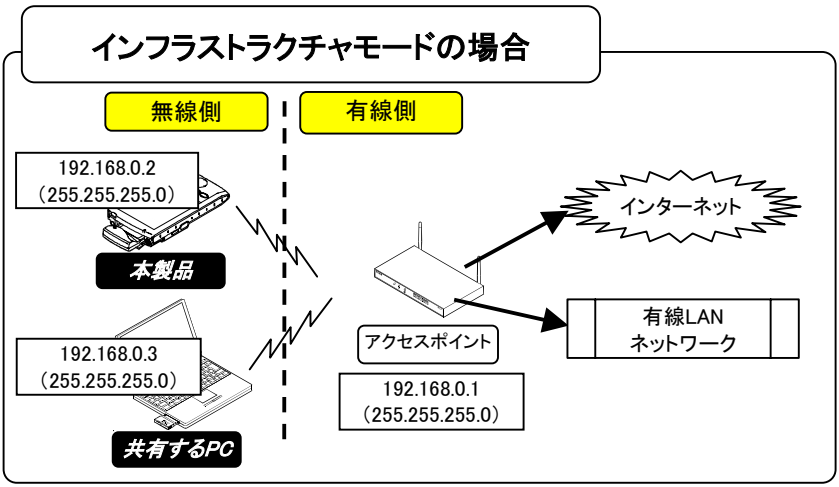
本製品(を取り付けたWindows CE機)のIPアドレス:	192.168.0.2
パソコン1台目のIPアドレス(共有するPC):	192.168.0.3

参考:IPアドレスの設定例

以下はIPアドレスの設定例です。

	内の上段はIPアドレス 内の下段はサブネットマスク





上図[インフラストラクチャモードの場合]の例は、IP アドレスの値を固定にした場合の例です。
アクセスポイントなどの DHCP サーバをご利用時には、同一セグメントで、DHCP サーバの自動取得設定で指定する範囲外の固定の IP アドレスを、本製品やパソコン側に指定してください。

②ファイル共有を設定する

ファイル共有を設定します。(「Pocket PC 2002」以降のみ可能)

注意！

・フォルダやファイルを共有する場合は、事前に、共有するパソコン側でフォルダやファイルの共有設定をしておく必要があります。
パソコン側での共有設定の詳細については、サポートソフト CD-ROM 内の[manual]フォルダ内の MKCOMMON.PDF ファイルを参照してください。
・実際に共有できているかを確認する場合、共有するパソコンの[コンピュータ名]、共有するパソコンへログオンするための[ユーザー名][パスワード]を入力する必要があります。事前にご確認ください。

この後、Windows CE 3.0機とWindows CE .NET 4.1機では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows CE 3.0の場合 → 次ページへ

Windows CE .NET 4.1の場合 → 62ページへ

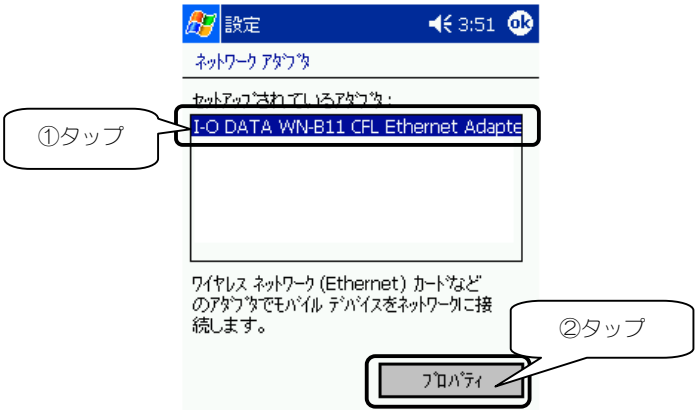
Windows CE 3.0でファイル共有を設定する

1 共有したいパソコン側で共有設定します。
また、共有設定したパソコンの「コンピュータ名」、他から共有設定したパソコンへログオン時に必要となる「ユーザー名」「パスワード」を確認します。

2 Windows CE機の［スタート］→［設定］をタップします。

3 [接続]タブの[ネットワークアダプタ]を開きます。

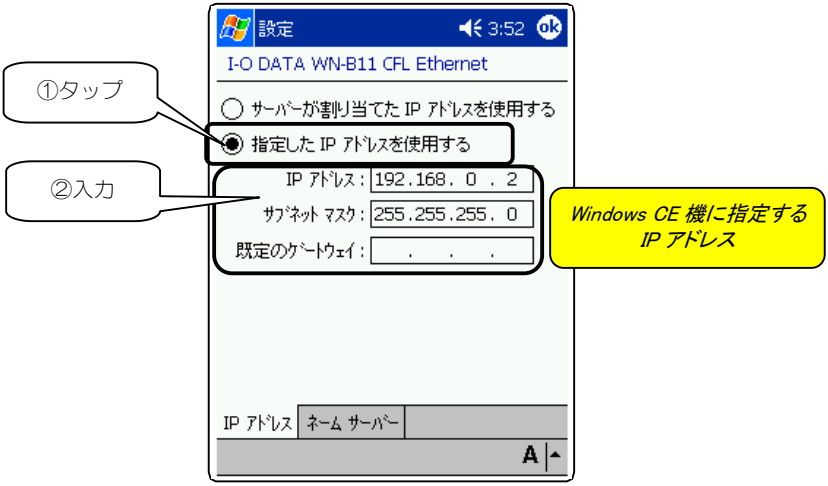
4 [I-O DATA WN-B11 CFL Ethernet Adapter]をタップし、[プロパティ]をタップします。



Windows CE 3.0でファイル共有を設定する（つづき）

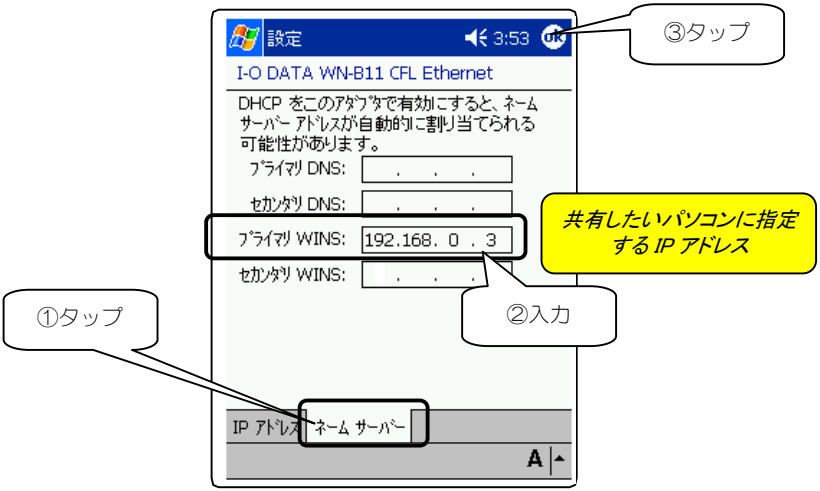
5 IPアドレスの設定を行います。

①［指定したIPアドレスを使用する］をタップします。
②Windows CE機に設定するIPアドレスを入力します。



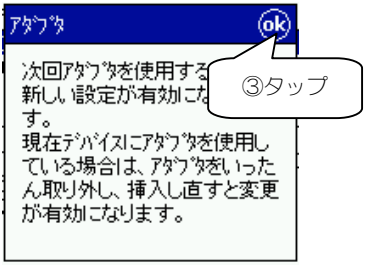
6 WINSの設定を行います。

①［ネームサーバー］タブをタップします。
②［プライマリWINS］に共有設定したパソコンのIPアドレスを入力します。
③［OK］ボタンをタップします。



Windows CE 3.0でファイル共有を設定する(つづき)

7 右の画面が表示されますので、
［OK］をタップします。

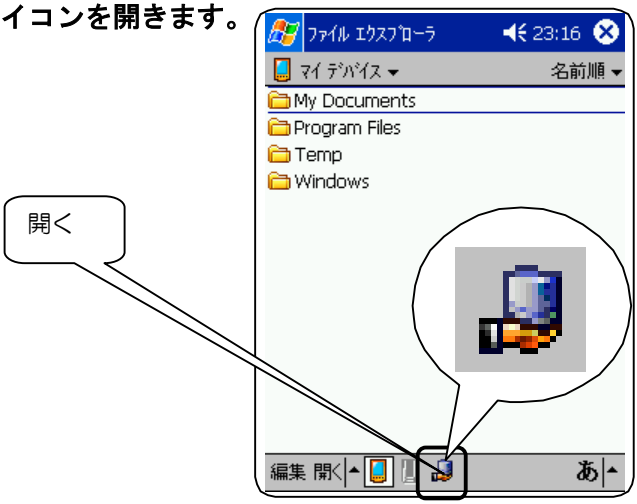


8 いったん本製品を取り出し、挿入し直します。

以上でファイル共有の設定は終了です。
次に実際にファイル共有できるかを確認します。

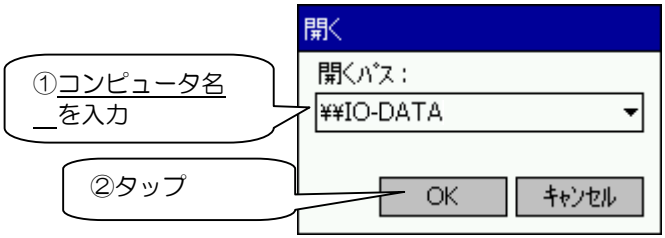
9 ［スタート］→［プログラム］から
［ファイルエクスプローラ］を開きます。

10 アイコンを開きます。

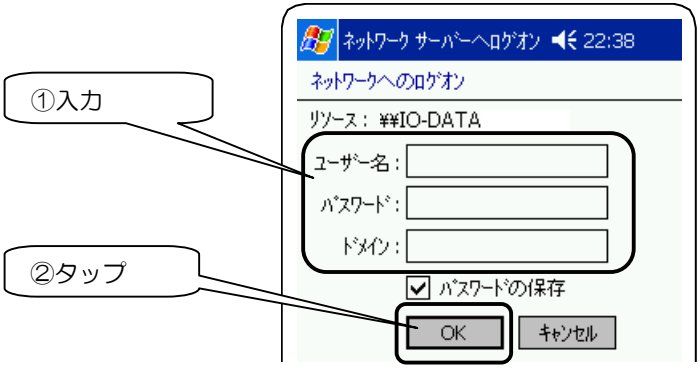


Windows CE 3.0でファイル共有を設定する(つづき)

11 **共有設定したパソコンの[コンピュータ名]を入力し、[OK]をタップします。**



12 **以下の画面で、共有設定したパソコンへログオンするためのユーザー名、パスワードなどを入力し、[OK]をタップします。**



13 **共有したフォルダが表示されます。**

フォルダやファイルを共有する場合は、事前に、共有するパソコン側でフォルダやファイルの共有設定をする必要があります。

Windows CE .NET 4.1でファイル共有を設定する

1 共有したいパソコン側で共有設定します。
また、共有設定したパソコンの「コンピュータ名」、他から共有設定したパソコンへログオン時に必要となる「ユーザー名」「パスワード」を確認します。

2 Windows CE機で
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にタップし、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルタップします。

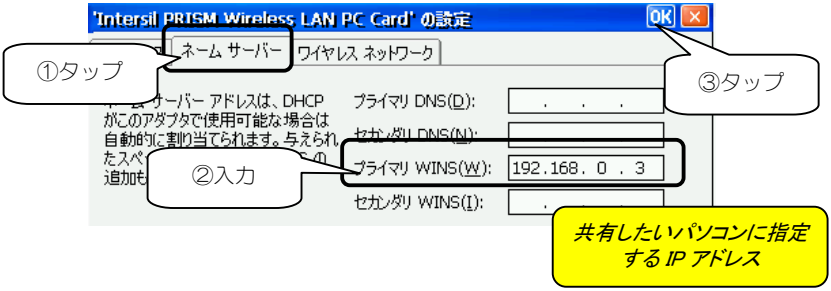
3 ［PRISMNDS1］アイコンをダブルタップします。

4 ［IPアドレス］タブでIPアドレスの設定を行います。
①［IPアドレスを指定］をタップします。
②Windows CE機に設定するIPアドレスを入力します。

Windows CE .NET 4.1でファイル共有を設定する(つづき)

5 WINSの設定を行います。

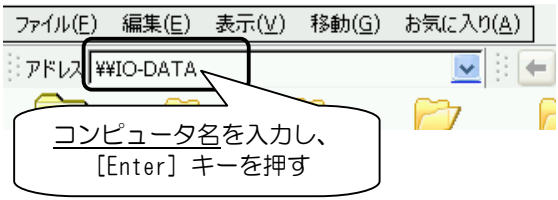
①［ネームサーバー］タブをタップします。
②［プライマリWINS］に共有設定したパソコンのIPアドレスを入力します。
③［OK］をタップします。



以上でファイル共有の設定は終了です。
次に実際にファイルが共有できるかを確認します。

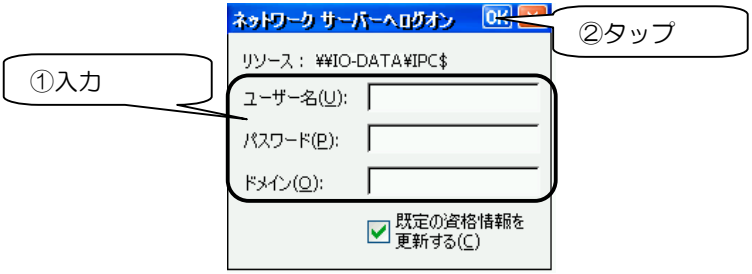
6 [スタート]→[プログラム]から[エクスプローラ]を開きます。

7 ［アドレス］欄に共有設定したパソコンの[コンピュータ名]を入力し、[Enter]キーを押します。



Windows CE .NET 4.1でファイル共有を設定する(つづき)

8 **以下の画面で、共有設定したパソコンへログオンするためのユーザー名、パスワードなどを入力し、[OK]をタップします。**



9 **共有したフォルダが表示されます。**

フォルダやファイルを共有する場合は、事前に、共有するパソコン側でフォルダやファイルの共有設定をする必要があります。

その他の設定④

アンインストール（インストールしたソフトの削除）

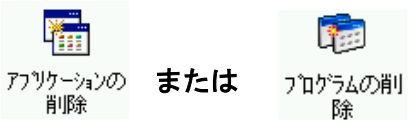
インストールしたドライバソフトや設定ツールを削除します。

注意！

削除する前に、必ず設定ツールを終了しておいてください。

1 [スタート]→[設定]から[システム]タブ内の[アプリケーションの削除]（または[プログラムの削除]）を開きます。

※Windows CE .NET 4.1 の場合は[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[アプリケーションの削除]をダブルタップします。



2 本製品のドライバを削除します。

①[I-O DATA WN-B11 CFL Ethernet Adapter]※を選択します。

※Windows CE .NET 4.1の場合は[I-O DATA WNB11CFL]

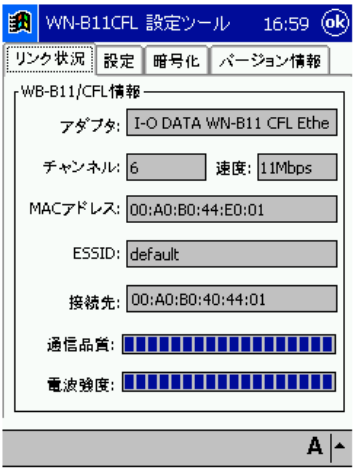
②[削除]をタップします。

画面はWindows CE 3.0での例です。

WN-B11CFL設定ツールの詳細

通信設定の表示 …［リンク状況］

［リンク状況］タブでは、現在の通信状況を表示します。



項目	内容
アダプタ	本製品のアダプタ名を表示します。
チャンネル	現在のチャンネル(1～14ch)
速度	現在のリンク速度 (11Mbps、5.5Mbps、2Mbps、1Mbps)
MACアドレス	本製品のMACアドレスです。
ESSID	現在通信を行っている無線LANネットワークのSSIDです。
接続先	接続しているアクセスポイントのMACアドレスを表示します。 （インフラストラクチャー モードの場合のみ）
通信品質	接続している無線LAN機器とのリンク品質 (表示されているバーが多いほど高品質の通信を行っています。)
電波強度	接続している無線LAN機器との電波の強度 (表示されているバーが多いほど強い電波を受信しています。)

無線LANの設定 …［設定］

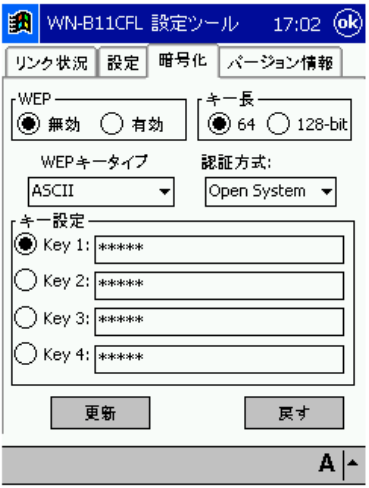
［設定］タブでは、無線LANの設定/登録を行うことができます。

項目	内容
ESSID	**自動接続**: *※選択しないでください。* **手動接続**: 手動で本製品のSSIDを設定します。
接続方式	通信モード(インフラストラクチャー、アドホック)を設定します。 アドホック モード時の場合のみ、通信チャンネルを指定できます。 ***※インフラストラクチャー モード時は、通信チャンネルはアクセスポイントの通信チャンネルが使用されるため設定はありません。***
省電力	［有効］にチェックを付けると、省電力モードになります。
通信	Auto（初期値） ［1Mbps］［2Mbps］［1M/2Mbps］［5.5Mbps］［11Mbps］
［設定］ボタン	変更した設定値を有効にします。
［初期値］ボタン	設定を初期値に戻します。

暗号化の設定 …[暗号化]

［暗号化］タブでは、暗号化の設定ができます。

詳しくは、【通信を暗号化する設定】（41ページ）をご覧ください。



ソフトウェアその他バージョン …[バージョン情報]

［バージョン情報］タブでは、ドライバソフト・設定ユーティリティなどのバージョンを確認できます。※表示されるバージョンは出荷時期により異なります。

Windows CE

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフト

インターネットや有線LANに接続できない

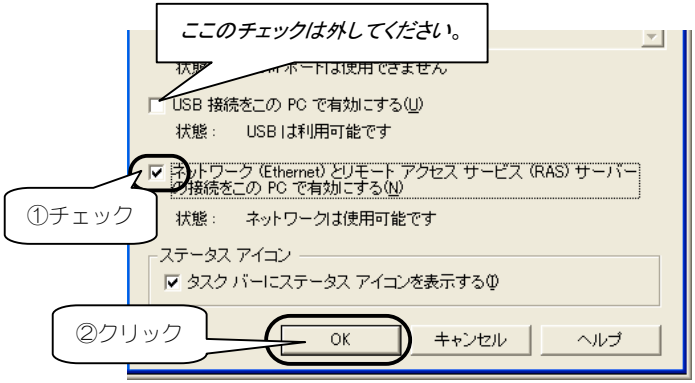
原因1	アクセスポイントと同じ無線LANの設定（SS ID、暗号化キー）になっていない。
対処	設定ツールで無線LANの設定が同じ値になっているか確認してください。

原因1	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	正しく設定してください。

原因3	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、アクセスポイント側で通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。

原因4	ファイヤウォール等のアプリケーションが妨げている。
対処	ファイヤウォール等のアプリケーションがファイル共有を妨げていないか確認し、妨げている場合は、ファイル共有できるようにアプリケーションで設定してください。

本製品を経由して、ActiveSyncが実行できない

原因	ActiveSyncがネットワーク経由の設定になっていない。
対処	以下の手順を行います。 *※以下の手順は一例です。詳細についてはお使いのWindows CE機の取扱説明書を参照してください。* 最初にパソコン側で以下の手順を行います。 ①パソコン側でActiveSyncを起動します。 ②[ファイル]→[接続の設定]を開きます。 ③[ネットワーク(Ethernet)と…]にチェックをいれ、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。 *※[USB接続でこのPCで有効にする]のチェックは外してください。*  （次ページに続く）

対処

パソコン側の設定後、次にWindows CE機側で以下の手順を行います。

①[ActiveSync]を起動します。

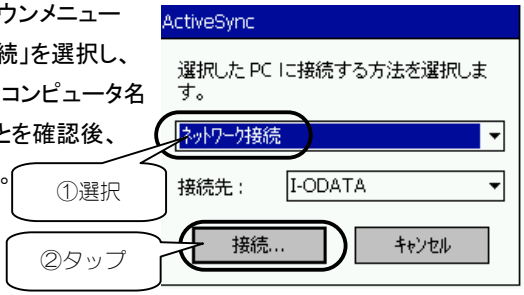
・Windows CE 3.0の場合

[スタート]→[プログラム]を開き、[接続]、[ActiveSync]の順にタップします。

・Windows CE .NET 4.1の場合

[スタート]→[プログラム]→[通信]→[ActiveSync] の順にタップします。

②右の画面ではプルダウンメニューから「ネットワーク接続」を選択し、[接続先]に接続先のコンピュータ名が表示されていることを確認後、[接続]をタップします。



以上で終了です。

Windows XP/2000/Me/98 SE で使う

本製品の設定手順 ····· 74
ステップ1　取り付けるパソコンを準備する ····· 76
①ドライバソフトのインストール ····· 77
②パソコンに取り付ける ····· 81
③ユーティリティのインストール ····· 85
ここまでの確認（インストール～取り付け） ····· 87
ステップ2　アクセスポイントと通信する ····· 91
①アクセスポイントの設定を確認する ····· 92
②アクセスポイントと通信するための設定 ····· 93
ここまでの確認 ····· 101
（～アクセスポイントと通信するための設定）
ステップ3　インターネットや有線LANに接続する···· 103
インターネットや有線LANへの接続 ····· 104

Windows XP/2000/Me/98 SE

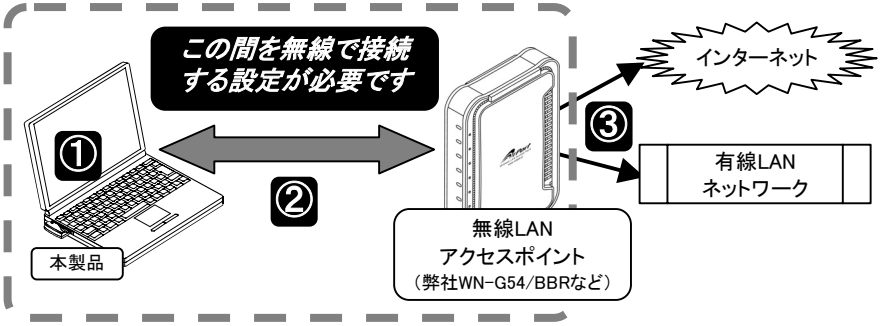
本製品の設定手順

本製品でインターネットや他の無線LANアダプタと通信するには、サポートソフトのインストールや無線LANの設定が必要です。
ただし、使用目的に応じて設定手順が異なります。

・本製品からインターネットや有線LANに接続したい場合

（インフラストラクチャ モードでの無線LAN）

本製品を取り付けたパソコンからインターネットをご利用になりたい場合、あるいは有線LANのパソコンに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントと無線で接続する必要があります。（無線LANアクセスポイント経由でインターネットや有線LANと接続します。）



設定手順

①：サポートソフトをインストールし、本製品を取り付けます。　→【ステップ1】(76ページ)
②：無線LANアクセスポイントと無線LAN通信します。　→【ステップ2】(91ページ)
③：本製品からインターネットや有線LANに接続します。　→【ステップ3】(103ページ)

パソコンの準備へ　76ページ

・本製品から他の無線LANアタプタと通信したい場合

（アドホック モードでの無線LAN）

無線LANアクセスポイントが無い環境では、本製品を取り付けたパソコンから他の無線LANアダプタを取り付けたパソコン間で通信を行い、互いのパソコン内のファイルやデータを共有することができます。

注意！

アドホックモード時には、他の無線LANアダプタもアドホックモードにする必要があります。（アドホックモード同士のみ通信できます。）
ただし、アドホックモードの場合、無線LANアクセスポイントとの通信はできなくなります。（モードが異なるため）

設定手順

①：サポートソフトをインストールし、本製品を取り付けます。 → 【ステップ1】（76ページ）

②：他の無線LANアダプタと無線LAN通信します。

→ 【無線LANアダプタのみで通信する】（113ページ）

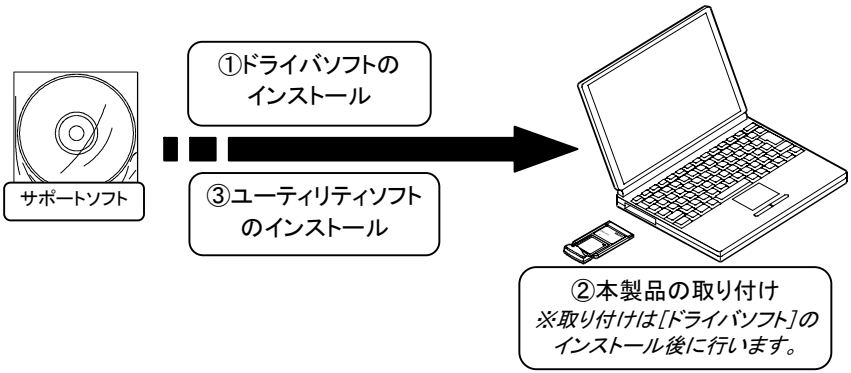
パソコンの準備へ　次ページ

ステップ 1

取り付けるパソコンを準備する

本製品を取り付けるパソコンに、本製品を使用する上で必要な以下の2つのソフトウェアをインストールします。(「サポートソフト」CD-ROMからインストールします。)

ドライバソフト	本製品をパソコンで動作させるソフトウェアです。
ユーティリティソフト	本製品の無線LANの設定を行うソフトウェアです。 本書で「クイックコネクト」と呼んでいるソフトウェアです。



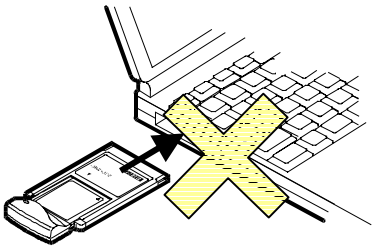
①ドライバソフトのインストール

サポートソフトCD-ROMから、ドライバソフトをインストールします。

注意！

ここではまだ本製品を挿入しないでください。

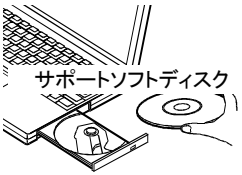
下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。本製品の挿入は、下記の作業の後に行います。



1 **Windowsを起動します。**

Windows XP/2000の場合は、管理者権限のあるユーザでログオンします。

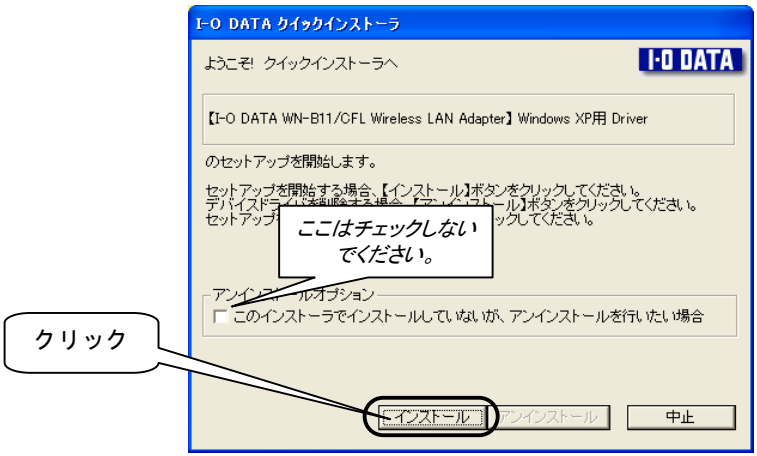
2 **サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。**



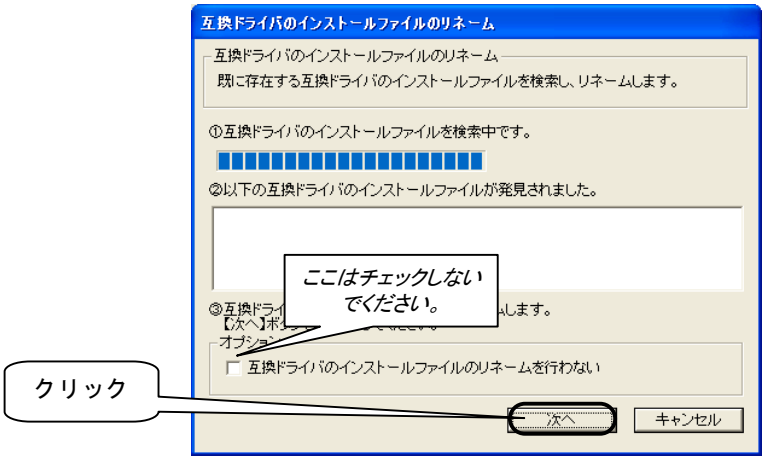
3 **[マイコンピュータ]を開き、[WNB11CFLxxx]（xxxはサポートソフトのバージョン）→[NDDSETUP]をダブルクリックします。**

ドライバのインストール（つづき）

4 ［インストール］ボタンをクリックします。

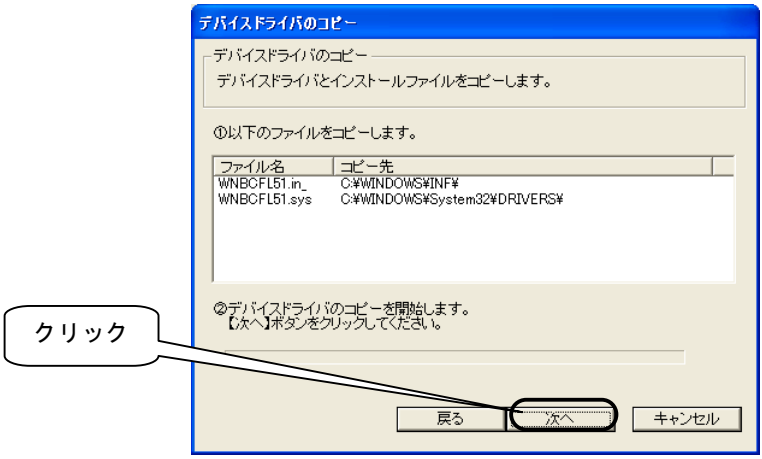


5 ［次へ］ボタンをクリックします。

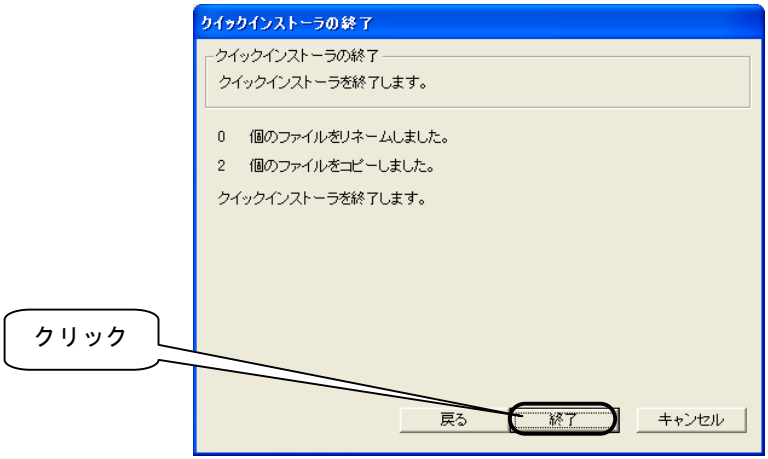


ドライバのインストール（つづき）

6 [次へ]ボタンをクリックします。



7 [終了]ボタンをクリックします。



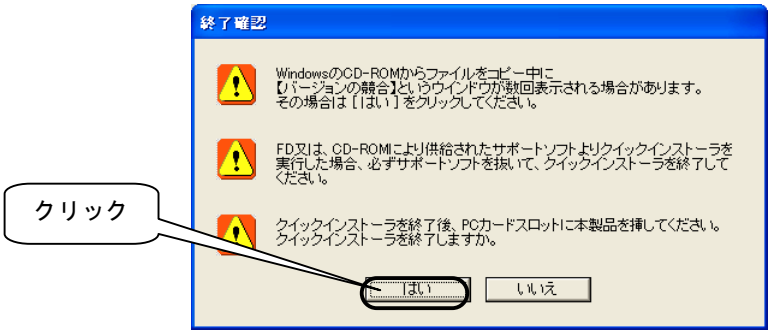
ドライバのインストール（つづき）

8 Windows Me/98 SEの場合は、以下の画面が表示される場合があります。［はい］をチェックして[OK]ボタンをクリックします。

注意！

上記の画面が表示された場合は、本製品装着後の OS 起動時に Windows CD-ROM の挿入を要求されます。本製品装着前に Windows CD-ROM をお手元にご用意ください。

9 内容を確認して、CD-ROMを取り出し、[はい]ボタンをクリックします。

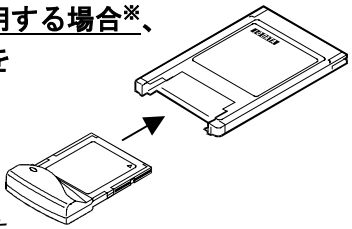


②パソコンに取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。

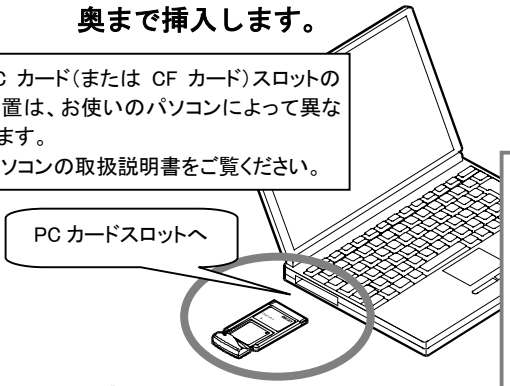
1 パソコンのPCカードスロットで使用する場合※、本製品に別売のアダプタPCCF-ADPを取り付けます。

※パソコンにCFカードスロットがある場合はアダプタを取り付ける必要はありません。本製品をCFカードスロットに挿入して使用できます。



2 パソコンのPCカードスロット（またはCFカードスロット）の奥まで挿入します。

PC カード（または CF カード）スロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以下はCFカードスロットの場合の例

注意！

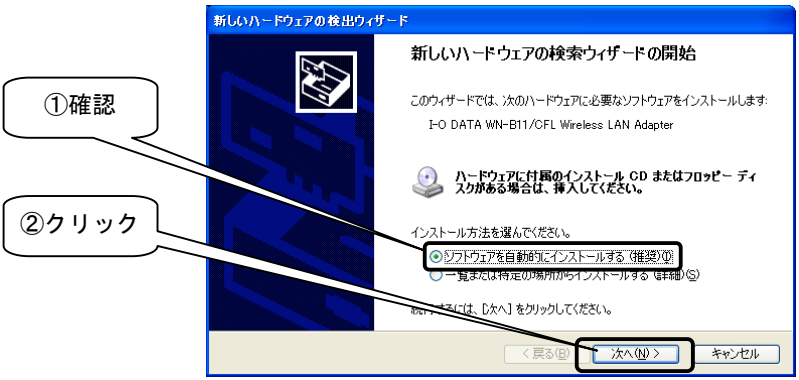
このとき挿入した PC カードスロット（CF カードスロット）以外の PC カードスロット（CF カードスロット）には挿さないでください。
本製品を他の PC カードスロット（あるいは CF カードスロット）で使用する場合は、再度 77 ページからの作業が必要です。

この後、下記の該当ページへお進みください。

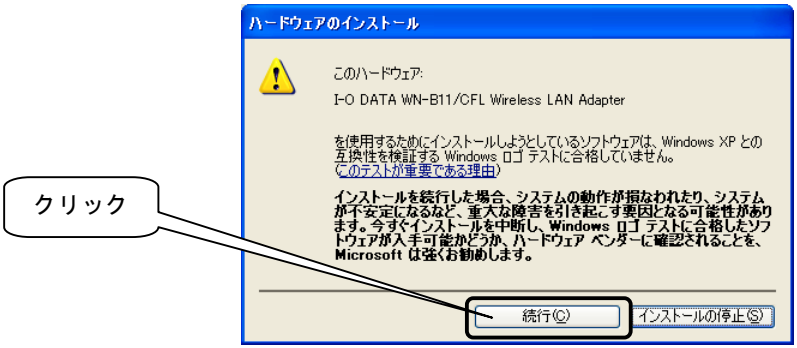
- Windows XPの場合…【Windows XPの追加作業】（次ページ）
- Windows 2000の場合…【Windows 2000の追加作業】（84ページ）
- Windows Me/98 SEの場合…【③ユーティリティのインストール】（85ページ）

Windows XPの追加作業

1 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[ソフトウェアを自動的にインストールする]にチェックがついていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



2 [続行]ボタンをクリックします。



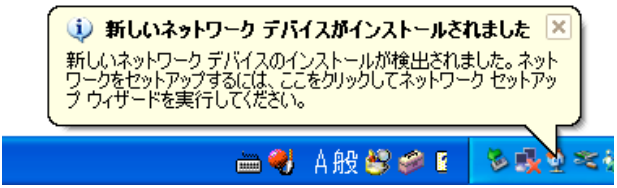
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

Windows XPの追加作業（つづき）

3　[完了]ボタンをクリックします。

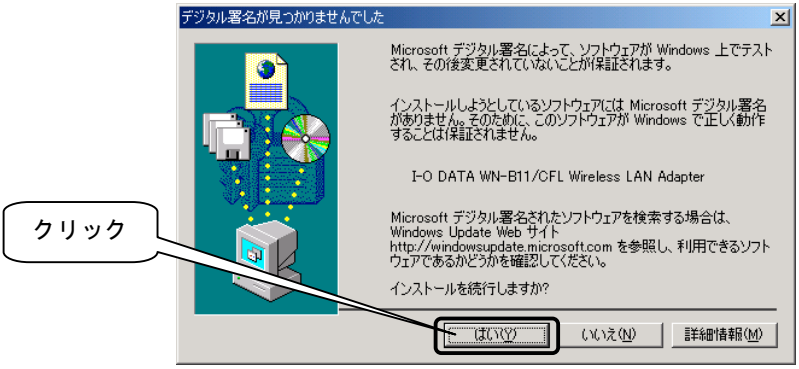
正常にインストールが終了すると、下記画面が表示されます。ネットワークセットアップウィザードが起動した場合は、キャンセルしてください。



ユーティリティのインストールへ　85ページ

Windows 2000の追加作業

1 本製品装着後、下の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

ユーティリティのインストールへ 次ページ

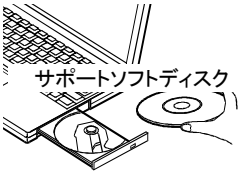
③ユーティリティのインストール

サポートソフトCD-ROMから、ユーティリティソフト（本書ではクイックコネクトと呼んでいます）をインストールします。

注意！

- **すでに他の弊社製 WN シリーズ設定ユーティリティやクイックコネクトをインストールしている場合は、本ユーティリティをインストールする前にアンインストールしておいてください。（併用はできません。）**
- **Administrators 権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。Users 権限のユーザは、Administrators 権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）**

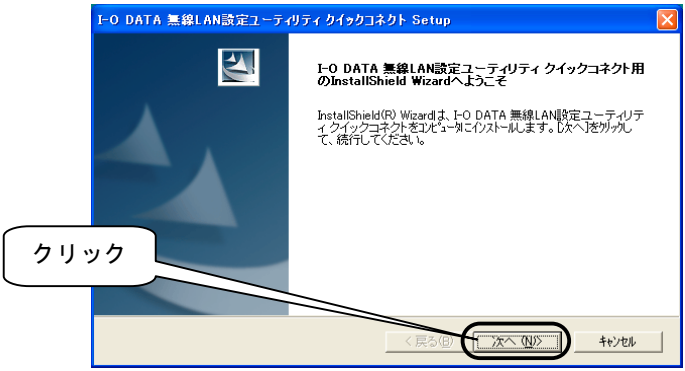
1 **サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。**



2 **[マイコンピュータ]→CD-ROMアイコン→[Utility]フォルダ→[Setup]アイコンを順にダブルクリックします。**

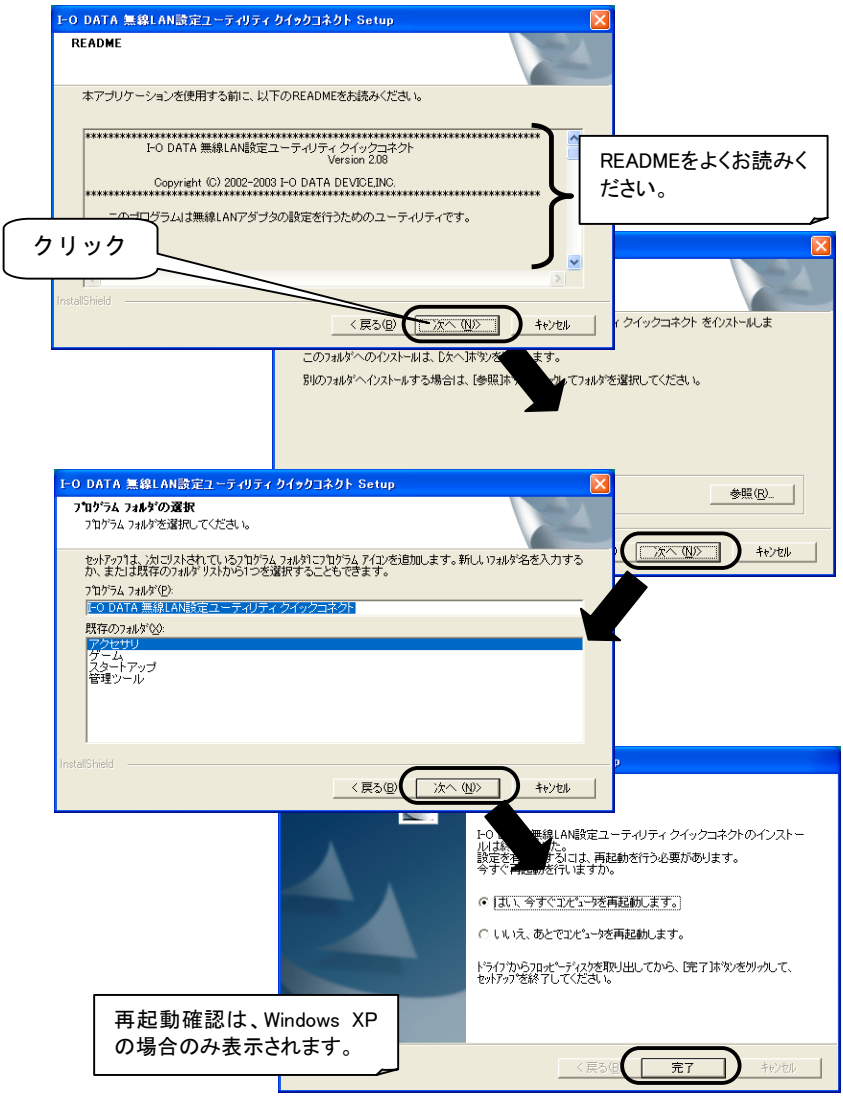
CD-ROMアイコン　[Utility]フォルダ　[Setup]アイコン

3 **［次へ］ボタンをクリックします。**



ユーティリティのインストール（つづき）

4 後は、画面の指示に従ってインストールします。



ここまでの設定を確認しましょう

次ページへ

ここまでの確認
（インストール～取り付け）

ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品がパソコンに認識されます。
正しくインストールされ、パソコンに認識されているか、以下の手順で確認してください。確認後、次のステップにお進みください。

・Windows XP/2000の場合　⇒　以下の【Windows XP/2000での確認】参照
・Windows Me/98 SEの場合　⇒　89ページ【Windows Me/98 SEでの確認】参照

Windows XP/2000での確認

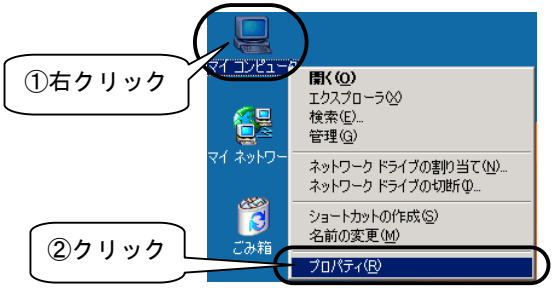
確認：[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されていることを確認する

1 Windows XPの場合

[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

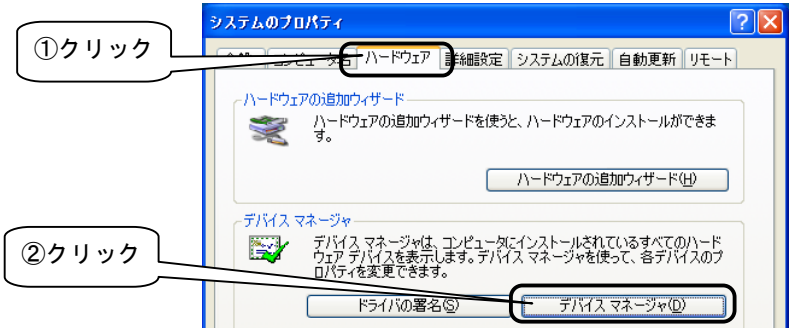
Windows 2000の場合

[マイコンピュータ]を右クリックし[プロパティ]をクリックします。



Windows XP/2000での確認（つづき）

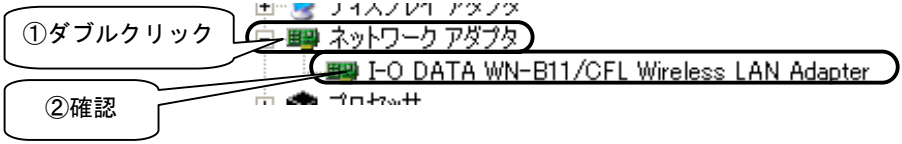
2 [ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

・[ネットワークアダプタ] の下に
[I-O DATA WN-B11/CFL Wireless LAN Adapter] と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



[I-O DATA WN-B11/CFL …] が無い場合は…

【困ったときには】の 143 ページをご覧ください。

頭に！マークがある場合は…

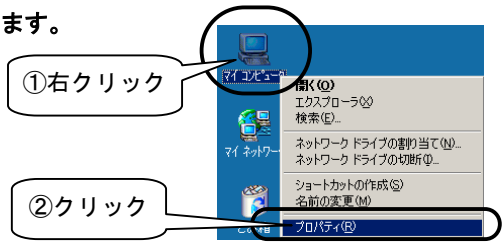
【困ったときには】の 146 ページをご覧ください。

アクセスポイントとの通信へ　91ページ

Windows Me/98 SEでの確認

確認:[デバイスマネージャ]に本製品が正常に登録されていることを確認する

1 **［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**



2 **［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］で［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。**

・［ネットワークアダプタ］の下に［I-O DATA WN-B11/CFL Wireless LAN Adapter］と表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

Windows Me/98 SEでの確認（つづき）

［I-O DATA WN-B11/CFL …］が無い場合は…

【困ったときには】の143 ページをご覧ください。

頭に！マークがある場合は…

【困ったときには】の146 ページをご覧ください。

参考

PC98-NX シリーズで［デバイスマネージャ］が表示されない場合は、以下の手順で［アドバンスドモード］に設定してください。
①［スタート］→［プログラム］→［Cyber Trio-NX］（あるいは［NX ユーティリティ］、［NX の設定］）→［Cyber-Trio-NX セットアップ］を順に起動します。
②［アドバンスドモード］をチェックし、［OK］ボタンをクリックします。
③Windows を再起動します。

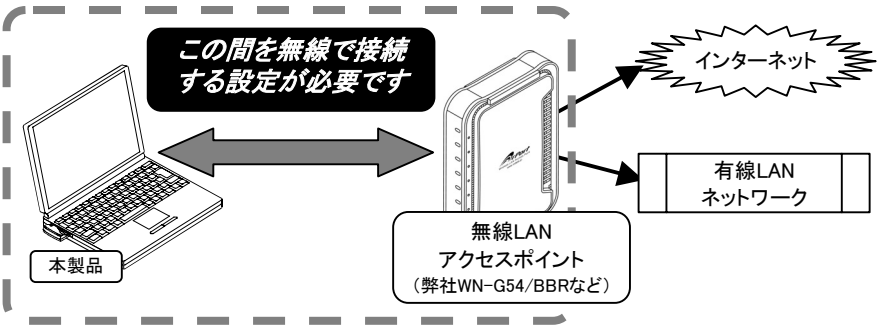
アクセスポイントとの通信へ　次ページ

ステップ 2

アクセスポイントと通信する

本製品からインターネットに接続する、あるいは有線LANに接続するには、本製品と無線LANアクセスポイントを通信できるように設定する必要があります。

※無線LANアダプタのみの通信を行う場合は113ページを参照してください。



①アクセスポイントの設定を確認する

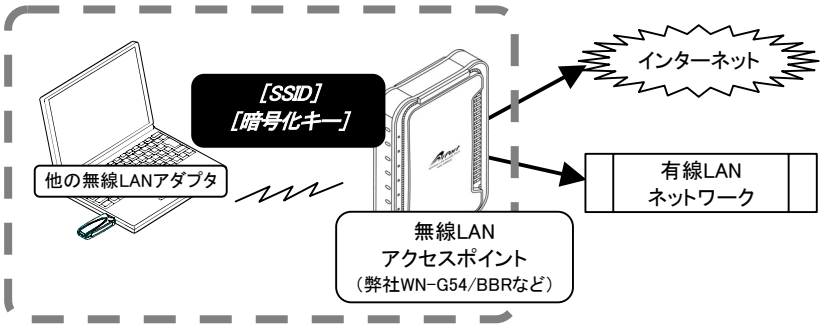
本製品と無線LANで接続するアクセスポイントの設定を確認します。

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。

この後のステップで設定します。

※これからはじめて無線LANを導入する場合は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照して設定を以下にメモしてください。

すでに使用している無線LAN環境例



※ここで使用しているSSIDと暗号化設定を以下にメモ

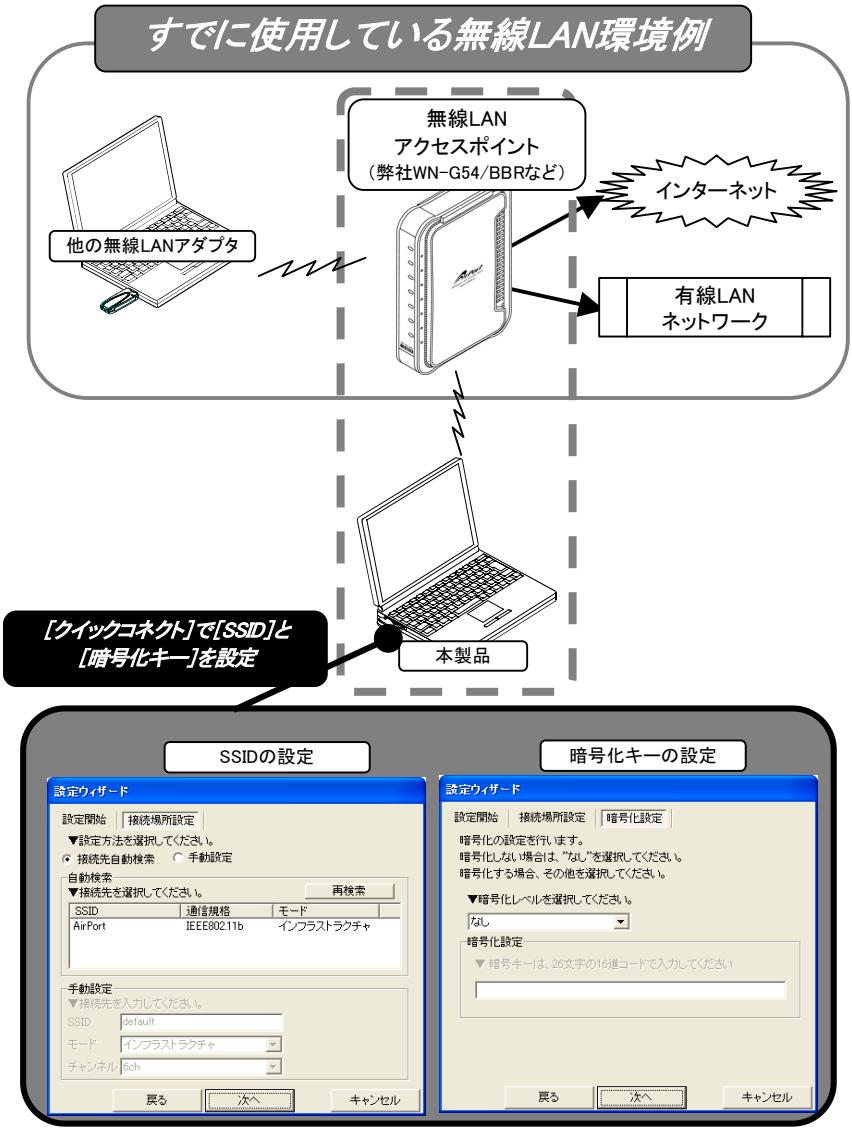
▼確認したSSID(ESSID)や暗号化キーを記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】 例）**弊社製無線LANアクセスポイントの場合、初期状態では以下の設定です。** **SSID:　default**
暗号化キー	【　　】 ※暗号化を設定していない場合は記入する必要はありません。

アクセスポイントとの通信設定へ　　**次ページ**

②アクセスポイントと通信するための設定

前ページで確認した[SSID]と[暗号化キー]を【ステップ1】でインストールしたユーティリティ[クイックコネクト]で設定します。
設定後、アクセスポイントと通信できるようになります。



アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

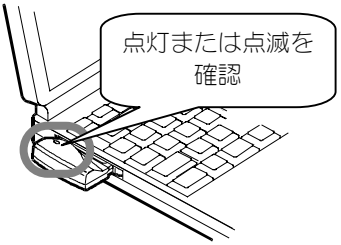
1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

※以下の手順以降で実際に本製品とアクセスポイントの通信を行いますので電源を入れておいてください。

すでに使用しているアクセスポイントがある場合はそのまま電源を入れた状態にします。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

本製品のランプが点灯または点滅していることを確認してください。



ランプ色（状態）	状態
緑（点灯）	アクセスポイントと通信が行われている状態
緑（点滅）	無線LANアクセスポイントが見つからない状態 ※この時点ではまだ、本製品と無線LANアクセスポイントや他の無線LANアダプタとの無線LAN設定が異なっているため点滅します。 次ページ以降の無線LANの設定を終了すれば、点灯しますので、この時点で点滅していても問題ありません。
消灯	本製品が正しくパソコンに認識されていない状態

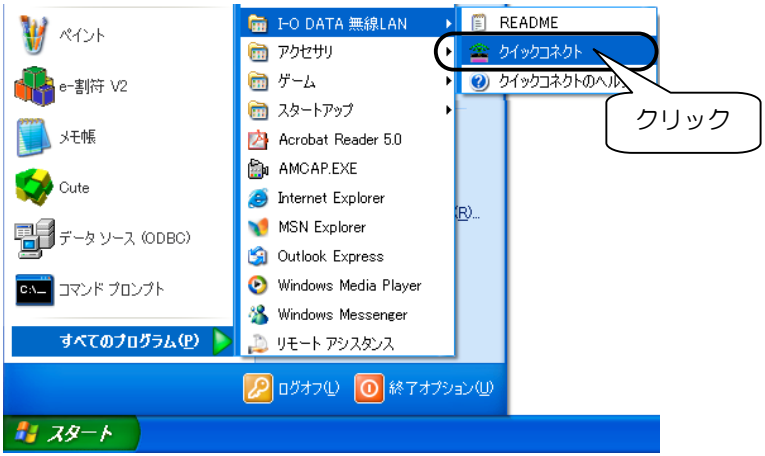
ランプが
消灯している場合は…

【困ったときには】の
143 ページをご覧ください。

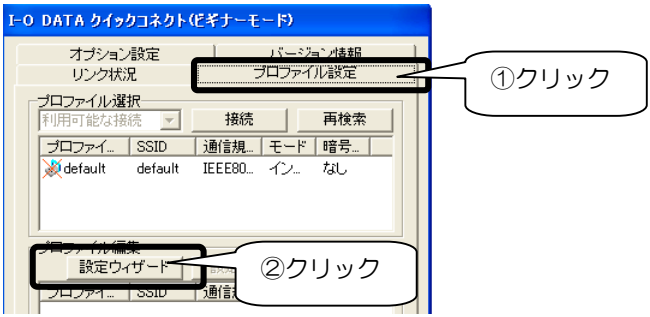
アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

3 クイックコネクトを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。



4 ［プロファイル設定］タブで、［設定ウィザード］ボタンをクリックします。



［設定ウィザード］ボタンがグレー表示のため、設定できない（［設定ウィザード］ボタンを押せない）場合は…

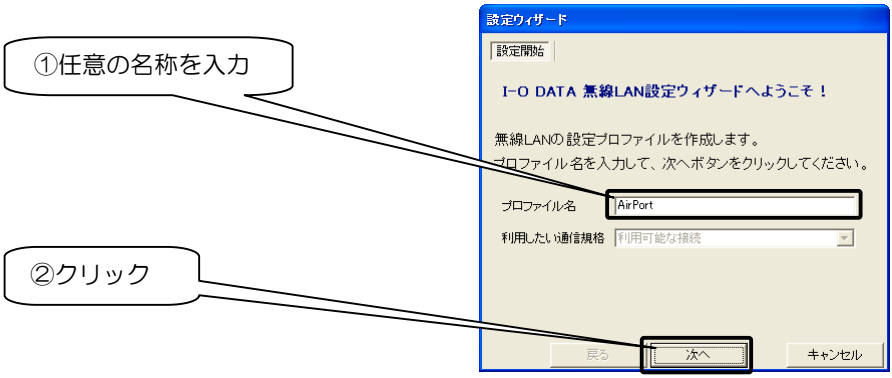
次ページにつづく

アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

対処1	パソコンに別のPCカードスロットがある場合は、別のPCカードスロットに挿入してみてください。
対処2	①[閉じる]ボタンでクイックコネクトを終了します。 ②本製品を一度取り出します。 ③クイックコネクト以外で常駐しているアプリケーションを終了します。 ④再度本製品をPCカードスロットに挿入します。 ⑤再度クイックコネクトを起動しご確認ください。

5 [プロファイル名]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

プロファイル名は半角文字100文字（全角文字50文字）までのお好きな名前を入力できます。（例：「会社」「自宅」など）



▼[プロファイル名]とは

次ページ以降で設定する[SSID]、[モード]、[暗号化キー]1式の設定の名前です。
複数の接続先がある場合などに接続先に応じたプロファイル名を設定すれば、そのプロファイル名を切り替えるだけで接続先を切り替えることができます。
接続先のプロバイダ名、アクセスポイント名や場所など、分かりやすい名前を付けておくことをおすすめします。

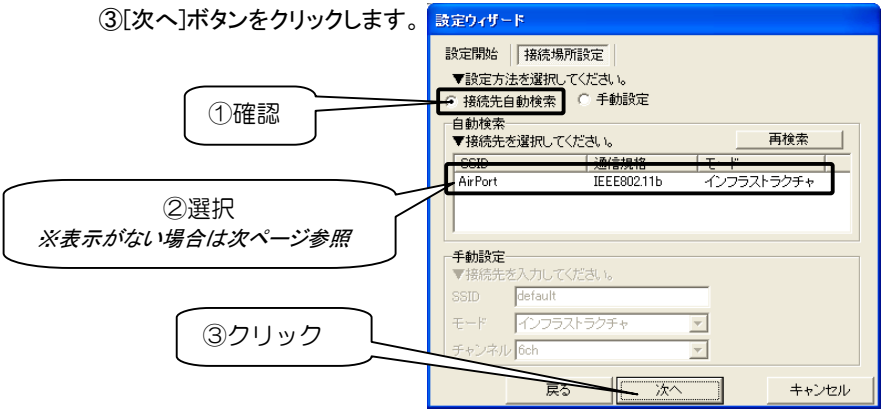
6 以下を設定します。

①[接続先自動検索]にチェックが付いていることを確認します。

②92ページで確認したSSIDの接続先を選択します。

※[自動接続]欄に接続するアクセスポイントのSSIDが表示されていない場合は次ページの手順を行ってください。

③[次へ]ボタンをクリックします。



設定後、99ページ7の手順へお進みください。

参考

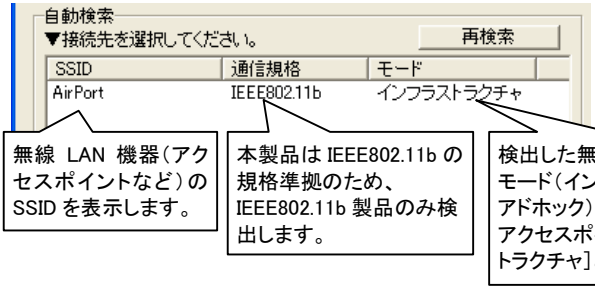
[自動検索]欄の表示について

本製品は電波を発信して、本製品と通信できる無線LAN(IEEE802.11b準拠)製品を検出します。その際、SSIDを検出できた場合のみ、画面の[自動検索]欄に表示します。アクセスポイントによっては、アクセスポイントのSSIDを、無線LANアダプタへ通知しない設定になっているものがあります。([SSID通知機能]と呼べれている機能です。[SSID]を通知する/しないを設定することができます。詳細についてはアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。)

SSIDを通知していない設定にしている場合は、電波が届いていても画面の[自動検索]欄に表示されません。

※弊社製品の場合は出荷時SSIDを通知する設定になっています。

※[SSID通知機能]は、不特定多数のアクセスを防ぐために、アクセスポイント側でSSIDの通知あるいは非通知を設定できる機能です。



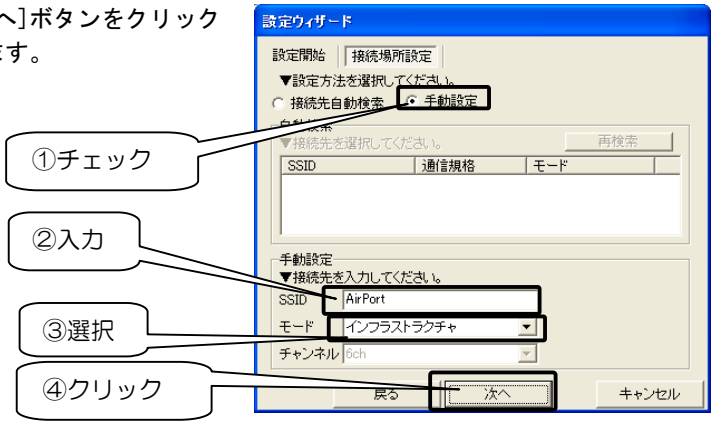
アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

・[自動接続]欄に表示がない場合

[自動接続]欄に表示が無い場合は、手動で[SSID]（92ページで確認したSSID）を入力する必要があります。

※半角文字で入力します。また、大文字、小文字の区別もありますのでご注意ください。

①[手動設定]にチェックをつけます。
②[SSID]に92ページで確認したSSIDを入力します。
③[モード]で[インフラストラクチャ]を選択します。
④[次へ]ボタンをクリックします。



設定後、次ページへお進みください。

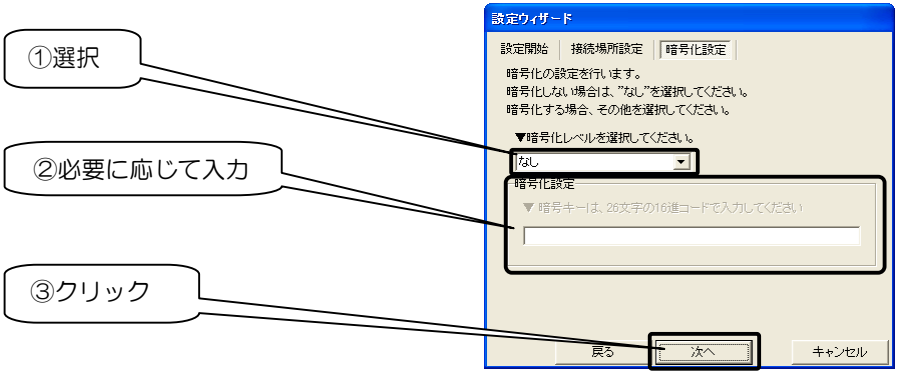
アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

7 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。

②接続するアクセスポイントと同じ暗号化キー*（92ページで確認した暗号化キー）*を入力します。

③[次へ]ボタンをクリックします。



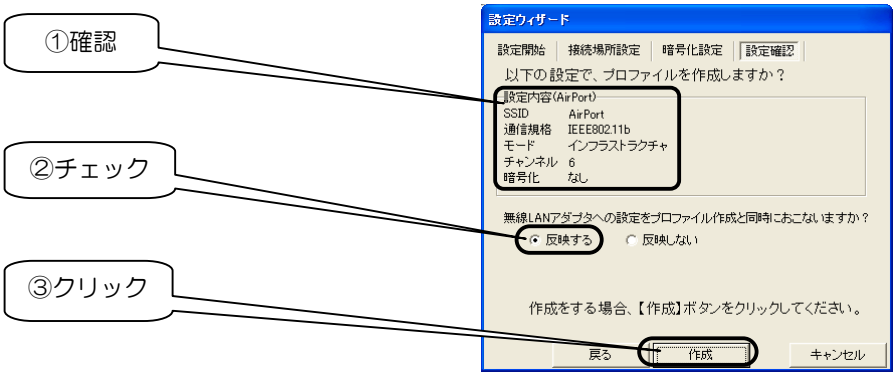
参考

暗号化キー設定の詳細については 111 ページを参考にしてください。

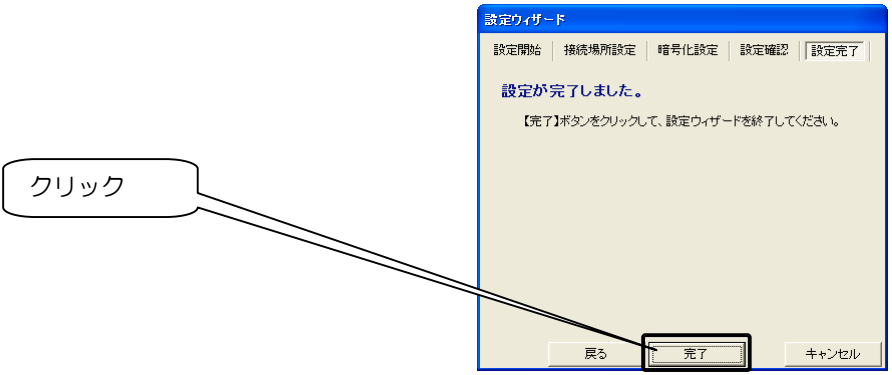
暗号化キーの設定は後で行うこともできます。（108 ページ）

アクセスポイントと通信するための設定（つづき）

8 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。



9 [完了]ボタンをクリックします。



以上で無線LANの設定は終了です。

ここまでの設定を確認しましょう

次ページへ

ここまでの確認
（～アクセスポイントと通信するための設定）

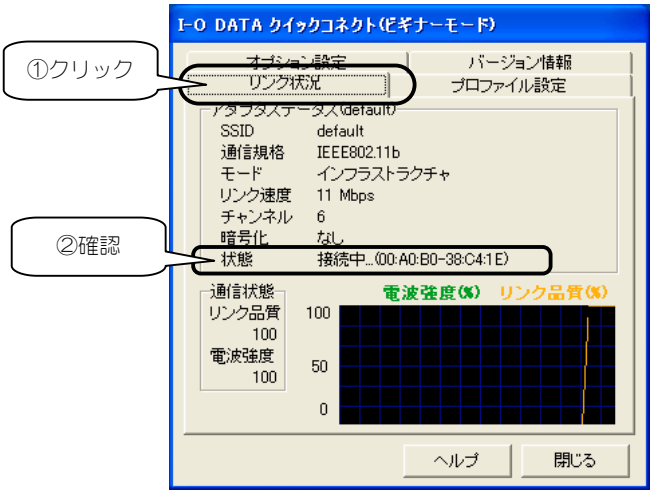
ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品とアクセスポイントが無線LANで通信できているはずです。

実際に通信できているか[クイックコネクト]で確認してください。

確認：クイックコネクトでの確認

［クイックコネクト］の［リンク状況］タブをタップします。

［状態］欄に［接続中…］と表示されていることを確認します。



［状態］が[検索中]の場合は…

原因1	アクセスポイントの電源が入っていない。
対処	アクセスポイントの電源を入れてください。

原因2	本製品の無線LANの設定がアクセスポイントの設定と違っている。
対処	本製品の無線LANの設定とアクセスポイントの設定を再度ご確認ください。

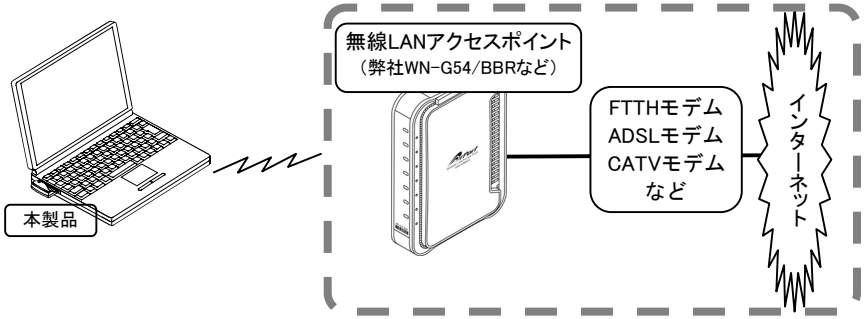
インターネットや有線LANへの接続へ　103ページ

MEMO

ステップ 3

インターネットや有線LANに接続する

ここでは、本製品から無線LANで通信したアクセスポイント経由でインターネットや有線LANへ接続する手順について説明します。



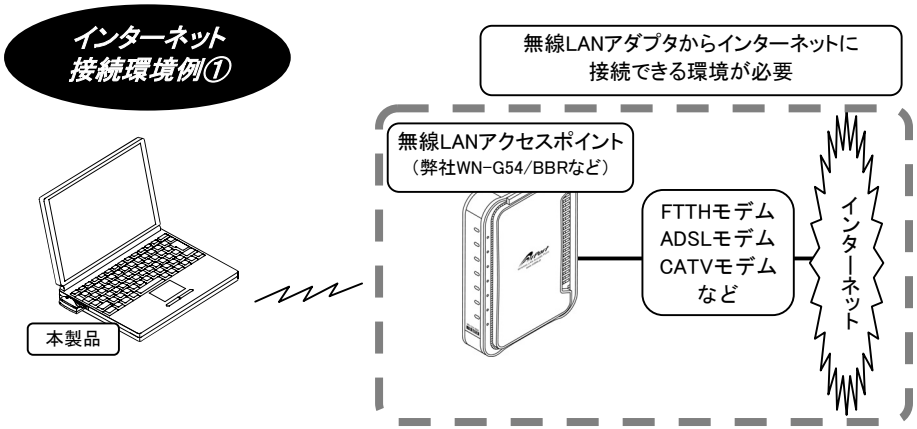
インターネットや有線LAN への接続

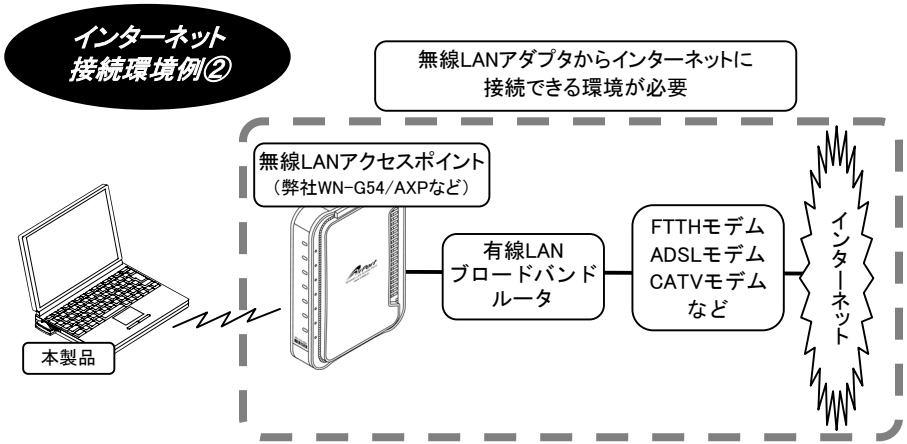
・本製品でインターネットをご利用時に必要な環境

本製品を取り付けたパソコンからインターネットをご利用になりたい場合は、別途インターネットに接続できる環境※が必要です。

※*ADSLおよびケーブル（CATV）モデムなどの機器が別途必要です。*
また、プロバイダとインターネットに接続する契約も必要です。

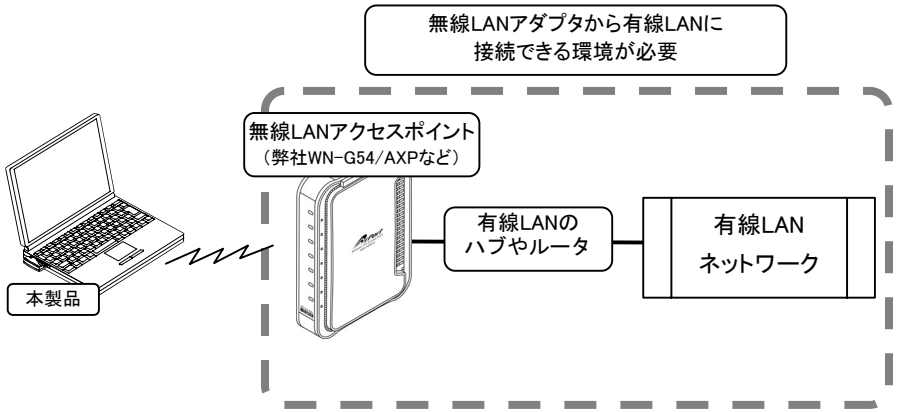
本製品は、その無線LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続できます。





・本製品から有線LANネットワーク接続時に必要な環境

本製品を取り付けたパソコンからすでにご利用の有線LANネットワークに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントが必要です。



すでに導入済みの無線LAN環境がある場合の手順

本製品を導入する前に、他の無線LANアダプタからアクセスポイント経由ですでにインターネットや有線LANに接続していた場合は、本製品からそのアクセスポイントに正常に無線LAN通信できればインターネットや有線LANに接続できます。

インターネットや有線 LAN に接続できない場合は…

原因1	本製品の無線LANの設定が間違っている。
対処	他の無線LANアダプタの設定を確認し、109ページ *1* ～ *3* の手順を行い、*3* の手順の画面で設定が間違っていないか確認してください。
原因2	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	既設の環境がDHCPサーバー時、本製品のIPアドレスの設定をDHCPサーバーから取得する設定にしてください。
原因3	接続制限がかかっている。
対処	MACアドレス制限など、既設LANのセキュリティをご確認ください。

はじめて無線LANから接続する場合の手順

はじめてインターネットや有線LANに接続する場合、アクセスポイントの設定が必要です。アクセスポイントの設定後、インターネットや有線LANに接続できるようになります。

①アクセスポイントを設定します。（アクセスポイントの取扱説明書参照）
※ADSL、ケーブル、FTTHモデムなどとの接続も行います。
※有線LAN環境がある場合は、有線LANにアクセスポイントを接続して設定することをおすすめします。
②アクセスポイントの無線LAN設定（[SSID][暗号化キー]）を変更した場合は、本製品の無線LANの設定も再度同じ値に変更してください。
③インターネットや有線LANに接続します。

Windows XP/2000/Me/98 SE

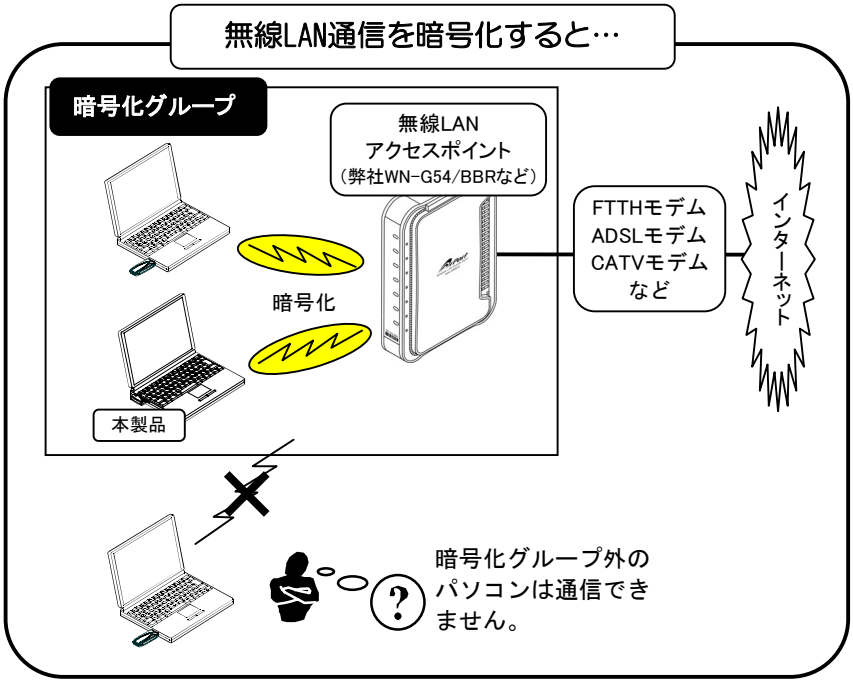
その他の設定

その他の設定① **通信を暗号化する設定** ····· 108
その他の設定② **無線LANアダプタのみで通信する** ····· 113
その他の設定③ **Windows使用中に取り出す** ····· 121
その他の設定④ **アンインストール**（インストールしたソフトの削除）122
その他の設定⑤ **クイックコネクトの詳細** ····· 129

その他の設定①

通信を暗号化する設定

無線LAN通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。



注意！

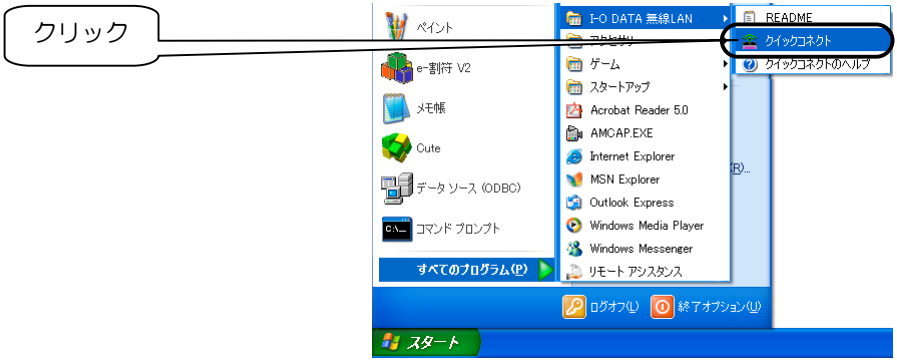
- **暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべての無線LAN機器（アクセスポイントや無線LANアダプタ）に同じ暗号化キーを設定する必要があります。**
  他の無線LAN機器に暗号化が設定されていない場合は、暗号化を設定する必要はありません。
- **Windows XP/2000では、Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。**
  Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）
  Users権限の環境で使用する場合は、あらかじめクイックコネクトが常駐しない設定にしておいてください。（132または139ページ参照）

暗号化を設定する

無線LAN通信の暗号化の設定は、【ステップ1】でインストールした[クイックコネクト]で行います。

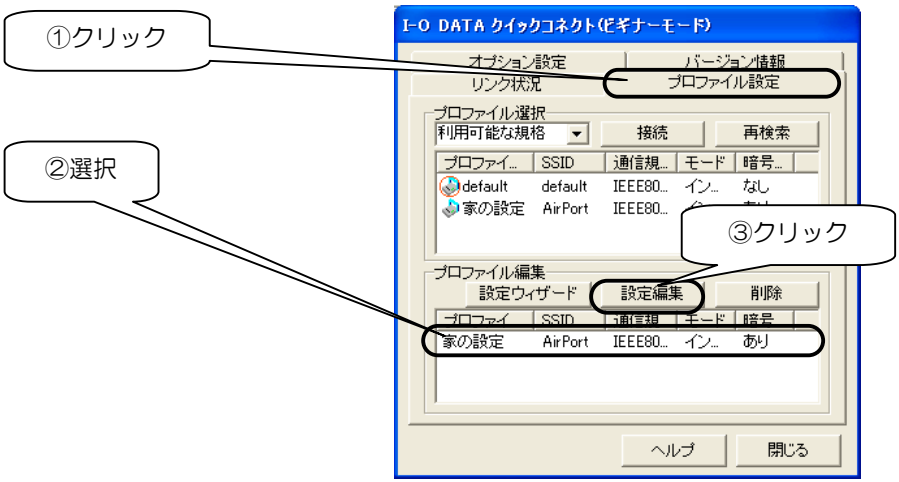
1 クイックコネクトを起動します。

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→
［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。



2 [プロファイル設定]タブで、暗号化したいプロファイルを選択して、[設定編集]ボタンをクリックします。

画面は、ビギナーモードの場合です。



暗号化を設定する(つづき)

3 暗号化の設定をします。

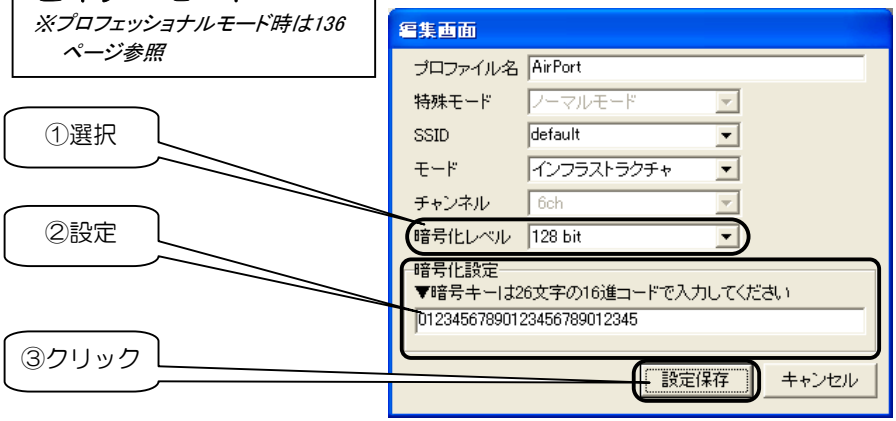
①[暗号化レベル]を選択します。

②[暗号化設定]をします。

③[設定保存]ボタンをクリックします。

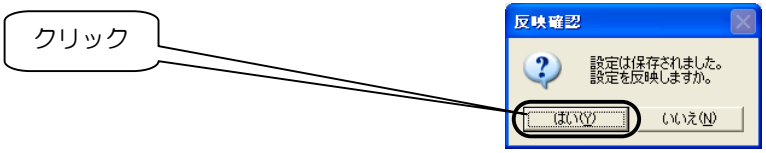
ビギナーモード

※プロフェッショナルモード時は136ページ参照



画面の詳細については」… **次ページ参照**

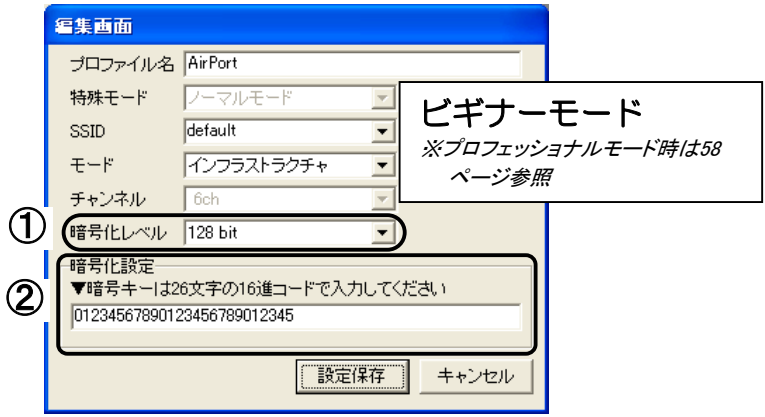
4 [はい]をクリックします。



これで暗号化設定はできました。

暗号化キー設定画面の詳細

本製品の暗号化は、編集画面で設定できます。



①暗号化レベル

暗号化の設定レベルです。

[なし]よりも[64bit]、[64bit]よりも[128bit]がの方がより強固な暗号化になります。

なし	暗号化は行いません。
64 bit	64bitの暗号化を行います。
128 bit	128bitの暗号化を行います。

②暗号化設定

暗号化に使用するキーを入力します。

入力するキー	16進コード（0～9またはA～F）の文字列を入力します。 （64bit：10文字分入力、128bit：26文字分入力） すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （他社製品との暗号化については、次ページ参照）

注意！

- **設定後、画面を開いたときには、暗号キーは[＊]や[●]で表示されます。**
- **本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。パスフレーズをご使用の場合は、[クイックコネクトのヘルプ]をご覧ください。**
- **暗号キーを ASCII コードで設定する場合は 132 ページを参照し、プロフェッショナルモードに切り替え、136 ページを参考に入力してください。**

入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN シリーズでは、暗号キーとして 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。
これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの文字列を入力します。
WN シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの5文字の文字列を以下対応表に基づき、16 進コードに変換し、入力することで通信可能となります。
各文字と 16 進コードの対応については以下の表を参照してください。

〈例〉 文字で ″WNB11″ と設定している場合、
16進コードでは［57 4e 42 31 31］となります。

パソコンで使用される文字と 16 進数の対応表

パソコンの画面に表示される文字など、パソコンで使用される文字は本来16進数で構成されています。（パソコンは16進数で文字を認識します。）
例えば画面上に半角文字で 1 と表示されている文字は、パソコン内部では 31 という16進数のコードで認識され、表示しています。
※漢字の場合は異なります。
本製品の暗号化設定時など、この16進数のコードで設定します。

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
		0	30	@	40	P	50	`	60	p	70
!	21	1	31	A	41	Q	51	a	61	q	71
″	22	2	32	B	42	R	52	b	62	r	72
#	23	3	33	C	43	S	53	c	63	s	73
$	24	4	34	D	44	T	54	d	64	t	74
%	25	5	35	E	45	U	55	e	65	u	75
&	26	6	36	F	46	V	56	f	66	v	76
'	27	7	37	G	47	W	57	g	67	w	77
(	28	8	38	H	48	X	58	h	68	x	78
)	29	9	39	I	49	Y	59	i	69	y	79
*	2a	:	3a	J	4a	Z	5a	j	6a	z	7a
+	2b	;	3b	K	4b	[	5b	k	6b	{	7b
,	2c	<	3c	L	4c	¥	5c	l	6c	|	7c
−	2d	=	3d	M	4d	]	5d	m	6d	}	7d
.	2e	>	3e	N	4e	^	5e	n	6e	~	7e
/	2f	?	3f	O	4f	_	5f	o	6f		

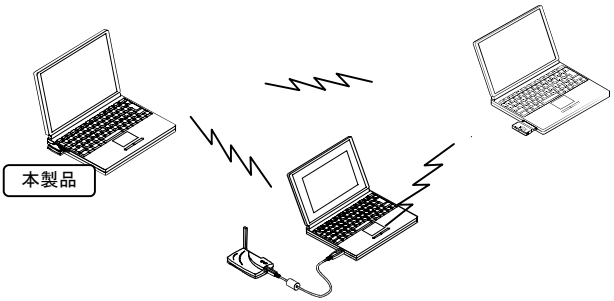
その他の設定②

無線LANアダプタのみで通信する

本製品以外に無線LANアダプタしか無い場合（無線LANアクセスポイントが無い場合）は、本製品と他の無線LANアダプタは*アドホック モード*で通信できます。
本製品を取り付けたパソコンから無線LAN通信したパソコンのファイルを共有できるようになります。

アドホックモードとは？

図のようにアクセスポイントを介さずに、無線LANパソコン同士で直接通信し合う形態



注意！

- **アドホックモードにした場合、アクセスポイントとの通信はできなくなります。（アクセスポイントと通信する場合はインフラストラクチャモードのみ）**
- **Windows XP/2000では、Administrators権限（管理者権限）のあるユーザのみが設定できます。**
  Users権限のユーザは、Administrators権限（管理者権限）のユーザが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）
  Users権限の環境で使用する場合は、あらかじめクイックコネクトが常駐しない設定にしておいてください。（132または139ページ参照）
- **本製品の設定をする際に、Windows XP標準の「ワイヤレスネットワーク接続」は使用しません。設定はすべて、クイックコネクトで行います。**

①無線LANの設定を確認する

本製品と無線LANで接続する他の無線LANアダプタの設定を確認します。(モードは[アドホック]を設定します。)

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。

この後のステップで設定します。

※これからはじめて無線LANを導入する場合は、他の無線LANアダプタを設定してから本製品を設定してください。
その際、設定したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを以下にメモしてください。

※ここで使用しているSSID、チャンネル、暗号化設定を以下にメモ

▼確認したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】 *※はじめて設定する場合は、任意の文字列を設定できます。ただし、半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。*
チャンネル	【　　】 *※はじめて設定する場合は、他の無線LANアダプタの初期値のチャンネルを設定します。*
暗号化キー	【　　】 *※はじめて設定する場合は、無線LAN通信が正常に終了した後に設定することをおすすめします。*

他の無線LANアダプタとの通信へ　次ページ

②他の無線LANアダプタと通信する

前ページで確認した[SSID]、[チャンネル]、[暗号化キー]を【ステップ1】でインストールした[クイックコネクト]で設定します。
設定後、他の無線LANアダプタと通信できるようになります。

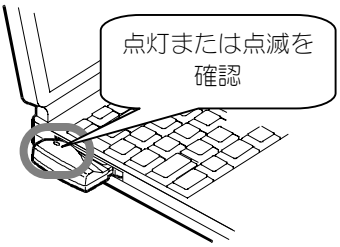
1 他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源が入っていることを確認します。

※本書では、本製品と通信する他の無線LANアダプタの無線LANの設定がすべて終了していることを前提としています。

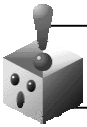
※以下の手順以降で実際に本製品と他の無線LANアダプタの通信を行いますので、他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源を入れておいてください。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

本製品のランプが点灯または点滅していることを確認してください。



ランプ色（状態）	状態
緑（点灯）	他の無線LANアダプタと通信が行われている状態
緑（点滅）	他の無線LANアダプタが見つからない状態 ※点滅するのは、この時点ではまだ、本製品と他の無線LANアダプタの無線LAN設定が異なっているためです。次ページ**3**以降の手順で無線LAN設定しますので問題ありません。（設定後、点灯します。）
消灯	本製品が正しくパソコンに認識されていない状態



ランプが
消灯している場合は…

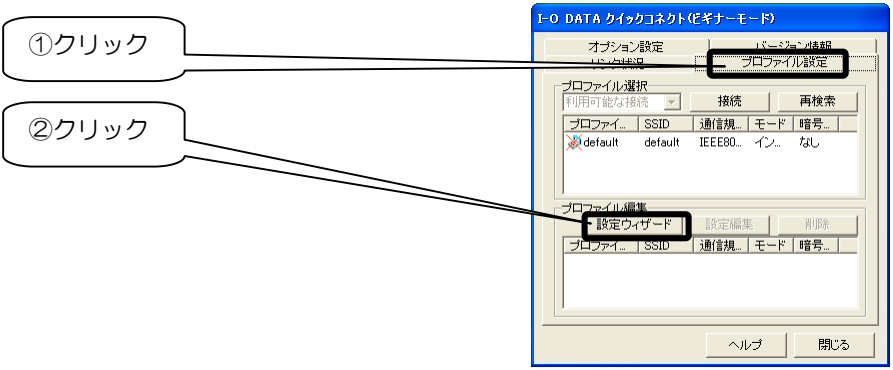
【困ったときには】の
143 ページをご覧くださ

②他の無線LANアダプタと通信する(つづき)

3 **クイックコネクトを起動します。**

［スタート］→［すべてのプログラム］（［プログラム］）→［I-O DATA 無線LAN］→［クイックコネクト］を順にクリックします。

4 **［プロファイル設定］タブで、［設定ウィザード］ボタンをクリックします。**



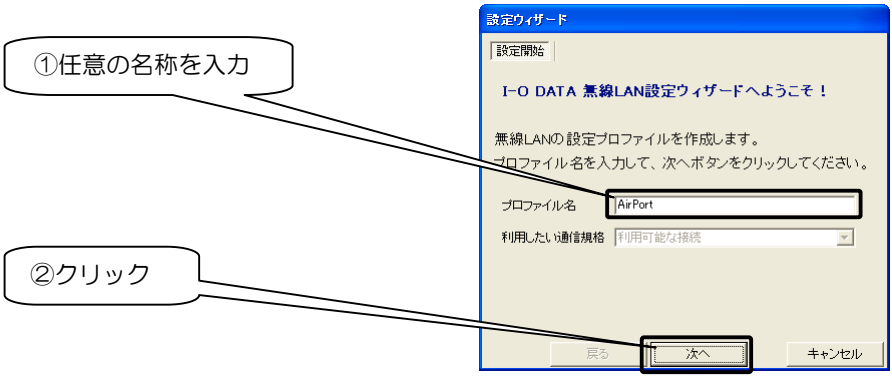
［設定ウィザード］ボタンがグレー表示のため、設定できない（［設定ウィザード］ボタンを押せない）場合は…

対処1	パソコンに別のPCカードスロットがある場合は、別のPCカードスロットに挿入してみてください。
対処2	①［閉じる］ボタンでクイックコネクトを終了します。 ②本製品を一度取り出します。 ③クイックコネクト以外で常駐しているアプリケーションを終了します。 ④再度本製品をPCカードスロットに挿入します。 ⑤再度クイックコネクトを起動しご確認ください。

②他の無線LANアダプタと通信する(つづき)

5 [プロファイル名]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

プロファイル名は半角文字100文字(全角文字50文字)までのお好きな名前を入力できます。(例:「会社」「自宅」など)



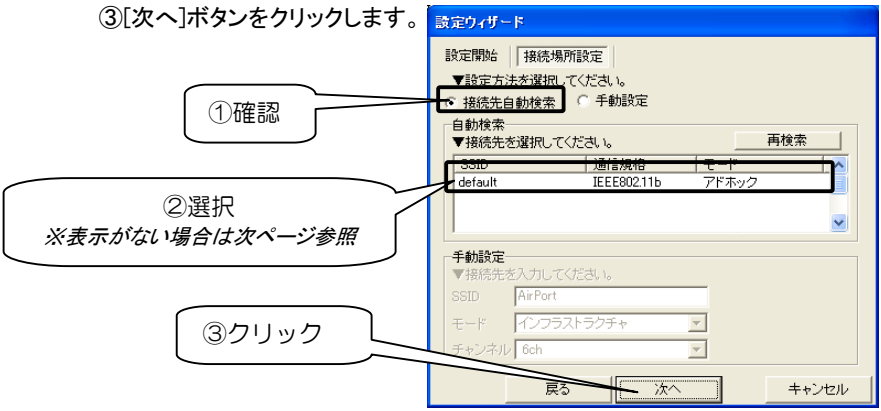
6 以下を設定します。

①[接続先自動検索]にチェックが付いていることを確認します。

②114ページで確認したSSIDの接続先を選択します。

※[自動接続]欄に接続する他の無線LANアダプタのSSIDが表示されていない場合は次ページの手順を行ってください。

③[次へ]ボタンをクリックします。



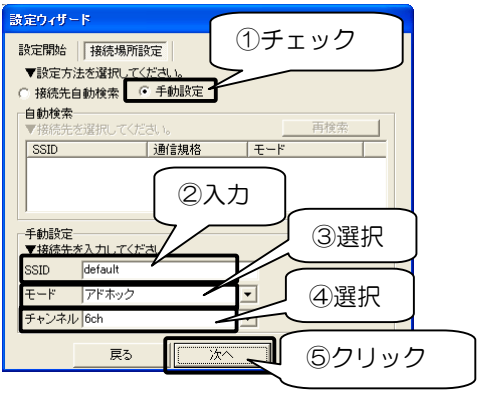
②他の無線LANアダプタと通信する(つづき)

・[自動接続]欄に表示がない場合

[自動接続]欄に表示が無い場合は、手動で[SSID]*(114ページで確認したSSID)*を入力する必要があります。

※半角文字で入力します。また、大文字、小文字の区別がありますのでご注意ください。

①[手動設定]にチェックをつけます。
②[SSID]に114ページで確認したSSIDを入力します。
③[モード]で[アドホック]を選択します。
④[次へ]ボタンをクリックします。

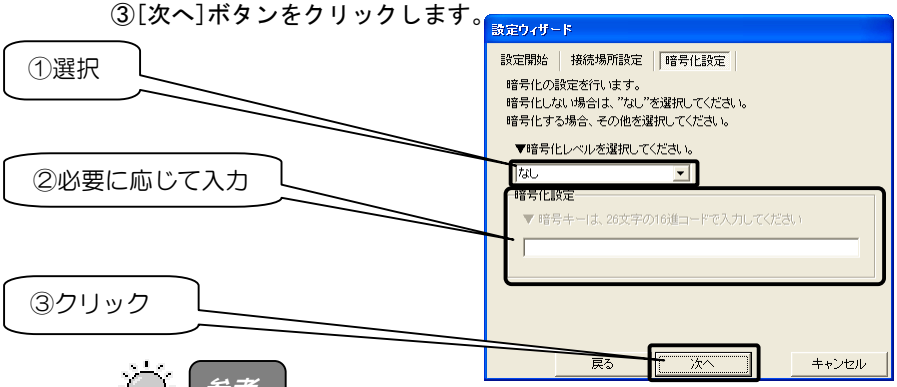


7 暗号化設定をします。

①暗号化レベルを選択します。
②接続する他の無線LANアダプタと同じ暗号化キー*(114ページで確認した暗号化キー)*を入力します。

※他の無線LANアダプタの設定をご確認ください。
無線LANアダプタ購入時には設定されていない場合もあります。

③[次へ]ボタンをクリックします。

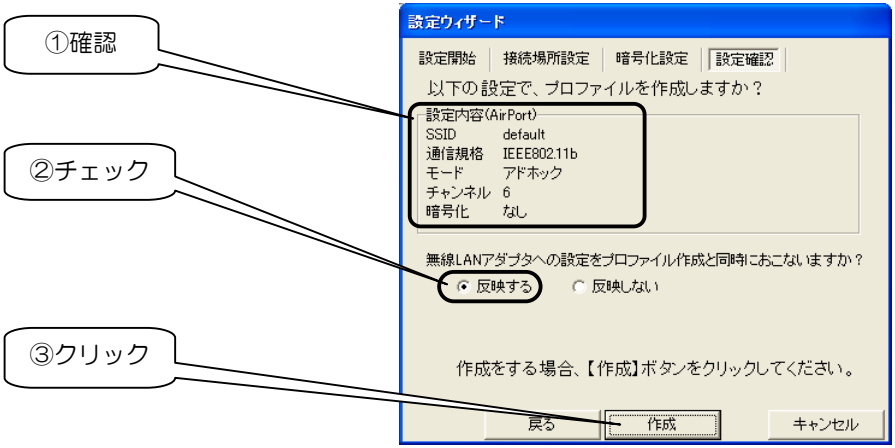


参考

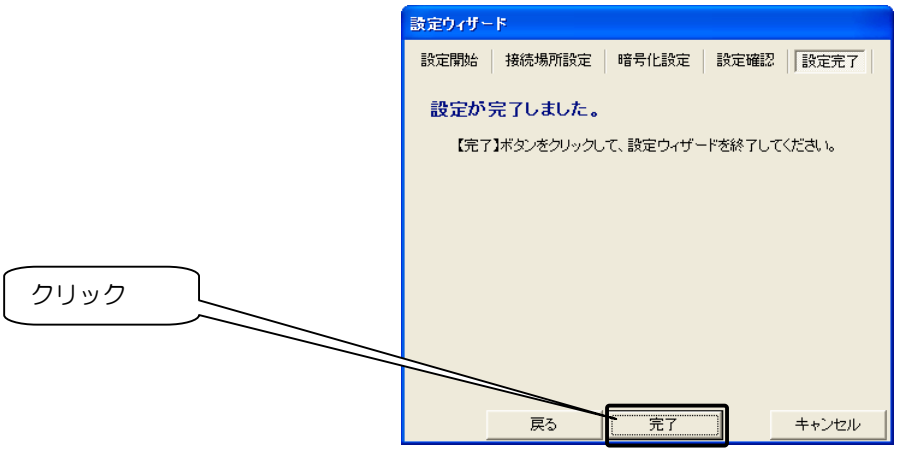
暗号化キーの設定は後で行うこともできます。(108 ページ)

②他の無線LANアダプタと通信する（つづき）

8 設定内容を確認し、[反映する]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。



9 [完了]ボタンをクリックします。

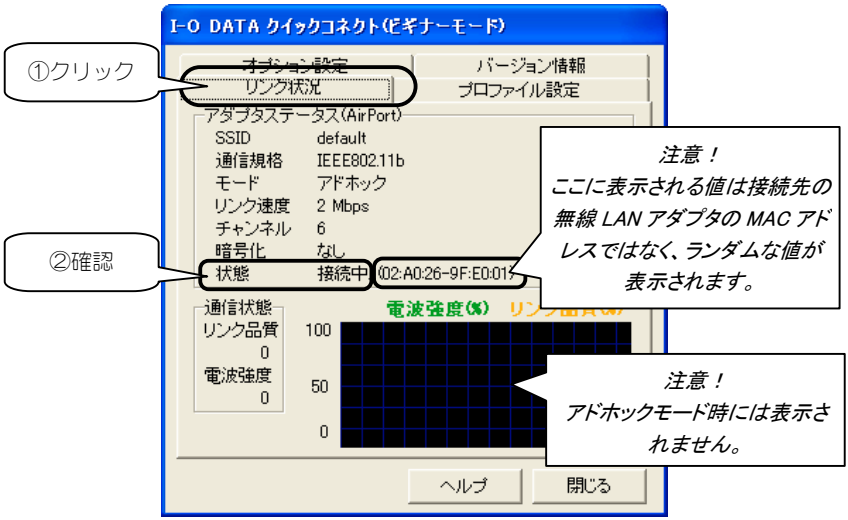


③通信状態を確認する

ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品と他の無線LANアダプタが通信できているはずです。
実際に通信できているか[クイックコネクト]で確認してください。
確認後、次のステップにお進みください。

確認:クイックコネクトでの確認

[クイックコネクト]の[リンク状況]タブをタップします。
[状態]欄に[接続中…]と表示されていることを確認します。



[接続中]と表示されていない場合…

原因1	他の無線LANアダプタが見つからない。
対処	他の無線LANアダプタを取り付けたパソコンの電源が入っているか確認してください。
原因2	他の無線LANアダプタと本製品の無線LAN設定が異なっている。
対処2	他の無線LANアダプタの設定と本製品の設定があっているか確認してください。

その他の設定③

Windows使用中に取り出す

本製品は、パソコンの電源を切った後にPCカードスロットから取り出すことができますが、Windows使用中に取り出すこともできます。

注意！

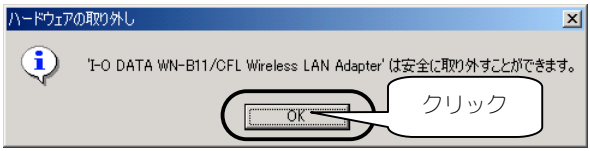
- **本製品を取り出す場合は、本製品を使用していない、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してから以下の手順を行って取り出してください。**
- **以下の手順を行うと、実際に本製品を抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。再度使用したい場合は、いったん本製品を取り出し、再び挿入してください。**

1 画面右下のタスクトレイの （または ）アイコンをクリックし、［I-O DATA WN-B11/CFL…］をクリックします。

2 確認または［OK］ボタンをクリックします。

Windows XPでの例）

Windows 2000での例）



3 本製品をPCカード（CFカード）スロットから取り出します。

その他の設定④

アンインストール（インストールしたソフトの削除）

インストールしたドライバソフトやユーティリティソフトを削除します。

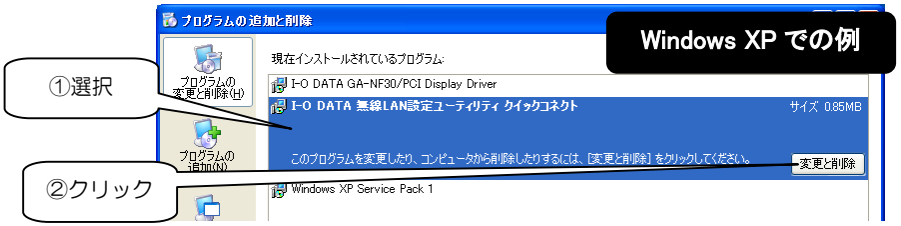
クイックコネクトを削除する

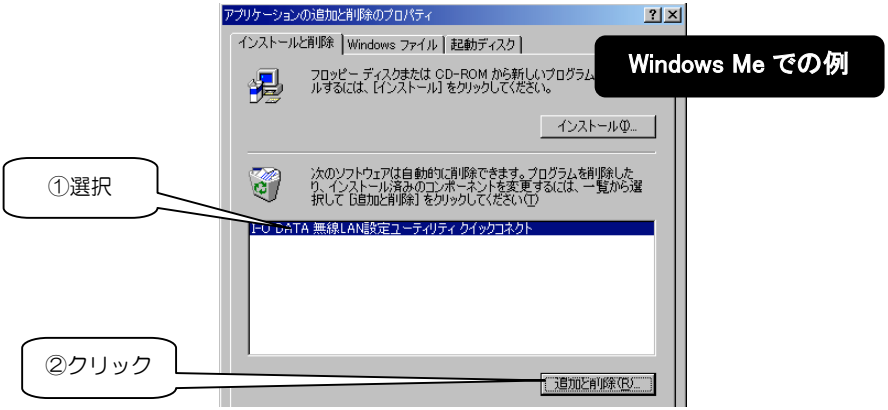
注意！

クイックコネクトを削除する前に、必ずクイックコネクトを終了しておいてください。
（タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして、[終了]をクリックしてください。）

1 **[スタート]→（[設定]→）[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]（[プログラムの追加と削除]）を開きます。**

2 **①[I-O DATA無線LAN設定ユーティリティ クイックコネクト]を選択します。**
②[変更と削除]（[変更/削除]や[追加と削除]）ボタンをクリックします。





後は画面の指示にしたがってください。これでクイックコネクトの削除は完了です。次ページへお進みください。

ドライバを削除する

注意！

本製品は取り付けたままにしておいてください。

●Windows XP/Me/98 SEの場合 （Windows 2000の場合は125ページ）

（画面例はWindows XPのものです）

1 [デバイスマネージャ]を起動します。

Windows XPの場合

①[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows Me/98 SEの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

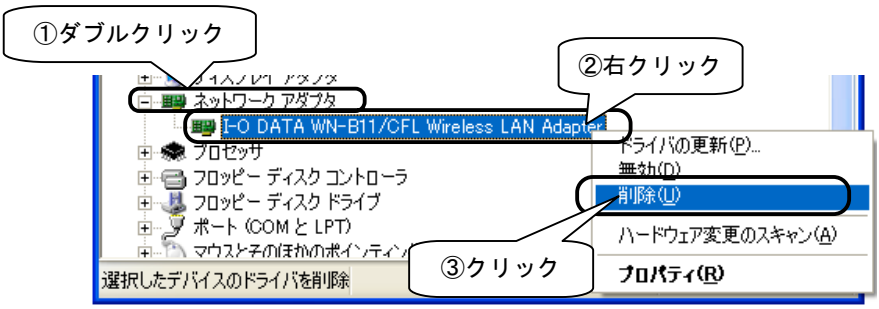
②[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

2 [I-O DATA WN-B11/CFL Wireless LAN Adapter] を削除します。

① [ネットワークアダプタ] をダブルクリックします。

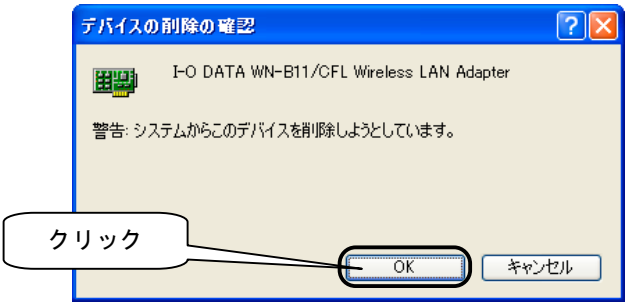
② [I-O DATA WN-B11/CFL Wireless LAN Adapter] を右クリックします。

③表示された [削除] をクリックします。

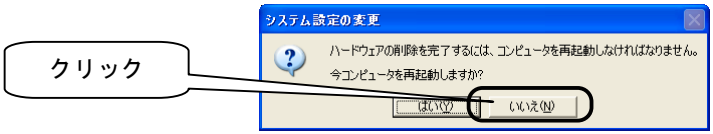


ドライバを削除する（つづき）

3 ［OK］ボタンをクリックします。



4 再起動の画面が表示される場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。



この後、パソコンの電源を切らずに［INFファイルを削除する］（128ページ）へお進みください。

ドライバを削除する（つづき）

●Windows 2000の場合

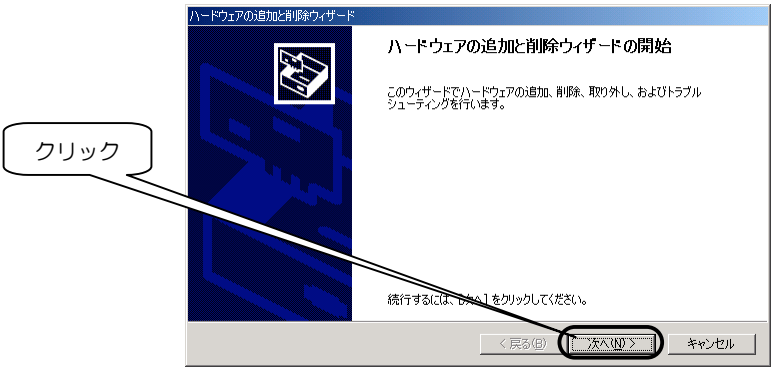
注意！

「Administrators 権限」でログオンしてください。

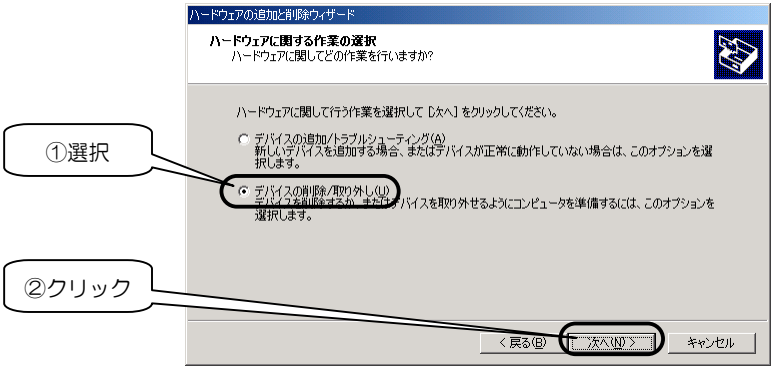
1 **［ハードウェアの追加と削除］を起動します。**

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［ハードウェアの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 **［次へ］ボタンをクリックします。**

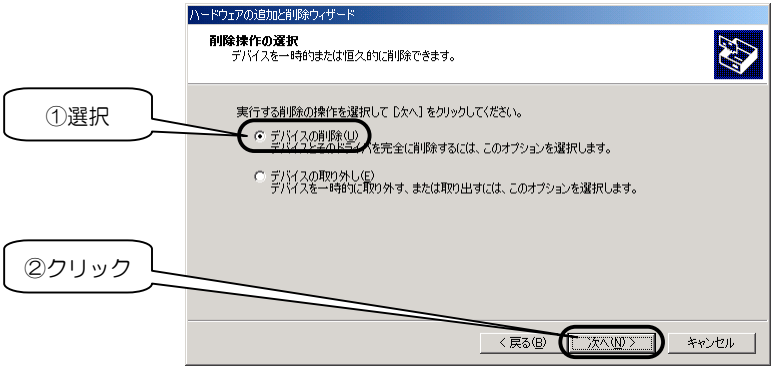


3 **［デバイスの削除/取り外し］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

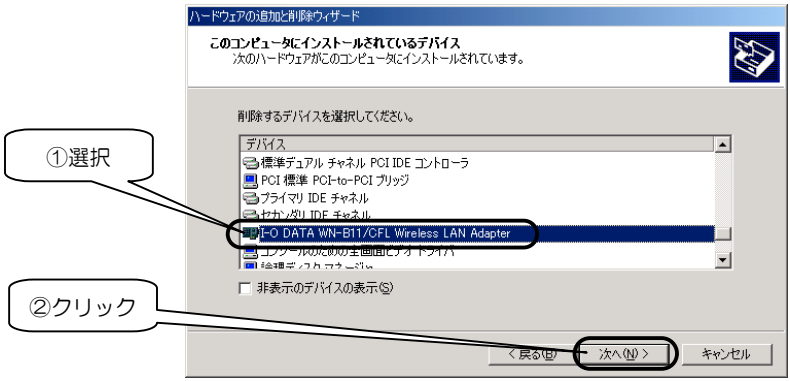


ドライバを削除する（つづき）

4 ［デバイスの削除］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

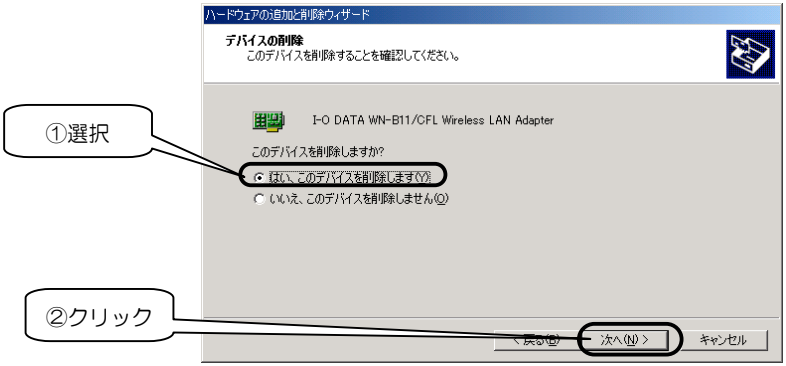


5 ［I-O DATA WN-B11/CFL Wireless LAN Adapter］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

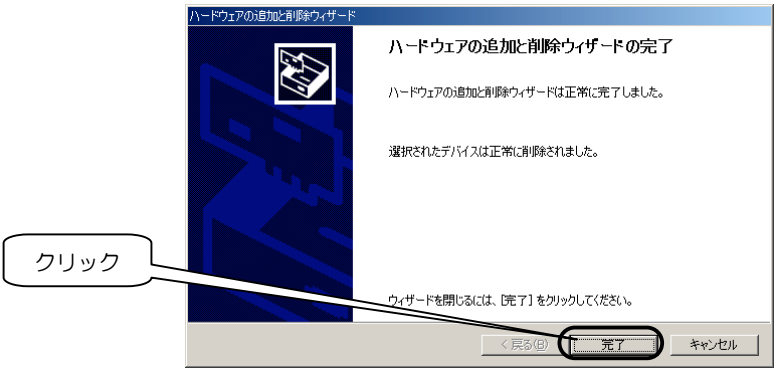


ドライバを削除する（つづき）

6 ［はい、このデバイスを削除します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



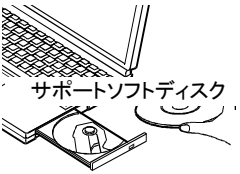
7 ［完了］ボタンをクリックします。



この後、パソコンの電源を切らずに［INFファイルを削除する］（次ページ）へお進みください。

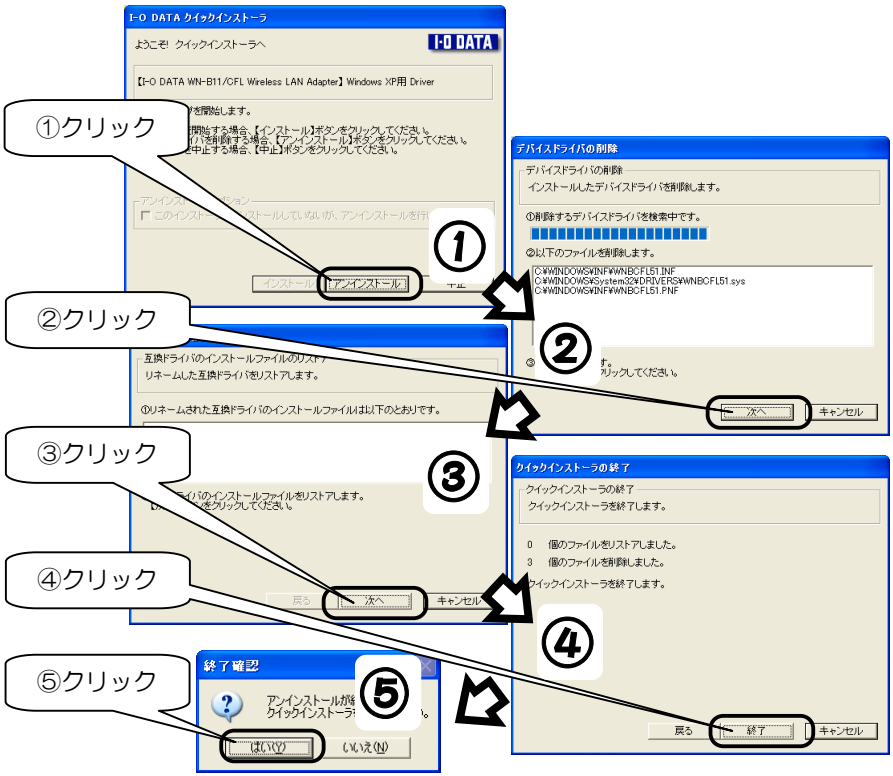
●「INFファイル」を削除する

1 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。



2 [マイコンピュータ]から、CD-ROMの[NDDSETUP]アイコンをダブルクリックします。

3 「INFファイル」をアンインストールします。
画面の指示にしたがってください。



これでドライバの削除は完了です。

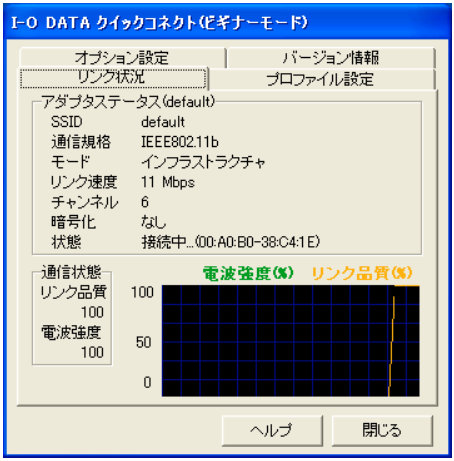
その他の設定⑤

クイックコネクトの詳細

クイックコネクトのインストール時はビギナーモードです。
[オプション設定]の[クイックコネクトのモード切替]でプロフェッショナルモード（上級者向け）に切り替えることができます。

リンク状況

ビギナーモード



項目		内容
アダプタステータス	SSID	現在設定されているSSID
	通信規格	現在通信している規格(IEEE802.11b)
	モード	現在設定されているモード (インフラストラクチャ、アドホック)
	リンク速度	現在のリンク速度 (1/2/5.5/11 Mbps)
	チャンネル	現在のチャンネル(1～14ch)
	暗号化	現在設定されている暗号化のレベル (なし、64bit、128bit)
	状態	無線LANアダプタの状態を表示します。 (接続中、検索中、認証中)
通信状態	リンク品質	接続されている無線LAN機器とのリンク品質 ※アドホックモード時は0になります。
	電波強度	接続されている無線LAN機器との電波の強度 ※アドホックモード時は0になります。
統計情報		過去1分30秒の通信状況をグラフ化して表示します。 緑：電波強度、黄：リンク品質を表示します。

プロファイル設定

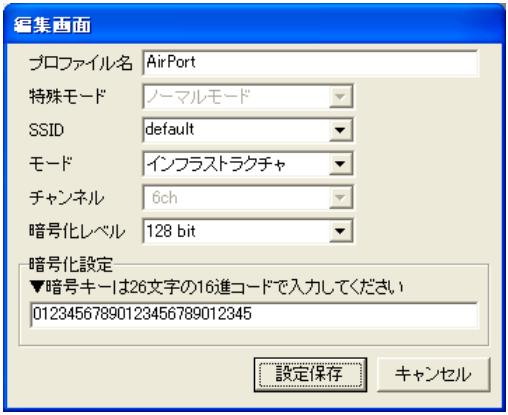
ビギナーモード

項目	内容
利用可能な接続	本製品は、IEEE802.11b専用のため選択できません。
[接続]ボタン	表示されている項目をクリックし、[接続]ボタンをクリックすると接続作業を行います。 →[プロファイル選択]から、登録されているプロファイルを選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、設定を変更し接続を試みます。
[再検索]ボタン	利用可能な接続（プロファイルとして登録済みのもの）を再検索します。
[設定ウィザード]ボタン	設定ウィザードでプロファイルを設定します。 （プロファイルは15件まで登録可能）
[設定編集]ボタン	[プロファイル編集]から編集したいプロファイルを選択して、[設定編集]ボタンをクリックすると、選択したプロファイルを編集できます。次ページをご覧ください。
[削除]ボタン	[プロファイル編集]から編集したいプロファイルを選択して、[削除]ボタンをクリックすると、選択したプロファイルを削除します。

プロファイル設定⇒[設定編集]

ビギナーモード

［プロファイル設定］タブでの［設定編集］で以下の画面が表示されます。
［編集画面］では、プロファイル名に応じた各種無線LAN設定を編集できます。
前ページ［プロファイル設定］画面の[プロファイル編集]から編集したいプロファイルを選択して、[設定編集]ボタンをクリックすれば表示されます。



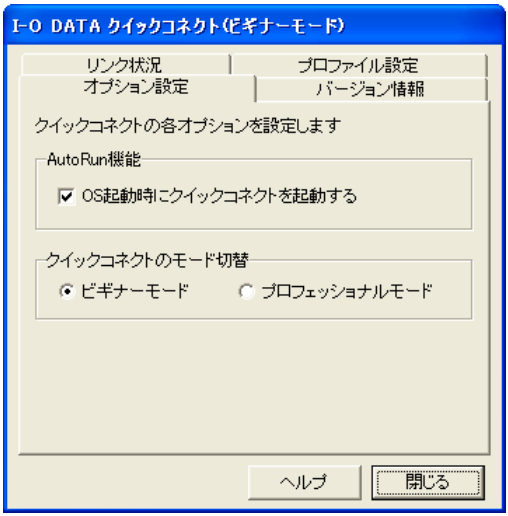
項目	内容
プロファイル名	プロファイル名を入力します。最大半角100文字(全角50文字)まで入力可能です。
特殊モード	本製品ではノーマルモード固定です。(変更できません。)
SSID	SSIDを入力します。半角英数字32文字まで、大文字、小文字の判別もします。 利用可能な接続で発見されたSSIDを選択することもできます。
モード	接続形式を選択します。 インフラストラクチャ：アクセスポイントとの通信形態 アドホック：無線LANアダプタ同士の通信形態
チャンネル	アドホックモードのときにチャンネルを選択できます。(1～14ch)
暗号化レベル **暗号化設定**	【通信を暗号化する設定】(108ページ)をご覧ください。

注意！

- **設定後、画面を開いたときには、暗号キーは[＊]や[●]で表示されます。**
- **本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。パスフレーズをご使用の場合は、[クイックコネクトのヘルプ]をご覧ください。**
- **暗号キーを ASCII コードで設定する場合は 132 ページを参照し、プロフェッショナルモードに切り替え、136 ページを参考に入力してください。**

オプション設定

ビギナーモード



項目	内容
AutoRun機能	チェックをつけると、OS起動と同時にクイックコネクトが起動し、常駐します。（システム負荷低減のため、チェックを外してもかまいません。）
クイックコネクトのモード切替	通常はビギナーモードで使用します。 高度な設定を行いたいときは、プロフェッショナルモードにチェックを付けます。詳しくは134～140ページをご覧ください。

バージョン情報

ビギナーモード

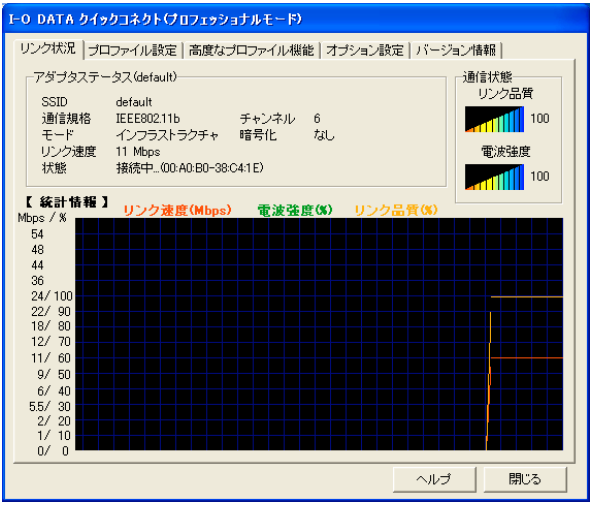
項目	内容
ドライババージョン	本製品のドライバのバージョンです。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンです。
ユーティリティバージョン	設定ユーティリティ「クイックコネクト」のバージョンです。
使用OSバージョン	お使いのパソコンのOSバージョンです。

※表示されるバージョンは出荷時期により異なります。

その他の設定⑤ クイックコネクトの詳細

[オプション設定]の[クイックコネクトのモード切替]でプロフェッショナルモード（上級者向け）に切り替えることができます。

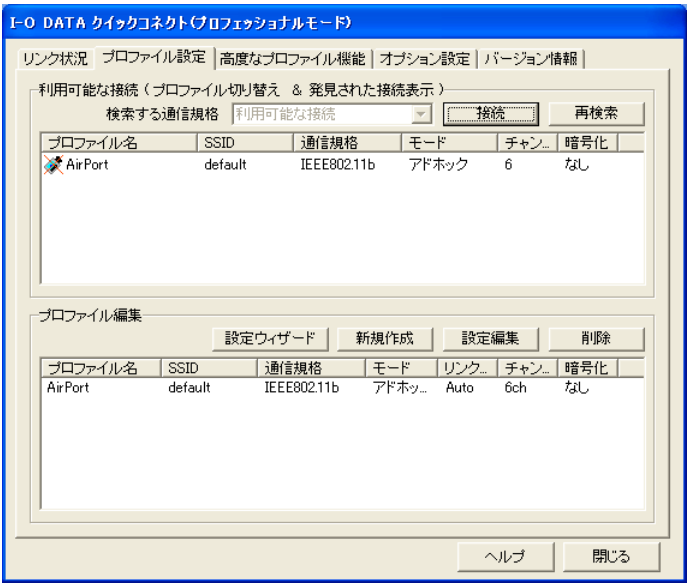
リンク状況　プロフェッショナルモード



項目		内容
アダプタステータス	SSID	現在設定されているSSID
	通信規格	現在通信している規格(IEEE802.11b)
	チャンネル	現在のチャンネル(1～14ch)
	モード	現在設定されているモード (インフラストラクチャ、アドホック)
	暗号化	現在の暗号化レベル(なし、64bit、128bit)
	リンク速度	現在のリンク速度(1/2/5.5/11 Mbps)
	状態	無線LANアダプタの状態を表示します。 (接続中、検索中、認証中)
通信状態	リンク品質	接続されている無線LAN機器とのリンク品質 (バーが多いほど高品質の通信を行っています。) ※アドホックモード時は0になります。
	電波強度	接続されている無線LAN機器との電波の強度 (バーが多いほど強い電波を受信しています。) ※アドホックモード時は0になります。
統計情報		過去3分(初期設定時)の通信状況をグラフ化して表示します。 通信状況を取得する間隔を変更できます。詳しくは139ページをご覧ください。 赤：リンク速度(Mbps) 緑：電波強度(%) 黄：リンク品質(%)

プロファイル設定

プロフェッショナルモード



項目	内容
検索する通信規格	本製品は、IEEE802.11b専用のため選択できません。
[接続]ボタン	[利用可能な接続]から、示されている項目をクリックし、[接続]ボタンをクリックすると接続作業を行います。 →登録されているプロファイルを選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、設定を変更し接続を試みます。 →発見された接続を選択して、[接続]ボタンをクリックした場合、その設定をセットした[編集画面]が表示されます。（次ページ参照）
[再検索]ボタン	利用可能な接続を再検索します。
[設定ウィザード]ボタン	設定ウィザードで設定します。
[新規作成]ボタン	プロファイルを新規作成します。 （プロファイルは15件まで登録可能）
[設定編集]ボタン	登録されたプロファイルを編集します。次ページをご覧ください。
[削除]ボタン	選択したプロファイルを削除します。

プロファイル設定⇒[設定編集]

プロフェッショナルモード

［プロファイル設定］タブでの［設定編集］で以下の画面が表示されます。［編集画面］では、プロファイル名に応じた各種無線LAN設定を編集できます。前ページ［プロファイル設定］画面の[プロファイル編集]から編集したいプロファイルを選択して、[設定編集]ボタンをクリックすれば表示されます。

項目	内容	
プロファイル名	プロファイル名を入力します。最大半角100文字(全角50文字)まで入力可能です。	
特殊モード	本製品ではノーマルモード固定です。(変更できません。)	
モード	接続形式を選択します。 インフラストラクチャ：アクセスポイントとの通信形態 アドホック：無線LANアダプタ同士の通信形態	
SSID	SSIDを入力します。半角英数字32文字まで、大文字、小文字の判別もします。利用可能な接続で発見されたSSIDを選択することもできます。	
リンク速度	リンク速度を設定します。（1/2/5.5/11Mbps、AUTO）	
通信規格	本製品では変更できません。	
チャンネル	アドホックモードのときにチャンネルを選択できます。(1～14ch)	
暗号化レベル	暗号化レベルを設定します。レベルが高いほど強固な暗号化になります。（なし、64bit、128bit）	
	なし	暗号化は行いません。
	64 bit	64bitの暗号化を行います。
	128 bit	128bitの暗号化を行います。

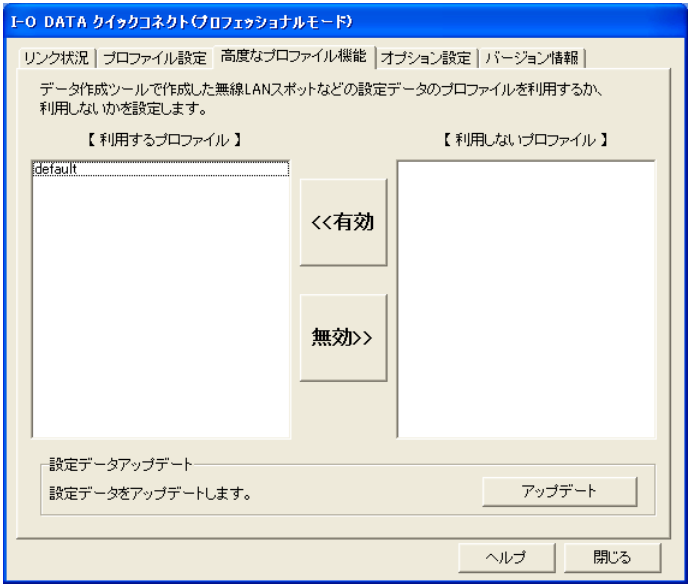
項目	内容	
暗号化設定	暗号化レベルに応じて暗号キーを入力します。	
	認証方式	Open System…開放型認証方式 Shared Key…共有型認証方式 Auto（初期値）…上記の２つを自動判別
	入力するキー	画面上で指定された文字数の暗号キーを入力します。 キー先頭のラジオボタンで、使用する暗号キーの番号（KEY1～4）を選択します。通信相手とデフォルトキーを合わせてください。（通常はKEY１） （他社製品との暗号化については、112ページ参照）
	入力方式	入力方法を設定します。（ASCIIコード、16進コード） ・16進コードの場合は、0～9またはA～Fの文字列 ・ASCIIコードの場合は、半角英数字 ASCIIコード　16進コード 64bit　5文字　10文字 128bit　13文字　26文字

※アクセスポイントや他の無線LANアダプタによっては暗号化キー設定の標記が以下のように異なる場合があります。それぞれ読み替えてください。

	キー長		キー番号			
本製品	64 bit	128 bit	KEY1	KEY2	KEY3	KEY4
本製品以外	40 bit	104 bit	KEY0	KEY1	KEY2	KEY3

高度なプロファイル設定

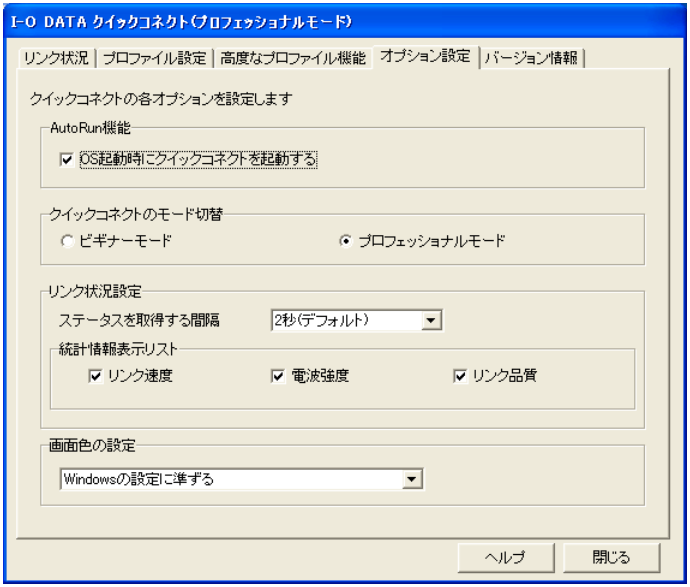
プロフェッショナルモード



項目	内容
利用する プロファイル	標準で登録されている中で使用する設定です。 最大5個まで登録できます。
利用しない プロファイル	標準で登録されている中で使用しない設定です。 最大100個まで登録できます。
[有効]ボタン	[利用しないプロファイル]を有効にして[利用するプロファイル]へ移動します。
[無効]ボタン	[利用するプロファイル]を無効にして[利用しないプロファイル]へ移動します。
[アップデート]ボタン	無線LAN設定ユーティリティ用データ作成ツールで作成したプロファイルデータのアップデートを行います。

オプション設定

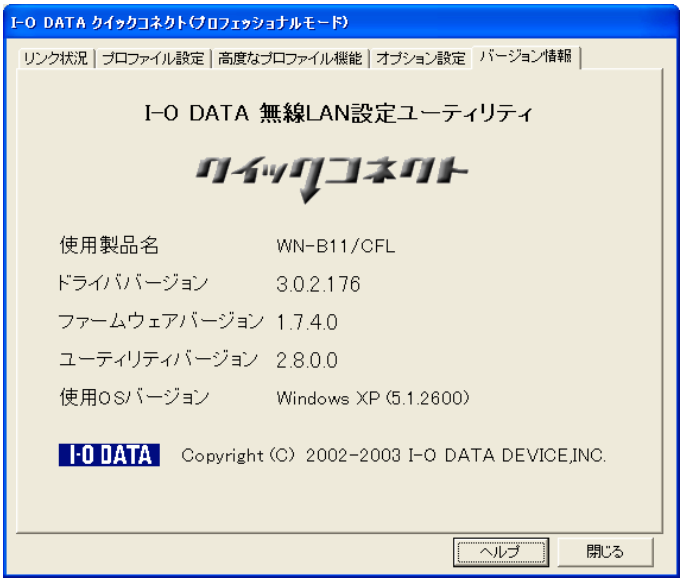
プロフェッショナルモード



項目		内容
AutoRun機能		チェックすると、次回OS起動時からクイックコネクトを自動実行し、常駐します。（システム負荷低減のため、チェックを外してもかまいません。）
クイックコネクトのモード切替		クイックコネクトのモードを切り替えます。 ビギナーモード（初期値）：無線設定に必要な最低限の設定ができます。（129～133ページ参照） プロフェッショナルモード：より高度な設定を行うことができます。
リンク状況設定	ステータスを取得する間隔	[リンク状況]タブの[統計情報](グラフ)の更新間隔と表示時間(過去何分を表示するか)を変更できます。 ▼[更新間隔：表示時間] [1秒：1分30秒]、[2秒：3分](初期値)、[5秒：7分30秒]、[10秒：15分]、[30秒：45分]、[停止：停止]
	統計情報表示リスト	チェックをすることにより、リンク速度、電波強度、リンク品質の３つのグラフの内、どのグラフを表示するかを設定できます。
画面色の設定		設定画面の配色を「Windowsの設定に準ずる」「ブルー」「グリーン」の各色から設定ができます。

バージョン情報

プロフェッショナルモード



項目	内容
ドライババージョン	本製品のドライバのバージョンです。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンです。
ユーティリティバージョン	設定ユーティリティ「クイックコネクト」のバージョンです。
使用OSバージョン	お使いのパソコンのOSバージョンです。

※表示されるバージョンは出荷時期により異なります。

Windows XP/2000/Me/98 SE

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新サポートソフト

状態	参照ページ
本製品を取り付けてもLINKランプが消灯している	143
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter]が表示されない	
CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない	144
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter]の頭に、！マークがついている	146
本製品が正常に動作しない	150
[ネットワーク]画面で、[I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter]が表示されない	151
[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)に、他のコンピュータ名が表示されない	
設定ユーティリティがインストールできない	152
(Windows Me/98 SEのみ) インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されない	153
(Windows Me/98 SEのみ) インストール後の確認で、デスクトップに、[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)アイコンが表示されない	
(Windows Me/98 SEのみ) [ネットワーク]画面に、 [TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、 [TCP/IP－＞I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter] が表示されていない	154
(Windows Me/98 SEのみ) [マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない	

トラブルの状態と対処

本製品を取り付けてもLINKランプが消灯している

原因1	本製品を取り付けているスロットが不安定である。
対処	別のスロットに取り付けてみてください。
原因2	パソコンのパワーマネジメント機能がONになっている。
対処	本製品を取り出してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。 再度、本製品を取り付けてください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter］が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイにPCカードアイコンがあれば、121ページを参照し、カードを取り出し、再度取り付けてください。

CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない

対処	下記の手順にしたがってください。

PCカード接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

パソコンにPCカードスロットが1つのみで、かつPCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。
以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 パソコンにCD-ROMドライブを接続し、パソコンの電源を入れます。

2 ①エクスプローラを起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→［アクセサリ］→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows Me/98 SEの場合

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（Windows XPの場合は、［表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. ［OK］ボタンをクリックします。

参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 CD-ROMドライブに「サポートソフト」ディスクをセットします。

4 ハードディスクドライブ（Windowsなどがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成します。

5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順**4** で作成したフォルダにコピーします。

インストールの手順内では、手順**4**で作成したフォルダを指定してください。

CD-ROMドライブがない場合

パソコンにCD-ROMドライブが無い場合は、以下を行ってください。

1 インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より、本製品添付のサポートソフトのファイルを入手します。

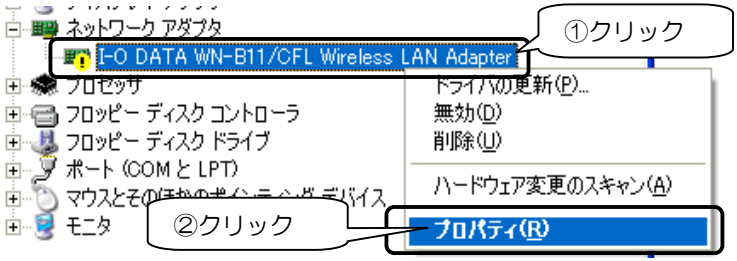
2 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

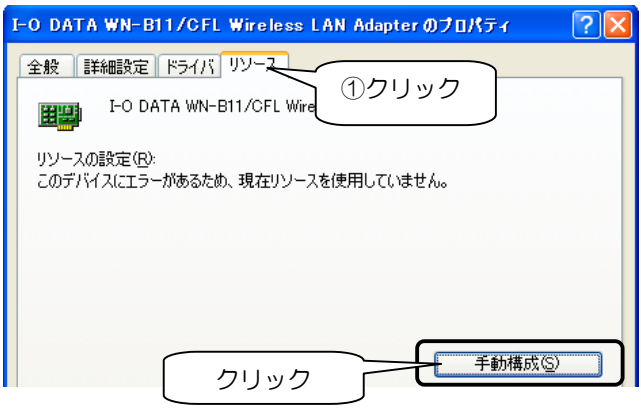
［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter］の頭に、！マークがついている

原因1	パソコンを再起動していない。
対処	本製品をPCカードスロットに挿入したまま、パソコンを再起動します。 再起動後、【ここまでの確認】(87ページ)の手順で再度確認してみてください。
原因2	リソースが競合している。
対処	下記の手順を行ってみてください。 *※以下の手順・画面は、Windows XPを例にしています。他のOSの場合は以下の手順を参考にしてください。*

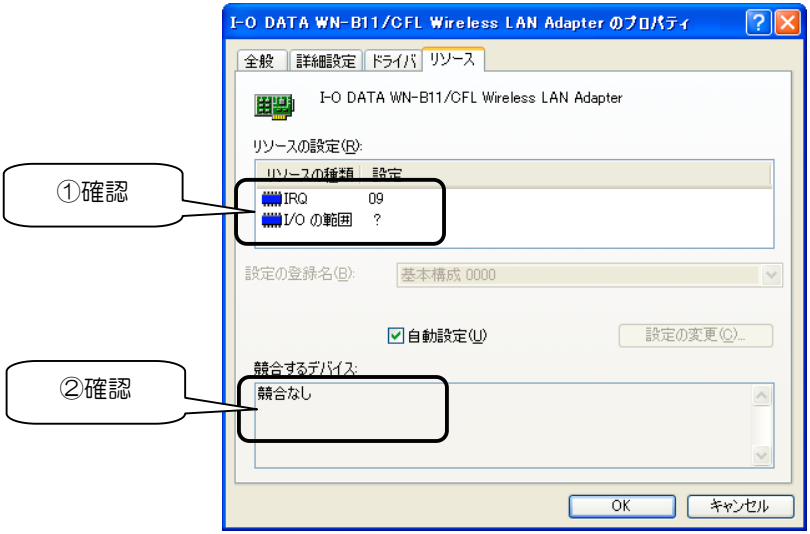
1 ！マークが表示されている[I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter]を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。



2 ［リソース］タブをクリックします。
以下の画面が表示された場合は、［手動構成］ボタンをクリックします。



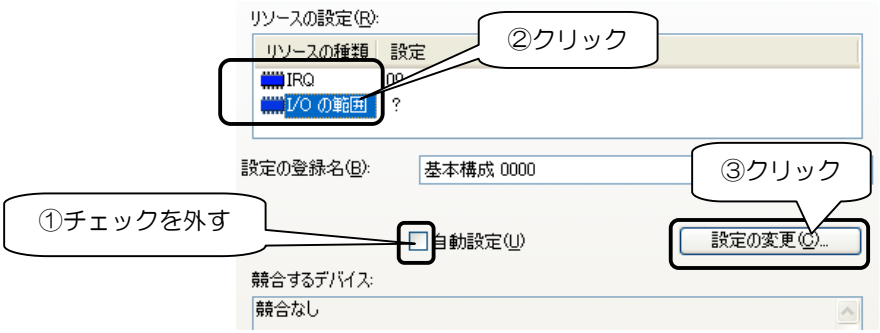
3 ［リソース］タブで、［リソースの設定］欄に？がある設定、あるいは［競合するデバイス］欄内に表示されている競合しているリソース（［割り込み要求］［I/0の範囲］）がないかを確認します。
このリソースの変更や競合する製品側でのリソースの変更を行います。次ページ以降の方法で変更してみてください。



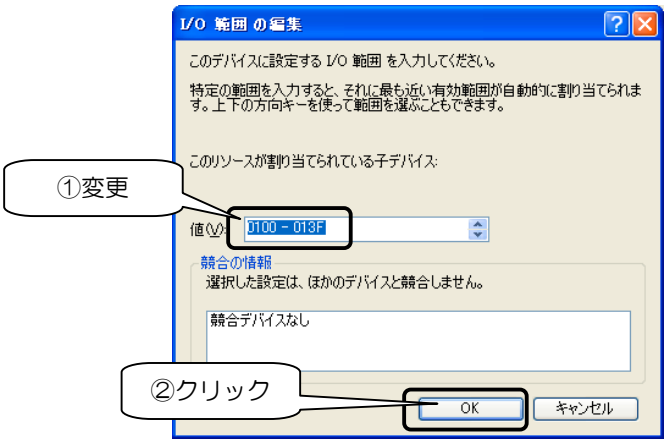
リソースの変更 方法 1 本製品側でリソースの変更を行う方法

ご使用のパソコンによっては、変更できない場合があります。
その場合は、以下の方法をお試しください。

1 [自動設定](Windows 98 SEの場合は、[自動設定を使う])のチェックを外します。
？となっている、あるいは、競合しているリソース([割り込み要求], [I/Oの範囲])をクリック後、[設定の変更]ボタンをクリックします。



2 競合デバイスが無くなるよう、値を変更します。
変更後、[OK]ボタンをクリックしてすべての画面を閉じます。



3 Windowsを再起動して、！マークが消えていないか確認してみてください。

リソースの変更 方法2

本製品と競合している製品側で
リソースの変更を行う方法

1 ［デバイスマネージャ］画面で、競合している製品を探します。（詳細は、その製品の取扱説明書やメーカーにご確認ください。）

2 後は、前ページの手順 *1*～*3*を参考に、その製品のリソースの変更ができないか、おためしください。

リソースの変更 方法3

パソコン本体に
空きのリソースを作成する方法

1 既存のデバイスの内、使用していないものを無効にしたり、
取り外したりして、必要なリソースの空きを作ってください。
方法については、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

2 空きを作成後、！マークが消えていないか確認してみてください。

参考

《パソコンで使用しているリソースの確認方法》

1.[マイコンピュータ]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックします。
2.[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[コンピュータ]を選択します。
3.[プロパティ]ボタンをクリックして、リソースの空きが確認できます。
（詳しくはパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。）

本製品が正常に動作しない

原因1	PCカードスロットが5Vのみ対応のPCカードスロットである。(非CardBus)
対処	PCカードスロットでお使いになる場合は、本製品はCardBus PCカードスロットのみ対応です。CardBus PCカードスロットでお使いください。
原因2	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ(画面右下)にPCカードアイコン(またはハードウェアの取り外しアイコン)がなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン(またはハードウェアの取り外しアイコン)があれば、121ページを参照して、カードを取り出し、もう1度、取り付けてください。 正しく通信できていれば、本製品のLINKランプが緑色に点灯します。
原因3	間違ったドライバがすでにインストールされている、または、インストール時に[スキップ]ボタンや[キャンセル]ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない。
対処	[デバイスマネージャ]の一覧に[?その他のデバイス]が無いかご確認ください。 [?その他のデバイス]がある場合で、さらにその下に、[I-O DATA WN-B11/CFL…]が無いかご確認ください。 ある場合は、[イーサネットコントローラ]をクリックし、[削除]ボタンで削除後、パソコンを再起動してください。 (Windows XPおよびWidows 2000の場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、メニュー内の[削除]をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。) 再起動後、以下の個所を参照して、再度インストールしてください。
対処	[デバイスマネージャ]一覧→[ネットワークアダプタ]の[イーサネットコントローラ]の頭に!マークがないかご確認ください。 ある場合は、146ページの【[デバイスマネージャ]の確認で、……の頭に、!マークがついている】での[対処]をご覧ください。

［ネットワーク］画面で、［I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter］が表示されない

対処	前ページ【本製品が正常に動作しない】をご覧ください。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因1	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）がなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）があれば、121ページを参照して、カードを取り出し、もう1度、取り付けてください。正しく通信できていれば、本製品のLINKランプが緑色に点灯します。
原因2	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先と同じSS IDを設定していない。
対処	通信先と同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。
原因3	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンの通信チャンネルの値を同一にしていない。
対処	アクセスポイントが無い場合は、通信先と同じ通信チャンネルにする必要があります。通信チャンネルを同じ値にしてください。
原因4	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。
原因5	《アクセスポイントを使用している場合》 アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。

原因6	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	正しく設定してください。
原因7	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。
原因8	ファイヤウォール等のアプリケーションが妨げている。
対処	ファイヤウォール等のアプリケーションがファイル共有を妨げていないか確認し、妨げている場合は、ファイル共有できるようにアプリケーションで設定してください。

設定ユーティリティがインストールできない（以下のようなエラーとなる）

「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因	パソコンに常駐しているアプリケーションが、InstallShieldの動作の妨げになっている。
対処	設定ユーティリティをインストールする場合のみ、常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。 アプリケーションの常駐解除方法は、各アプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。(「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。)

（Windows Me/98 SEのみ）インストール後の確認で、［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されない

原因	ドライバが正常にインストールされていない。
対処	【Windows Me/98 SEでの確認】(89ページ)で、インストールが正常かを確認してください。

（Windows Me/98 SEのみ）インストール後の確認で、デスクトップに、［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない

原因	ネットワークの設定で［Microsoftネットワーククライアント］が登録されていない。
対処	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開き、［Microsoftネットワーククライアント］が登録されているか確認してください。 無い場合は、［追加］ボタンで追加してください。 また、［優先的にログインする］が［Microsoftネットワーククライアント］になっていることも確認してください。

(Windows Me/98 SEのみ)
［ネットワーク］画面に、［TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、［TCP/IP－＞I-O DATA WN-B11/CFL Ethernet Adapter]が表示されていない

原因	登録されているLANアダプタの数が多い。 （登録できるLANアダプタの数には、制限があります。）
対処	［ネットワーク］画面で、必要の無い、あるいは使用していないLANアダプタをクリックして、［削除］ボタンで削除してください。 **●必要の無いLANアダプタの例** ・以前使用していたが、現在使用していないLANアダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 ※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。 また、パソコン本体のBIOSの設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。 ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

(Windows Me/98 SEのみ)
［マイネットワーク］または［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない。

原因	Windowsのネットワーク機能が正常に動作していない。
対処	次ページの【ネットワーク機能を確認する】を参照してください。

・ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開きます。

2 [ネットワーク]画面に表示される内容を次ページの種類順に削除してください。

注意！

削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

＜削除する順番＞

1) サービスをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーク共有サービス]など[xxxx 共有サービス]という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

2) クライアントをすべて削除します。

[Microsoft ネットワーククライアント]、[Microsoft ファミリログオン]など[xxxxクライアント]という名称のものが該当します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3) プロトコルをすべて削除します。

[TCP/IP(TCP/IP->xxxx)]、[NetBEUI(NetBEUI->xxxx)]、[IPX/SPX(IPX/SPX->xxxx)という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3 [コントロールパネル]→[ネットワーク]を開くと、アダプタ関連が残ります。その状態になりましたら、お客様が接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加を行います。

＜追加する順番＞

1) クライアントとプロトコルを追加します。

*※*クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[クライアント]で必要なプロトコルの名称([Microsoft ネットワーククライアント]など)をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

2) サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [サービス]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[サービス]で必要なサービスの名称([Microsoft ネットワーク共有サービス]など)をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ サービスが追加されたことを確認します。

4 [優先的にログオンする]は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5 以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されると思います。ここでは、キャンセルせずに必ず[OK]ボタンをクリックしてください。(パスワードは未入力でも可)

ふろく

用語解説……158

仕様……161

用語解説

Ad hoc［アドホック］

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）があります。

DHCPサーバ（Dynamic Host Configuration Protocol Server）

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っています。

DS-SS［直接拡散・スペクトラム拡散］

無線通信における変調方式の1つです。
干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴があります。

Ethernet［イーサネット］

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

IEEE802.11

無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11bでは、通信速度が11Mbpsまで拡張されています。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

1秒間に伝送するデータの単位です。
11Mbpsは1秒間に11メガビットのデータを伝送できます。

SS ID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。
SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの1つです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

IEEE802.11bに含まれる標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。
他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信します。
有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

仕様

商品名	IEEE802.11b 無線LAN CFカード
製品型番	WN-B11/CFL
規格	国際規格：IEEE802.11, IEEE802.11b 国内規格：ARIB STD-33, ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4GHz帯
チャンネル	1ch～14ch
伝送方式	直接拡散・スペクトラム拡散方式(DS-SS)
伝送速度	1Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbps
変調方式	1Mbps　：DBPSK 2Mbps　：DQPSK 5.5Mbps,11Mbps：CCK
無線設備の種別	小電力データ通信システム
データ到達距離 （最大）	屋内：約85m、屋外：約400m ※これらの値は、弊社アクセスポイント（WN-B11/AXPH） との最大データ到達距離を計測したものです。 （環境条件により変化します。）
セキュリティ方式	WEP（Wired Equivalent Privacy）[64/128bit], SS ID（Service Set ID） ※SS IDはアクセスポイント使用時
アクセス方式	アドホック（Ad hoc） インフラストラクチャ（Infrastructure） ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時
LED表示	LINKランプ
ホストインターフェイス	CompactFlash Specification Revision 1.4準拠
使用電源	DC3.3V±5%
消費電力	DC3.3V:250mA（typ.）
使用温度範囲	0℃～+40℃
使用湿度範囲	5%～90%（結露しないこと）
外形寸法	42.8(W)×62.0(H)×11.7(D) mm （突起部含む）CF+ Type Ⅰ Extended準拠
質量	約19.4g

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【呼び方】

呼び方	意味
Windows CE	Microsoft® Windows® CE Operating System
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows	Windows CE,Windows XP,Windows 2000,Windows Me,Windows 98 SEの総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

WN-B11/CFL 取扱説明書
2003.09.19 141950-01
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。